

## 【教育理念・目的・目標】

### 建学の理念

知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成

### 教育理念

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を養成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。

### 教育目的

北海道医療大学の教育理念に沿って、幅広く深い教養に基づく豊かな人間性と高度で正確な専門知識・技術を有し、保健・医療・福祉を中心とする多様な分野と連携・協調して行動し、地域社会や国際社会で活躍できる専門職業人の養成を本学の教育目的とする。

### 教育目標

1. 幅広く深い教養と豊かな人間性の涵養
2. 確かな専門の知識および技術の修得
3. 自主性・創造性および協調性の確立
4. 地域社会ならびに国際社会への貢献

なお、上記の北海道医療大学の教育理念・教育目的・教育目標に沿って、各学部学科の教育理念・教育目的・教育目標が定められています。

## 看護福祉学部看護学科

### 教育理念

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う看護専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の健康の向上に貢献することを看護福祉学部看護学科の教育理念とする。

### 教育目的

看護福祉学部看護学科の教育理念に沿って、人々の健康と福祉の向上のために、看護と福祉を総合的に俯瞰した専門的知識・技術を修得し、人々の尊厳を守り、維持するための総合的ヒューマンケアを実践できる看護師や保健師など看護専門職業人の養成を本学科の教育目的とする。

### 教育目標

看護福祉学部看護学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. ヒューマンケアに関する深い教養および豊かな人間性の涵養
2. ヒューマンケアを基本とした看護専門職に必要な知識・技術の修得
3. 看護専門領域における自律的・創造的な実践力の涵養
4. ヒューマンサービスに関連する領域の人々と連携できる協調性の確立
5. 地域社会や人々の多様性を理解する能力の涵養

## 看護福祉学部臨床福祉学科

### 教育理念

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う福祉専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の福祉の向上に貢献することを看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念とする。

### 教育目的

看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念に沿って、人々の健康と福祉の向上のために、看護と福祉を総合的に俯瞰した専門的知識・技術を修得し、人々の尊厳を守り、維持するための総合的ヒューマンケアの観点から社会福祉士や精神保健福祉士など臨床現場をはじめ、保健・福祉・行政などの場でリーダーとして活躍できる専門職業人の養成を本学科の教育目的とする。

### 教育目標

看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念・教育目的に基づいて、以下の教育目標を定める。

1. ヒューマンケアに関する深い教養および豊かな人間性の涵養
2. ヒューマンケアを基本とした福祉専門職に必要な知識・技術の修得
3. 福祉専門領域における自律的・創造的な実践力の涵養
4. ヒューマンサービスに関連する領域の人々と連携できる協調性の確立
5. 地域社会や人々の多様性を理解する能力の涵養

## 【本学の三方針】

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

北海道医療大学は、大学および各学部学科の教育理念・教育目的に基づいた教育目標の達成に向けて、全学教育および専門教育科目を履修し、保健・医療・福祉の高度化・専門化に対応しうる高い技術と知識、優れた判断力と教養を身につけ、各学部学科が定める履修上の要件を満たした学生に対して「学士」の学位を授与します。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

北海道医療大学は、教育理念にある「保健と医療と福祉の連携・統合」を基本として、確かな知識と技術、深い教養と豊かな人間性を持ち、広く社会に貢献できる専門職業人の養成に向けた教育課程を編成します。すなわち、幅広く深い教養と豊かな人間性・自立性・創造性・協調性の修得をめざす「全学教育科目」、および確かな専門知識と技術の修得をめざす各学部・学科の「専門教育科目」を適切に組合せた学士課程教育を提供します。

### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

北海道医療大学は、「21世紀の新しい健康科学の構築」を追究し、社会の要請と期待に応えるため、豊かな人間性や協調性・創造性等に加えて、保健と医療と福祉に関して各学部学科の高度な研究に裏打ちされた専門性の高い教育を行います。本学卒業には各学部学科の「学位授与の方針」の要件を満たすこと、すなわち、全学共通基盤の知識・技術・態度が必要となるばかりではなく高度な専門性の修得が要求されます。そのため、各学部学科では学位授与の方針の要件をより効果的に達成しうる資質を持った人材の受入れについて「入学者受入れの方針」として定めています。

なお、上記の北海道医療大学の三方針（学位授与、教育課程編成・実施、入学者受入れの方針）に基づいて各学部学科の三方針の詳細が定められています。

## 看護福祉学部看護学科

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

看護福祉学部看護学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
2. 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
4. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
5. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

看護福祉学部看護学科の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 看護学科の教育理念を積極的に展開するために、ヒューマンケアの要素である4領域「人間」、「環境」、「健康」、「実践」を設定し、それらの概念を基本として、各領域における授業科目間の順次性と体系性を保つように科目を配当する。
2. 1年次では、学修動機の明確化を図り、豊かな人間性や協調性、国際的視野を身につけるための全学教育科目、看護専門職に必要な基礎的知識および看護と福祉に共通するケアマインドを修得するための科目を配当する。
3. 2年次では、看護専門職に必要な専門基礎知識・技術、および様々な人々を対象とした看護学の知識と援助方法を修得するための科目を配当する。
4. 3年次では、2年次までの学修成果の上に立ち、看護専門職に必要な知識と技術を深めるための講義、演習および実習科目を配当する。また、ヒューマンサービスにおける多職種連携にむけた協調性を身につけるための科目を配当する。
5. 4年次では、3年次までの学修成果の上に立ち、理論と実践に習熟し、自らの専門領域を発展させる能力を養成するための実習、専門演習、卒業研究を配当する。
6. 主体的な学修を促すために、講義・演習の事前事後の学修課題を提示するとともに、グループワークや発表を取り入れる。
7. 学修成果を把握・評価するために、筆記試験、ルーブリックを用いたレポート、実技試験などを実施する。

### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

看護福祉学部看護学科では、学位授与の方針の要件を修得し、総合的ヒューマンケアを実践し地域社会や人々の健康の向上に貢献できる看護専門職の養成を目標としています。そのため、以下のような資質を持った人材を広く求めます。

1. 保健・医療・福祉に関心があり、看護を通じて社会に貢献しようとする意欲がある人
2. 生命を尊重し、他者を理解し、大切に思う心がある人
3. 看護学を学ぶための基礎学力\*を有し、高い学修意欲および探求心のある人
4. 看護専門職として保健・医療・福祉の現場で活躍したいという強い意志を持つ人
5. 看護専門職として最新の知識・技術を常に学び続けようとする人

#### \*基礎学力について

英語、数学、国語を高等学校等で履修しており、生体の成り立ちや活動を理解するうえで必要となる化学、生物、物理、大学のリベラルアーツ教育の基本となる世界史、日本史、地理、現代社会、政治・経済について、少なくとも1科目以上を履修していることをさします。

## 看護福祉学部臨床福祉学科

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

看護福祉学部臨床福祉学科の教育目標に基づき、卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

1. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
2. 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
4. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
5. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

看護福祉学部臨床福祉学科の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 臨床福祉学科の教育理念を積極的に展開するために、ヒューマンケアの要素である4領域「人間」、「環境」、「健康」、「実践」を設定し、それらの概念を基本として、各領域における授業科目間の順次性と体系的性を保つように科目を配当する。
2. 1年次では、学修動機の明確化を図り、豊かな人間性や協調性、国際的視野を身につけるための全学教育科目、福祉専門職に必要な基礎的知識および看護と福祉に共通するケアマインドを修得するための科目を配当する。
3. 2年次では、福祉専門職に必要な専門基礎知識および様々な人々を対象とした知識と援助方法を修得するための専門教育科目を配当する。
4. 3年次では、2年次までの学修成果の上に立ち、福祉専門職に必要な知識と技術を深めるための講義、演習および実習科目を配当する。また、ヒューマンサービスにおける多職種連携にむけた協調性を身につけるための科目を配当する。
5. 4年次では、3年次までの学修成果の上に立ち、理論と実践に習熟し、自らの専門領域を発展させる能力を養成するための実習、専門演習、卒業研究を配当する。
6. 主体的な学修を促すために、講義・演習の事前事後の学修課題を提示するとともに、グループワークや発表を取り入れる。
7. 学修成果を把握・評価するために、筆記試験、ルーブリックを用いたレポート、実技試験などを実施する。

### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

看護福祉学部臨床福祉学科では、学位授与の方針の要件を修得し、総合的ヒューマンケアを実践し地域や人々の福祉の向上に貢献できる福祉専門職の養成を目標としています。そのため、以下のような資質を持った人材を広く求めます。

1. 保健・医療・福祉に関心があり、福祉を通じて社会に貢献しようとする意欲がある人
2. 生命を尊重し、他者を理解し、大切に思う心がある人
3. 臨床福祉学を学ぶための基礎学力\*を有し、高い学修意欲および探求心のある人
4. 福祉専門職として保健・医療・福祉の現場で活躍したいという強い意志を持つ人
5. 福祉専門職として最新の知識・技術を常に学び続けようとする人

#### \*基礎学力について

英語、数学、国語を高等学校等で履修しており、生体の成り立ちや活動を理解するうえで必要となる化学、生物、物理、大学のリベラルアーツ教育の基本となる世界史、日本史、地理、現代社会、政治・経済について、少なくとも1科目以上を履修していることをさします。

## 【学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）】

北海道医療大学は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学生の学修成果を評価し、さらに恒常的な教育改善に資するために学修成果に関する「アセスメント・ポリシー」を定めます。入学時、在学時、卒業時の各段階で機関レベル（大学全体）、教育課程レベル（学部・学科）、および授業科目レベルの三つのレベルにおいて以下の各種指標の組合せで学修成果を検証します。ただし、授業科目レベルについては各種指標の中からシラバスに示す指標を用いて学修成果を評価します。

北海道医療大学アセスメント・ポリシーにおける各種評価指標

	入学時の指標	在学時の指標	卒業時の指標
機関レベル (大学全体)	入学試験 入学時アンケート 調査書等の記載内容 ジェネリック・スキルテスト	修得単位数 GPA 学生生活アンケート ジェネリック・スキルテスト 留年率 休学率・退学率	卒業試験 学位授与数 国家試験（資格試験） 就職率・進学率 卒業時アンケート 卒業率（留年率）
教育課程レベル (学部・学科)	入学試験 入学時アンケート プレイスメント・テスト (入学時テスト) 担任面談	定期試験 修得単位数 GPA 学生生活アンケート ジェネリック・スキルテスト 留年率 休学率・退学率 担任面談	修得単位数 卒業試験 学位授与数 国家試験（資格試験） 就職率・進学率 卒業時アンケート 卒業率（留年率）
授業科目レベル	入学前学習 授業課題レポート 小テスト	筆記・実技試験 課題・レポート ループリック 科目の合格状況 GP 出席率 授業アンケート 学修履歴（ポートフォリオ）	

## 【オフィスアワー】

オフィスアワーとは、教員が特定の曜日・時間をあらかじめ定め、学生からの授業に関する質問や相談に応じるシステムです。面談を希望する学生は、本学ホームページにて各教員の日時等を確認してください。

令和3年度 看護福祉学部 看護学科 教務日程

	日	月	火	水	木	金	土	教務関連事項	行事等
4	4	5	6	7	8	9	10	・教科書WEB販売 必修+選択3/18~4/11、選択4/13~4/23 ・教務ガイダンス 2~4年4/2、1年4/6、4/7(全学ガイダンス含む) ・前期授業開始 2~4年4/5、1年4/12 ・木曜日として授業振替 4/27	・新入生オリエンテーション 4/8、4/9 ・入学式 4/10 ・3年ワクチン接種(B肝3回目) 4/15 IV講時 ・2年ワクチン接種(B肝3回目) 4/16 IV講時 ・健康診断 4/26~5/7
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30			
5	2	3	4	5	6	7	8	・4年領域別実習 5/10~7/27	・3年抗体検査(B肝) 5/13 IV講時 ・2年抗体検査(B肝) 5/14 IV講時 ・交通安全講習会 5/21 ・防災訓練(中止)
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
6	6	7	8	9	10	11	12	・1年ワクチン接種(B肝1回目) 6/2 IV講時 ・大学祭(九十九祭) 6/19・20 ・大学祭振替休講日 6/21	
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					
7	4	5	6	7	8	9	10	・4年保健師養成コース集中講義 7/20~8/3 ・2~4年前期授業終了 7/27 ・2~4年前期定期試験 7/28~8/5 ・3年OSCE定期試験 7/30	・1年ワクチン接種(B肝2回目) 7/2 IV講時
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
8	1	2	3	4	5	6	7	・1年前期授業終了 8/3 ・3年OSCE追再試験 8/6 ・夏期休業 1年8/4~8/22、2年8/6~8/19、3・4年8/6~8/29 ・2年基礎実習 ①8/20~8/24②8/25~8/27①②8/30~9/2学内 ・1年前期定期試験 8/23~8/27 ・3・4年教務ガイダンス 8/30 ・4年後期授業開始 8/30	・アルバータ大学語学研修(オンライン) 8/4~8/17 ・4年多職種連携演習(全学連携地域包括ケア実践演習) 8/4~8/6 ・大学休業日 8/11~8/16
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
9	5	6	7	8	9	10	11	・2~4年仮進級者試験 9/1~ ・3年学内実習ガイダンス等 9/1~9/10 ・1・2年教務ガイダンス 9/3 ・1・2年後期授業開始 9/6 ・3年領域別実習 9/6~3/4 ・月曜日として授業振替 9/24	・防災訓練(中止)
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				
10	3	4	5	6	7	8	9	・4年国家試験ガイダンス ・4年(保健師養成コース)公衆衛生看護学実習 10/25~12/6	・当別キャンパス停電 10/10 ・開学記念日振替日 10/11 ・1年ワクチン接種(B肝3回目) 10/25 IV講時 ・2年ワクチン接種(インフルエンザ) 10/27 IV講時 ・3年ワクチン接種(インフルエンザ) 10/29 IV講時 ・後援会地区別懇談会 10月~11月
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
	31								
11	7	8	9	10	11	12	13	・4年ワクチン接種(インフルエンザ) 11/2 V講時 ・1年ワクチン接種(インフルエンザ) 11/5 IV・V講時 ・1年抗体検査(B肝) 11/26 IV・V講時 ・交通安全講習会 11/19	
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30						
12	5	6	7	8	9	10	11	・保健師養成コース選考面接 12/13 ・4年後期授業終了 12/17 ・1~4年前期追・再試験 12/20~12/24 ・4年後期定期試験(一部1・2年含む) 12/20~12/24 ・集中講義 12/20~12/24 ・冬期休業 1年12/14~12/19、12/25~1/10、 2年12/25~1/5、4年12/25~1/12	・大学休業日 12/29~1/5
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
1	2	3	4	5	6	7	8	・後期授業再開 2年1/6、1年1/11 ・後期授業終了 2年1/7、1年1/21 ・後期定期試験 2年1/13~1/21、1年1/24~1/28 ・4年後期追・再試験1/13~1/21 ※下級科目は1/26~2/4 ・2年基礎実習Ⅱ ①1/24~2/4 ②2/7~2/18 ③2/21~3/4	
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
2	6	7	8	9	10	11	12	・卒業判定 ・1・2年後期追・再試験 2/21~3/2	・看護師国家試験 ・保健師国家試験
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28							
3	6	7	8	9	10	11	12	・進級判定	・学位記・卒業証書授与式
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				

■ は、休日、全学休講日

▨ は、授業振替日

曜日別開講日数(一斉振替後)

期	学年	月	火	水	木	金	授業期間	前期・後期期間
前期	3~4年	15	15	15	15	15	4/5~7/27	4/1~8/29
	2年	15	15	15	15	15		4/1~8/19
	1年	15	15	15	15	15	4/12~8/3	4/1~9/5
後期	4年	15	15	15	15	15	8/30~12/17	8/30~3/31
	3年							8/30~3/31
	2年	14	14	14	15	15	9/6~12/17、1/6~1/7	8/20~3/31
	1年	15	15	15	15	15	9/6~12/13、1/11~1/21	9/6~3/31

令和3年度 看護福祉学部 臨床福祉学科 教務日程

	日	月	火	水	木	金	土	教務関連事項	行事等
4	4	5	6	7	8	9	10	・教科書WEB販売 必修+選択3/18~4/11、選択4/13~4/23 ・教務ガイダンス 2~4年4/2、1年4/6、4/7(全学ガイダンス含む) ・前期授業開始 2~4年4/5、1年4/12 ・木曜日として授業振替 4/27	・新入生オリエンテーション 4/8、4/9 ・入学式 4/10 ・3年介護実習Ⅱ(前年度実習)報告会 4/16 ・健康診断 4/26~5/7
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30			
5	2	3	4	5	6	7	8	・4年ソーシャルワーク応用実習 5/6~6/11 ・4年介護実習Ⅳ 5/6~6/13 ・4年精神保健福祉ソーシャルワーク実習 5/7~6/5 ・4年教育実習 5月上旬~ ・4年スクールソーシャルワーク実習 5月上旬~	・交通安全講習会 5/21 ・防災訓練(中止)
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
6	6	7	8	9	10	11	12	・3年OSCE試験 6/1 ・介護実習Ⅰ(訪問介護実習) 6/1~7/25 ・3年CBT試験 6/8 ・3年OSCE追・再試験 6/22 ・3年CBT追・再試験 6/23 ・4年特別支援学校教育実習 6月下旬~12月下旬	・大学祭(九十九祭) 6/19・20 ・大学祭振替休日 6/21 ・ソーシャルワーク実習担当者会議 6/29
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30					
7	4	5	6	7	8	9	10	・2~4年前期授業終了 7/27 ・2~4年前期定期試験 7/28~8/5	・2~4年福祉キャリアフェスタ(就職相談会) 7/16
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	31		
8	1	2	3	4	5	6	7	・4年介護OSCE 8/2、8/3 ・1年前期授業終了 8/3 ・1年介護実習Ⅰ 8/4~8/9 ・夏期休業 1年8/4~8/22、2~4年8/6~8/29 ・1年ソーシャルワーク入門実習 8/4~8/21(うち2日間) ・2年ソーシャルワーク基礎実習 8/10~8/21(うち5日間) ・編入3年ソーシャルワーク実習 8/10~8/22 ・3年介護実習Ⅲ 8/16~8/29 ・1年前期定期試験 8/23~8/27 ・2~4年教務ガイダンス、後期授業開始 8/30	・4年多職種連携演習(全学連携地域包括ケア実践演習) 8/4~8/6 ・アルバータ大学語学研修(オンライン) 8/4~8/17、8/18~8/31 ・3~4年精神保健福祉ソーシャルワーク実習報告会 8/10 ・大学休業日 8/11~8/16 ・4年ソーシャルワーク応用実習報告会 8/20
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31						
9	5	6	7	8	9	10	11	・2~4年仮進級者試験 9/1~ ・医療のケア実地研修 9/1~2月下旬 ・1年教務ガイダンス 9/3 ・1年後期授業開始 9/6 ・3年ソーシャルワーク実習 9/8~10/23 ・月曜日として授業振替 9/24	・3~4年介護実習Ⅲ・Ⅳ報告会 9/4 ・防災訓練(中止)
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				
10	3	4	5	6	7	8	9	・1年介護実習Ⅰ報告会 10/8 ・当別キャンパス停電 10/10 ・開学記念日振替日 10/11 ・ソーシャルワーク入門報告会 10/22 ・3年特別キャリアデザイン講座 10/26 ・後援会地区別懇談会 10月~11月	・交通安全講習会 11/19 ・1~3年ソーシャルワーク実習報告会 11/25 ・3年ソーシャルワーク実習意見交換会 11/25
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
	31								
11	7	8	9	10	11	12	13	・介護4年 学力評価試験 12月上旬 ・後期授業終了 2~4年12/17 ・1~4年前期追・再試験 12/20~12/24 ・4年後期定期試験(一部2年含む) 12/20~12/24 ・集中講義 12/20~12/24 ・冬期休業 1年12/14~12/19、12/25~1/10、 2~4年12/25~1/12、3年12/25~1/5	・大学休業日 12/29~1/5
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30						
12	2	3	4	5	6	7	8	・後期授業再開 3年1/6、1年1/11 ・後期授業終了 1~3年1/21 ・後期定期試験 2年1/13~1/21、1~3年1/24~1/28 ・4年後期追・再試験1/13~1/21 ※下級科目は1/26~2/4 ・2年介護実習Ⅱ 1/24~2/13 ・編入3年ソーシャルワーク実習 1/31~2/18、3/3~3/31	・介護福祉士国家試験
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
	30	31							
1	6	7	8	9	10	11	12	・卒業判定 ・1~3年後期追・再試験 2/21~3/2	・社会福祉士国家試験 ・精神保健福祉士国家試験 ・3年精神保健福祉ソーシャルワーク実習打合せ会 2/2
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28							
3	6	7	8	9	10	11	12	・進級判定 ・3年精神保健福祉ソーシャルワーク実習 3/3~3/23	・学位記・卒業証書授与式
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
	27	28	29	30	31				

■ は、休日、全学休講日

▨ は、一斉振替授業日

曜日別開講日数(一斉振替後)

期	学年	月	火	水	木	金	授業期間	前期・後期期間
前期	2~4年	15	15	15	15	15	4/5~7/27	4/1~8/29
	1年	15	15	15	15	15	4/12~8/3	4/1~9/5
後期	2~4年	15	15	15	15	15	8/30~12/17	8/30~3/31
	3年						8/30~9/7、10/25~12/17、1/6~1/21	8/30~3/31
	1年	15	15	15	15	15	9/6~12/13、1/11~1/21	9/6~3/31





令和3年度 看護福祉学部 前期授業時間割

No.2

曜日	学年	学科	(コース)	I 9:00~10:20		II 10:30~11:50		III 12:40~14:00		IV 14:10~15:30		V 15:40~17:00		VI 17:10~18:30		
				教室	教室	教室	教室	教室	教室	教室	教室					
木	1	看護 臨床 福祉 介護	生物学 (基礎生物学)	N-21 新潟	◎人体構造機能学Ⅱ	演田 N-21	経済学 (経済学)	N-21 金盛	物理学 (基礎物理学)	N-24 長谷川教	心理学 (心理学)	N-21 安部 N-24				
					◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	◎看護技術演習Ⅰ	基礎 実習室	◎看護技術演習Ⅰ	基礎 実習室	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室			
	2	看護 臨床 福祉 介護	英語Ⅱ (英語C)	N-31 鎌田禎 松本望	○ソーシャルワーク演習Ⅱ	N-22 N-24 福岡 他	◎看護倫理	塚本 他	◎成人看護各論Ⅲ	熊谷 他	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室
					◎成人看護各論Ⅲ	西 N-41	◎保健統計	西 N-41	◎成人看護各論Ⅲ	熊谷 他	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室
3	看護 臨床 福祉 介護	医療福祉論	卷 N-23	◎成人看護各論Ⅲ	唐津 他 N-41	◎看護倫理	塚本 他 N-41	◎成人看護各論Ⅲ	熊谷 他 N-41	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室	
				◎看護倫理	塚本 他 N-41	◎成人看護各論Ⅲ	熊谷 他 N-41	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室			
4	看護 臨床 福祉 介護	※行政法	佐久間仁* N-26	◎看護倫理	塚本 他 N-41	◎成人看護各論Ⅲ	熊谷 他 N-41	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室			
				◎看護倫理	塚本 他 N-41	◎成人看護各論Ⅲ	熊谷 他 N-41	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室	◎看護技術演習Ⅰ	明野伸 他	基礎 実習室			

※全学教育科目の記載について：授業科目名の後に、( )にて授業題目を記載

【注意】時間割は都合で変更になる場合があるので、必ずガイダンス・i-portal等で確認すること。

- ◎ 看護学科必修科目
- 臨床福祉学科必修科目
- ☆ 臨床福祉学科 コース限定科目
- ▲ 保健師コース必修科目
- △ 保健師コース限定必修科目

- ♪ 自由選択科目
  - ★ 同時開講
  - ※ 開講日指定
  - # 教職課程開講科目
  - § スクールソーシャルワーク教育課程科目
- (担当者名\*) 非常勤講師

- 《実習関係》
- 【看護学科】
- 4年 臨地実習 5/10~7/27
  - ・成人看護学実習Ⅱ 5/10~7/27
  - ・精神看護学実習 5/17~5/28、6/7~6/18、6/28~7/9
  - ・在宅看護学実習 5/13~5/27、6/10~6/24、7/1~7/15

【集中講義(変則開講)／開講日指定科目】

- ・看護学科・臨床福祉学科1年「福祉と当事者のリアルⅠ」(集中講義)
- ・看護学科・臨床福祉学科3年「多職種連携論」(変則講義)
- ・看護学科・臨床福祉学科4年「全学連携地域包括ケア実践演習」(集中講義)
- ・看護学科4年「公衆衛生看護活動展開論Ⅳ」(集中・変則講義)

【臨床福祉学科】

- 1年 ・ソーシャルワーク入門実習(2日間・介護除く) 8/4~8/21
- 1年 ・介護実習Ⅰ 8/4~8/9
- 2年 ・ソーシャルワーク基礎実習(5日間) 8/10~8/21
- 編入3年 ・ソーシャルワーク実習 8/10~8/22
- 4年 ・ソーシャルワーク応用実習 5/6~6/11
- 4年 ・介護実習Ⅳ 5/6~6/13
- 4年 ・精神保健福祉ソーシャルワーク実習(実習Ⅱ) 5/7~6/5
- 4年 ・教育実習 5月上旬~
- 4年 ・スクール(学校)ソーシャルワーク実習 5月上旬~
- 4年 ・特別支援教育実習 6月下旬~12月下旬
- 4年 ・実地研修Ⅰ~Ⅴ 未定

令和3年度 看護福祉学部 後期授業時間割

No.1

曜日	学年	学科	(コース)	Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		Ⅵ			
				9:00~10:20	教室	10:30~11:50	教室	12:40~14:00	教室	14:10~15:30	教室	15:40~17:00	教室	17:10~18:30	教室		
月	1	看護		法学 (日本国憲法) 姫嶋 N-21	◎病理学Ⅰ 守田 N-21	◎微生物学 濱田 N-21	人間と社会 (言語社会学入門) 薄井 N-21										
		臨床福祉 臨床精神介護		ソシヤルワーク論 志水幸 他 N-26	◎教育心理学 田辺* N-26	◎小児看護学 三國 他 N-41	◎疫学 西 N-41	◎在宅看護学 竹生 他 N-41									
	2	看護	英語Ⅱ (英語D) 鎌田禎 N-25	◎高齢者福祉論Ⅱ 松本望 N-25	◎社会福祉原論 志水幸 N-25	◎児童福祉論 片山 他 N-25	◎ソーシャルワーク演習Ⅱ 福岡 他 N-24, N-25	◎教育相談の理論と方法 富家 他 N-25									
		臨床福祉 臨床精神介護		◎臨 臨	◎地 地	◎実 実	◎習 習										
火	1	看護	◎人体構造機能学Ⅲ 濱田 N-21	◎臨床心理学 森 N-21	健康・運動科学演習 (運動科学演習) 山口 他	化学 (基礎化学) 鈴木喜 N-43	人間と社会 (国際社会福祉論) 志水幸 他 N-21, N-26	◎#教職入門 武井* N-26									
		臨床福祉 臨床精神介護		◎健康・運動科学演習 (運動科学演習) 山口 他 N-26	◎☆介護過程論Ⅰ 高橋由 N-26												
	2	看護	◎小児病態論 木浪 他 N-41	◎看護技術各論Ⅱ 横川 他 N-41	英語Ⅰ (英語コミュニケーションB) Aクラス:ホカ-ド N-24 Bクラス:松本由 N-43	◎(※)精神病態論 宮地 他 N-41	◎精神病態論 宮地 他 N-41										
		臨床福祉 臨床精神介護		◎#知的障害者の心理・生理・病理 近藤尚 N-25	◎#教育の方法と技術 白石 N-25	◎精神保健学Ⅰ 佐々木敏 他 N-25	◎#肢体不自由者の心理・生理・病理 今野邦* N-24 情報処理室	◎#生徒指導・進路指導論 武井* N-22									
水	1	看護	◎初修外国語 (中級フランス語)Aクラス 染木* (N-22)	◎初修外国語 (中級フランス語)Bクラス 染木* (N-22)	◎看護技術論 平 他 N-21	◎◎看護福祉学入門 宮地、松本望 他 (N-21)											
		臨床福祉 臨床精神介護	◎初修外国語 (中級ドイツ語)Aクラス 阿部* (N-26)	◎初修外国語 (中級ドイツ語)Bクラス 阿部* (N-26)	◎英語Ⅱ (英語B) Aクラス 鎌田禎 N-22												
	2	看護	◎初修外国語 (中級中国語)Aクラス 呉* (N-43)	◎初修外国語 (中級中国語)Bクラス 呉* (N-43)	◎◎リハビリテーション法 坂上 他 N-41	◎◎老年病態論 山田 他 N-41	◎◎成人看護各論Ⅱ 神田 他 N-41	◎◎公衆衛生看護活動展開 論Ⅰ 工藤 N-41	◎◎在宅看護学各論 川添 他 N-41								
		臨床福祉 臨床精神介護	◎初修外国語 (中級韓国語)Aクラス 韓* (N-31)	◎初修外国語 (中級韓国語)Bクラス 韓* (N-31)	◎◎障害基礎医学 近藤尚 他 N-25	◎◎薬理学 柴山 N-25	◎◎精神医学Ⅱ 土田* 他 N-25	◎◎精神保健福祉論Ⅰ 鈴木和 N-25	◎◎障害者福祉論 近藤尚 N-25								
水	3	看護	◎◎社会福祉研究法 志水幸 他 N-23	◎◎ソーシャルワーク実習指導 巻 他 N-23 演2-1,3,4 演4-3,4	◎◎※キャリア支援ガイダンス 月2回程度開催	◎◎※スクール(学校)ソシヤルワーク演習 福岡 他 演2-3	◎◎#肢体不自由教育 今野邦* N-24 情報処理室	◎◎#介護総合演習Ⅲ 高橋由 他 N-23									
		臨床福祉 臨床精神介護		◎◎△健康教育論 明野聖 他 地域実習室	◎◎△健康教育論 明野聖 他 地域実習室												
	4	看護	◎◎△健康教育論 明野聖 他 地域実習室	◎◎△健康教育論 明野聖 他 地域実習室	◎◎現代社会論 薄井 N-44	◎◎※臨床福祉総合講義 松本望 他 N-44	◎◎※臨床福祉総合講義 松本望 他 N-44										
		臨床福祉 臨床精神介護															
水	1	看護	◎◎リハビリテーション法 坂上 他 N-41	◎◎◎初修外国語 (中級フランス語)Aクラス 染木* (N-22)	◎◎◎初修外国語 (中級フランス語)Bクラス 染木* (N-22)	◎◎◎初修外国語 (中級ドイツ語)Aクラス 阿部* (N-26)	◎◎◎初修外国語 (中級ドイツ語)Bクラス 阿部* (N-26)	◎◎◎初修外国語 (中級中国語)Aクラス 呉* (N-43)	◎◎◎初修外国語 (中級中国語)Bクラス 呉* (N-43)	◎◎◎初修外国語 (中級韓国語)Aクラス 韓* (N-31)	◎◎◎初修外国語 (中級韓国語)Bクラス 韓* (N-31)	◎◎◎履修者数によってはⅡ講時に1クラス開講					
		臨床福祉 臨床精神介護		◎◎◎◎初修外国語 (中級韓国語)Aクラス 韓* (N-31)	◎◎◎◎初修外国語 (中級韓国語)Bクラス 韓* (N-31)												
	2	看護	◎◎◎◎初修外国語 (中級韓国語)Aクラス 韓* (N-31)	◎◎◎◎初修外国語 (中級韓国語)Bクラス 韓* (N-31)	◎◎◎◎◎リハビリテーション法 坂上 他 N-41	◎◎◎◎◎老年病態論 山田 他 N-41	◎◎◎◎◎成人看護各論Ⅱ 神田 他 N-41	◎◎◎◎◎公衆衛生看護活動展開 論Ⅰ 工藤 N-41	◎◎◎◎◎在宅看護学各論 川添 他 N-41								
		臨床福祉 臨床精神介護		◎◎◎◎◎障害基礎医学 近藤尚 他 N-25	◎◎◎◎◎薬理学 柴山 N-25	◎◎◎◎◎精神医学Ⅱ 土田* 他 N-25	◎◎◎◎◎精神保健福祉論Ⅰ 鈴木和 N-25	◎◎◎◎◎障害者福祉論 近藤尚 N-25									
水	3	看護	◎◎◎◎◎リハビリテーション法 坂上 他 N-41	◎◎◎◎◎◎初修外国語 (中級フランス語)Aクラス 染木* (N-22)	◎◎◎◎◎◎初修外国語 (中級フランス語)Bクラス 染木* (N-22)	◎◎◎◎◎◎初修外国語 (中級ドイツ語)Aクラス 阿部* (N-26)	◎◎◎◎◎◎初修外国語 (中級ドイツ語)Bクラス 阿部* (N-26)	◎◎◎◎◎◎初修外国語 (中級中国語)Aクラス 呉* (N-43)	◎◎◎◎◎◎初修外国語 (中級中国語)Bクラス 呉* (N-43)	◎◎◎◎◎◎初修外国語 (中級韓国語)Aクラス 韓* (N-31)	◎◎◎◎◎◎初修外国語 (中級韓国語)Bクラス 韓* (N-31)	◎◎◎◎◎◎履修者数によってはⅡ講時に1クラス開講					
		臨床福祉 臨床精神介護		◎◎◎◎◎◎初修外国語 (中級韓国語)Aクラス 韓* (N-31)	◎◎◎◎◎◎初修外国語 (中級韓国語)Bクラス 韓* (N-31)												
	4	看護	◎◎◎◎◎◎初修外国語 (中級韓国語)Aクラス 韓* (N-31)	◎◎◎◎◎◎初修外国語 (中級韓国語)Bクラス 韓* (N-31)	◎◎◎◎◎◎◎リハビリテーション法 坂上 他 N-41	◎◎◎◎◎◎◎老年病態論 山田 他 N-41	◎◎◎◎◎◎◎成人看護各論Ⅱ 神田 他 N-41	◎◎◎◎◎◎◎公衆衛生看護活動展開 論Ⅰ 工藤 N-41	◎◎◎◎◎◎◎在宅看護学各論 川添 他 N-41								
		臨床福祉 臨床精神介護		◎◎◎◎◎◎◎障害基礎医学 近藤尚 他 N-25	◎◎◎◎◎◎◎薬理学 柴山 N-25	◎◎◎◎◎◎◎精神医学Ⅱ 土田* 他 N-25	◎◎◎◎◎◎◎精神保健福祉論Ⅰ 鈴木和 N-25	◎◎◎◎◎◎◎障害者福祉論 近藤尚 N-25									

令和3年度 看護福祉学部 後期授業時間割

No.2

曜日	学年	学科	(コース)	I		II		III		IV		V		VI	
				9:00~10:20	教室	10:30~11:50	教室	12:40~14:00	教室	14:10~15:30	教室	15:40~17:00	教室	17:10~18:30	教室
木	1	看護	臨床精神介護	◎成人看護学	唐津 他 N-21	◎英語Ⅱ (英語B)	Aクラス:足利 N-31 Bクラス:松本由 CALL1.2 N-22 片山 他 N-24 N-26 N-43, 44	人間と思想 (生命倫理学入門)	磯部 N-21	◎家族関係論	鈴木幸* N-21	情報科学 (情報科学)	CALL1 CALL2 C-41		
				◎看護技術演習Ⅱ	遠藤 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	基礎実習室	基礎実習室
	2	看護	臨床精神介護	◎母性病態論	遠藤 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	基礎実習室	基礎実習室
				☆介護概論Ⅱ	志水朱 N-25	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	基礎実習室	基礎実習室
金	1	看護	臨床精神介護	◎成人看護学	唐津 他 N-21	◎英語Ⅱ (英語B)	Aクラス:足利 N-31 Bクラス:松本由 CALL1.2 N-22 片山 他 N-24 N-26 N-43, 44	人間と思想 (生命倫理学入門)	磯部 N-21	◎家族関係論	鈴木幸* N-21	情報科学 (情報科学)	CALL1 CALL2 C-41		
				◎看護技術演習Ⅱ	遠藤 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	基礎実習室	基礎実習室
	2	看護	臨床精神介護	◎母性病態論	遠藤 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	基礎実習室	基礎実習室
				☆介護概論Ⅱ	志水朱 N-25	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	基礎実習室	基礎実習室
金	1	看護	臨床精神介護	◎成人看護学	唐津 他 N-21	◎英語Ⅱ (英語B)	Aクラス:足利 N-31 Bクラス:松本由 CALL1.2 N-22 片山 他 N-24 N-26 N-43, 44	人間と思想 (生命倫理学入門)	磯部 N-21	◎家族関係論	鈴木幸* N-21	情報科学 (情報科学)	CALL1 CALL2 C-41		
				◎看護技術演習Ⅱ	遠藤 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	基礎実習室	基礎実習室
	2	看護	臨床精神介護	◎母性病態論	遠藤 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	基礎実習室	基礎実習室
				☆介護概論Ⅱ	志水朱 N-25	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	基礎実習室	基礎実習室
金	1	看護	臨床精神介護	◎成人看護学	唐津 他 N-21	◎英語Ⅱ (英語B)	Aクラス:足利 N-31 Bクラス:松本由 CALL1.2 N-22 片山 他 N-24 N-26 N-43, 44	人間と思想 (生命倫理学入門)	磯部 N-21	◎家族関係論	鈴木幸* N-21	情報科学 (情報科学)	CALL1 CALL2 C-41		
				◎看護技術演習Ⅱ	遠藤 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	基礎実習室	基礎実習室
	2	看護	臨床精神介護	◎母性病態論	遠藤 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	基礎実習室	基礎実習室
				☆介護概論Ⅱ	志水朱 N-25	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	◎看護技術演習Ⅱ	横川 他 N-21	基礎実習室	基礎実習室

※全学教育科目の記載について: 授業科目名の後に、( )にて授業科目を記載

【注意】時間割は都合で変更になる場合があるので、必ずガイダンス・i-portal等で確認すること。

- ◎ 看護学科必修科目
- 臨床福祉学科必修科目
- ☆ 臨床福祉学科コース限定科目
- ▲ 保健師コース必修科目
- △ 保健師コース限定必修科目
- ♪ 自由選択科目
- ★ 同時開講
- ※ 開講日指定
- ≡ 教職課程開講科目
- § スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程開講科目
- (担当者名\*) 非常勤講師

【集中講義(変則開講)予定科目】  
・臨床福祉学科2年「福祉と当事者のリアルⅡ」(集中講義)

- 【実習関係】  
【看護学科】  
2年・基礎看護学実習(実習Ⅰ) ①8/20~8/24②8/25~8/27③28/30~9/2学年(実習Ⅱ) ①1/24~2/4 ②2/7~2/18 ③2/21~3/4  
3年 臨床実習(一部学内実習含む) 9/6~3/4  
・成人看護学実習Ⅰ 9/20~11/26  
・小児看護学実習 (9/13~9/24)、(11/8~11/19)、1/10~3/4  
・母性看護学実習 1/10~3/4  
・精神看護学実習 1/10~1/21、2/7~2/18  
・老年看護学実習 9/6~9/17、9/27~10/8、10/18~11/26、1/24~1/28、2/21~2/25  
・在宅看護学実習 12/3~12/16のうち1週間  
4年・編4年 公衆衛生看護学実習(保健師養成コース) 10/25~12/6

- 【臨床福祉学科】  
2年・介護実習Ⅱ 1/24~2/13  
3年・介護実習Ⅲ 8/16~8/29  
3年・ソーシャルワーク実習 9/8~10/23  
編入3年・ソーシャルワーク実習 1/31~2/18、3/3~3/31  
3年・精神保健福祉ソーシャルワーク実習(実習Ⅰ) 3/3~3/23  
4年・教育実習 5月上旬~  
4年・スクール(学校)ソーシャルワーク実習 5月上旬~  
4年・特別支援教育実習 6月下旬~12月下旬  
4年・実地研修Ⅰ~Ⅴ 未定

# カリキュラムの特色と編成

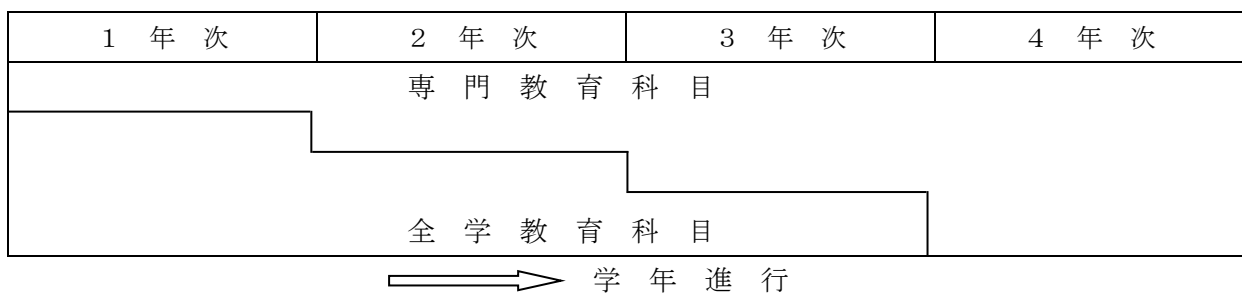
## ◆ カリキュラムの特色

看護福祉学部では、基本理念である「看護と福祉の連携・統合」を積極的に展開するために看護学科・臨床福祉学科の密接な関連付けが行われています。両学科に共通する4領域「人間」「環境」「健康」「実践」を設定し、それらの概念をベースとして、各領域における科目間の関連と一貫性を保つことが可能となっています。

領域 I	領域 II	領域 III	領域 IV
人間 人間存在の 在り方	環境 看護・福祉を 取り巻く環境	健康 健康と人間との 相互作用	実践 ケア提供者と受け手との 相互作用

## ◆ カリキュラムの編成

看護福祉学部のカリキュラムは、北海道医療大学の全学及び学部の教育目標を達成するため、「全学教育科目」と「専門教育科目」から編成されます。「全学教育科目」とは、全学共通の視点から提供される授業科目群のことを指し、主に全学教育推進センターの教員によって授業が提供されます。「専門教育科目」とは、専門教育の視点から提供される授業科目群のことを指し、主に学部学科ごとの専門教育担当教員によって授業が提供されます。1・2年次は全学教育科目を中心に専門教育科目を交えながら学習します。学年の進行につれ、専門教育科目の比重が高くなり、最終的に国家試験の合格に十分な実力を形成するように組み立てられています。



## ◆ 各学年における学習の流れ

1年次	全学教育科目及び専門教育科目を通し、高度教育の効果的な発展を促進するとともに、学習動機の明確化を図り自律性と協調性を形成します。
2年次	全学教育科目と専門教育科目との融合を図ることにより、看護・福祉に共通する資質を確立するとともに、専門知識の基礎を修得します。
3年次	講義科目及び演習・実習を通し専門知識を深め、最終学年における総合化の準備にはいります。
4年次	3年次までの成果の上にとって、さらなる実習、専門演習、卒業研究を通じて理論と実践の双方に習熟した高度な専門資質の形成をめざし、国家試験に備えます。

# 授業・試験・進級に関わる事項

## ◆ 看護福祉学部の授業科目について

すべての授業科目は所定の授業回数と単位数が定められており単位修得にあたって次のとおりに区分されています。

必修科目…………… 卒業するまでに、全科目を履修し、修得しなければなりません。

選択科目…………… 卒業するまでに、各領域の中で定められた科目数以上を履修し、修得しなければなりません。

## ◆ 履修について

授業科目の単位を修得するには、その科目の履修を登録することに始まり、授業に出席し、試験に合格しなければなりません。

履修登録…………… 各学期の初めに、単位を修得しようとする科目について、所定の期日までに手続きを行わなければなりません。履修登録した科目以外の履修は認められず、履修登録した科目について一切の変更が認められません。看護福祉学部は学科ごとに授業科目及び履修要件が異なっています。所属する学科の開講科目と開講年次に留意し、履修規程を熟読の上で履修登録してください。

履修…………… 履修登録した科目の所定の授業回数の70%以上に出席し、定期試験等を受験したことをいいます。各学年において履修する授業科目と単位数は、配当学年内に履修・修得することを原則とします。

失格…………… 履修登録した科目への出席が、所定の授業回数の70%に満たない場合、定期試験等を受験する資格がないことをいいます。

公欠席…………… 忌引き、卒業後の進路に関わる試験を受ける場合（就職試験、大学院入試等）、あるいは教授会で特別に認められた場合は公欠席とし、欠席回数に算入されません。授業担当教員に授業欠席届を提出してください。なお、就職試験のために欠席した場合は欠席届に「就職試験受験証明書」を添付し、受験後1週間以内に提出してください。

## ◆ 単位の「修得」について— I

定期試験等を受験し、合格することで、その科目の単位を修得することができます。科目によっては、試験の成績にレポート（課題）の評価、授業の受講態度などが加味され、総合的に評価されます。

定期試験…………… 多くの授業科目は、定められた試験期間中に試験を行います。異なる時期に実施したり、レポートの提出を求められる場合があります。

成績の評価…………… 80点以上を「優」、70点以上を「良」、60点以上を「可」、60点未満を「不可」とし、優・良・可を「合格」、不可を「不合格」とします。

修得…………… 定期試験等の結果、当該授業科目の評価が「可」以上の成績に認定されることをいいます。

## ◆ 単位の「修得」について―Ⅱ

定期試験結果が不合格だった場合には再試験、定期試験をやむを得ず欠席した場合には追試験が実施されます。

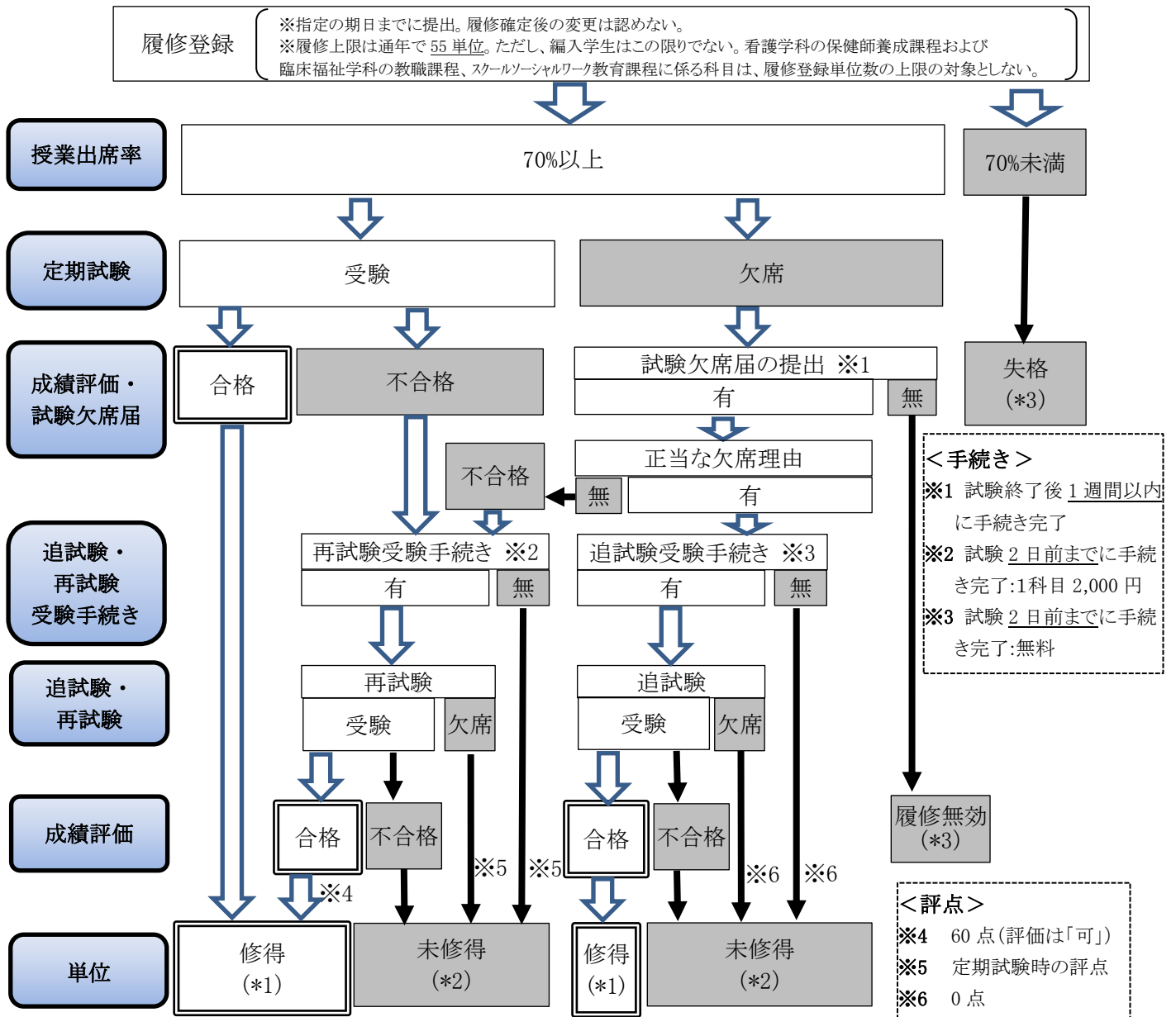
- 再試験…………… 定期試験の結果が60点未満だった場合に受験します。再試験日の2日前（2日前を含む）までに証明書発行機で受験手続きを行ってください。受験料は、1科目につき2,000円です。再試験に合格した場合、成績は「可」の評価となります。
- 追試験…………… 定期試験を欠席し、その欠席理由が正当と認められた場合に受験できます。「試験欠席届」および「追試験申込書」の提出など所定の手続きが必要ですので、看護福祉学課に申し出てください。なお、受験料は不要です。
- 試験欠席届…………… 定期試験を受験できなかった場合、試験終了後1週間以内に、必要書類（診断書、事故証明書、JRなど公共交通機関発行の遅延証明書など）を添付の上、「試験欠席届」を提出してください。提出がない場合は「履修無効」になります。
- 履修無効…………… 定期試験を欠席し、試験終了後1週間以内に「試験欠席届」が提出されない場合は、その授業科目の履修が無効となります。必修科目が「履修無効」の場合、「留年」になります。選択科目が「履修無効」の場合、単位を修得するためには、次年度以降に「再履修」しなければなりません。定期試験を欠席した場合は必ず「試験欠席届」を提出してください。

## ◆ 進級について

進級の可否についての判定は、毎年3月に行われます。

- 進級…………… 当該学年に配当されている必修科目のすべてを修得した場合に次学年へ進級できます。
- 仮進級…………… 第1学年から当該学年末までの必修科目の不合格単位数の合計が、当該学年に配当されている必修科目の総単位数の20%を超えない場合、仮進級できます。ただし、必修である実習科目が不合格、または必修科目を失格・履修無効になった場合は仮進級できず、「留年」となります。
- 仮進級者試験…… 仮進級した場合、不合格となった必修科目について行われる試験をいいます。再試験と同様な手続きが必要となります。実施日程は掲示で確認してください。
- 留年…………… 次学年への進級または仮進級基準を満たしていない場合、次年度も同一学年に留め置きとなります。単位未修得の科目は「再履修」しなければなりません。
- 再履修…………… 次の場合に該当し、もう一度授業を受け直すことをいいます。
1. 失格、履修無効または不合格になった選択科目を有して進級し、その授業科目の単位を修得しようとする場合。
  2. 留年した場合は、失格、履修無効または不合格になった授業科目で、その単位を修得しようとする場合。

# 履修登録から単位修得まで(フローチャート)

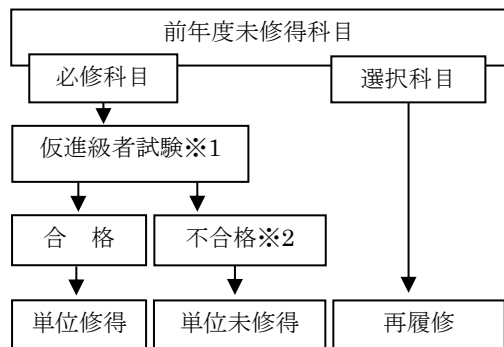


## 進級の基準 (履修規程第16条)

- ( \* 1 ) 全ての必修科目が合格 (単位修得) の場合 . . . . . 進 級
- ( \* 2 ) 必修科目に不合格 (単位未修得) がある場合  
 (第1学年から当該学年末までの必修科目不合格単位数が当該学年に配当されている必修科目総単位数の20%を超えない場合) . . . . . 仮進級  
 (第1学年から当該学年末までの必修科目不合格単位数が当該学年に配当されている必修科目総単位数の20%を超える場合) . . . . . 留 年
- ( \* 3 ) 必修科目が「失格」・「履修無効」の場合 . . . . . 留 年  
 必修の実習が不合格 (単位未修得) の場合 . . . . . 留 年

## 仮進級の場合の単位修得について

- ① 仮進級者に対して仮進級者試験を行う（年1回実施）。
- ② 受験手続は試験実施の2日前までとする（月曜日が試験の時には木曜日）。
- ③ 合格者の評価は「可」とする。
- ④ 選択科目は仮進級者試験を行わないので、単位修得を希望する場合は再履修となる。
- ⑤ 不合格の場合は、次年度の仮進級者試験を受験する。ただし、当該年度の単位修得状況により留年となることもある。



※1 欠席者への追試験は行わない。

※2 不合格者への再試験は行わない。

## 追試験・再試験の手続き方法について

### 1. 追試験

#### (1) 追試験とは

定期試験を正当な理由により欠席した場合に、後日受験する試験。

#### (2) 追試験の手続き

- ① 追試験を受験するには、あらかじめ試験欠席届の提出が必要である。欠席した科目毎に試験日から1週間以内に届出を行わなければならない。
- ② 試験の欠席理由が正当な理由（病気、事故、忌引の理由により、それぞれ試験当日の欠席理由を証明する診断書、証明書が添付されていることが条件）と認められた場合には、追試験を受験することが可能である。
- ③ 追試験の受験料は不要であるが、看護福祉学課窓口にある追試験申込書で手続きを行うこと。

### 2. 再試験

#### (1) 再試験とは

定期試験が不合格の場合に、再度受け直す試験。

#### (2) 再試験の手続き

- ① 再試験の手続きは試験の2日前（月曜日が試験の時には木曜日）までである。これ以降に申し込みがあった場合は受験できないので留意すること。
- ② 再試験の受験料は2,000円（1科目）である。証明書自動発行機で受験手続きを行うこと。



# 卒業に必要な単位数

## ◆ 単位とは

その授業の学習目標を達成したことの証拠となるものです。授業に出席するだけでなく、予習と復習を行い、定期試験やレポートなどで所定の成果が得られて初めて単位を得た(修得した)こととなります。なお、予習と復習の学習内容については、シラバスの「学習の準備」欄に具体的に記載してあったり、担当教員から指示があります。卒業のために必要な単位数は学部・学科ごとに定められています。自分がこれまで何単位を修得しているか、卒業するためにはどの分野の科目を何単位修得すればよいかなどを把握しておくことが重要です。本学の1授業時間は80分間です。15回の授業に予習と復習を合わせて2単位となることが基本ですが、1.5単位であったり、また語学や演習科目、実験科目などは1単位となる場合があります。

### 看護学科【令和3年度1～4学年】

全学教育科目				専門教育科目			
各種類内で修得				各分類内で修得			
種類分類	教養教育	基礎教育	医療基盤教育	I	II	III	IV
最低必要単位数	8単位	22単位	2単位	12単位	8単位	20単位	60単位
小計	32単位			100単位			
合計	132単位(卒業要件)						

### 臨床福祉学科【令和3年度1学年】

全学教育科目				専門教育科目				I～IV 分類内から 修得
各種類内で修得				各分類内で修得				
種類分類	教養教育	基礎教育	医療基盤教育	I	II	III	IV	
最低必要単位数	8単位	22単位	3単位	9単位	10単位	2単位	15.5単位	61.5単位 (選択科目)
小計	33単位			98単位				
合計	131単位(卒業要件)							

### 臨床福祉学科【令和3年度2～4学年】

全学教育科目				専門教育科目				I～IV 分類内から 修得
各種類内で修得				各分類内で修得				
種類分類	教養教育	基礎教育	医療基盤教育	I	II	III	IV	
最低必要単位数	8単位	22単位	2単位	9単位	12単位	2単位	15単位	60単位 (選択科目)
小計	32単位			98単位				
合計	130単位(卒業要件)							

# 成績評価/GPA 制度について

## ●成績評価

本学の授業科目の成績の評価は、優・良・可・不可の4種で、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満です。優・良・可が合格（単位修得）、不可が不合格（単位未修得）となります。【学則第35条】

評価等の区分と基準

評価等	評点	合 否	単 位
優	100～80 点	合 格	修 得
良	79～70 点		
可	69～60 点		
不 可	60 点未満	不 合 格	未 修 得
失 格	※「失格」、「履修無効」の取り扱いについては、履修 規程で確認してください。		
履修無効			

## ●GPA 制度について

GPA (grade point average : グレード・ポイント・アベレージ) とは、履修した授業科目の成績評価を所定の点数=G P (grade point : グレード・ポイント) にして、1 単位あたりの平均値を表したものです。

評価 (評点) 区分と GP

評価等	評点	G P
優	100～90 点	4
	89～80 点	3
良	79～70 点	2
可	69～60 点	1
不 可	60 点未満	0
失 格	—	0
履修無効	—	0

## ●GPA の算出方法等について

GP は評価 (評点) 区分ごとに設定しており、GPA は原則として履修登録したすべての科目を対象に次の計算式により算出します。

GPA の計算式

(履修登録した授業科目の単位数 × 左記授業科目の GP) の合計
GPA= $\frac{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$
※小数点第2位を四捨五入。

## ●GPA 算出の対象科目・対象除外科目について

### (1) 対象科目

履修登録した全授業科目 (不可・失格・履修無効を含む)

### (2) 対象除外科目

- ・自由選択科目
- ・スクールソーシャルワーク教育課程科目
- ・保健師教育課程科目
- ・単位認定科目 (編入生)
- ・教職課程科目

## ●学期・年度 GPA と通算 (累積) GPA について

- (1) 学期・年度 GPA : 特定の学期・学年に履修した授業科目を対象に算出します。
- (2) 通算 (累積) GPA : 入学時から現在までの履修した授業科目を対象に算出します。

## ●GPA 対象科目の履修登録取消制度について

履修登録手続きを完了して履修が確定した授業科目 (GPA 対象科目) について、授業開始からおおむね6週間経過後に履修登録取消の手続きを行う期間が設定され、履修登録の取り消しを行うことができます。

# 履修に関する注意点

## 看護学科

### ◆ 保健師養成コースについて

保健師国家試験受験資格についてはコース制となっています。

コースへの登録については、下記の手続き等が必要となりますので、十分注意の上、時期や提出物等の間違いがないようにしてください。※令和4年度1年生から保健師養成コースの募集を停止します。

○コース定員 原則として15名上限

○履修要件 1) 保健師養成コースで学ぶ意思が明確であること  
2) 第3学年前期までの既修得科目の成績の平均が「良」以上であること  
3) 第3学年前期までの学科必修科目および保健師養成コース必修科目の単位をすべて修得していること。ただし、編入学生についてはこの限りではない。※第1、2学年のみ適用

○手続きの流れ

学 年	時 期	内 容
3年次	9月	保健師養成コース説明会、志願書の配付
	9～11月	相談期間
	11月末	志願書の提出
	12月中旬	面接の実施
	1～2月	決定・発表
	3月	ガイダンス
4年次	4月	コース学生を対象とした科目の開講

(注1) 選択方法については1年次から教務ガイダンスで説明する。

(注2) 保健師養成コースを希望する学生は、以下の科目を該当学年において履修することが必要である。

情報処理演習	(1年前期)	* 学科必修科目
統計学	(1年前期)	
家族関係論	(1年後期)	
疫学	(2年後期)	
保健統計	(3年前期)	
保健医療福祉行政論Ⅰ	(2年後期)	
公衆衛生看護学概論	(2年前期)	
公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	(2年後期)	
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	(3年前期)	* 学科選択科目
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ	(3年前期)	

☆4年次に、看護学科専門教育科目の履修単位に加えて保健師教育課程科目13単位の履修が必要である。詳細は、「看護福祉学部看護学科のコース制の履修方法等に関する細則」を参照すること。

## ◆ 教育職員免許状（養護教諭2種）の取得について

保健師免許を基礎に養護教諭2種免許状を取得する場合、保健師免許のほか、「学力に関する証明書」により、以下の「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」に対応する本学の科目を履修し単位を修得していることを証明する必要があります。将来、保健師養成コースに進み保健師免許を取得する予定の方で、養護教諭2種免許状も申請する場合は、1年次の履修登録の際から注意する必要があります。

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		本学の科目（授業科目）		備考
日本国憲法	2単位	法学（日本国憲法）	2単位	
体育	2単位	健康・運動科学（運動科学論）	2単位	2科目のうち1科目 以上かつ2単位以上 選択必修
		健康・運動科学演習（運動科学演習）	1単位	
外国語コミュニケーション	2単位	英語Ⅰ（英語コミュニケーションA）	1単位	学科必修
		英語Ⅱ（英語B）	1単位	
情報機器の操作	2単位	情報処理演習（情報処理演習）	1単位	学科必修
		情報科学（情報科学）	2単位	

☆上記「本学の科目」の必要単位を修得し、かつ保健師免許を取得した上で、各都道府県教育委員会に申請を行うことによって、養護教諭2種免許状を取得することができます。

## 臨床福祉学科

### ◆ 初級障がい者スポーツ指導員資格取得について

初級障がい者スポーツ指導員とは、地域で活動する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者です。以下の基準カリキュラムに対応する認定科目の単位をすべて修得し、卒業までの間に必要な手続きを行うことで資格取得申請ができます。資格認定は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会が行っています。

対応する基準カリキュラム	本学における認定科目名	開講年次
スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	地域ボランティア論	1年前期
障がい者スポーツに関する諸施策	障害者福祉論	2年後期
全国障害者スポーツ大会の概要		
スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	アダプテッド・スポーツ演習	2年前期
障がい者スポーツの意義と理念		
コミュニケーションスキルの基礎		
障がいのある人との交流		
各地域の障がい者スポーツ推進の取り組み		
安全管理		
各障がいの理解		
各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫		
全国障害者スポーツ大会の概要		
各障がいの理解		

## ◆ スクールソーシャルワーク教育課程について

スクールソーシャルワーク教育課程への登録については、以下の手続き等が必要となりますので、十分注意の上、時期や提出物等の間違いがないようにしてください。

### ○教育課程の概要

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟が行う「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程認定事業」により、当該教育課程を修了しかつ社会福祉士の資格を有する者を「一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程修了者」として修了証を交付するものです。

### ○教育課程定員 各学年10名上限

### ○履修要件

- 1) スクールソーシャルワーク教育課程を履修する意思が明確であること
- 2) 社会福祉士国家資格取得のための指定科目を履修すること
- 3) 「介護福祉コース」、「精神保健福祉コース」、教職課程の「特別支援学校教諭」と併せて履修することはできない
- 4) 希望者は、選考時まで「教育関連科目」「追加科目」を履修しておくこと

教育関連科目	教育社会学 (1年後期 教職課程科目)	} 1科目以上履修
	生徒指導・進路指導論 (2年後期 教職課程科目)	
	教育相談の理論と方法 (2年後期 教職課程科目)	
追加科目	精神保健学Ⅰ (2年後期 学科専門教育科目)	

### ○手続きの流れ

学 年	時 期	内 容
1年次	9月	教務ガイダンスにて教育課程の説明および履修科目の確認
2年次	4月	教務ガイダンスにて教育課程の説明および履修科目の確認
	9月	教務ガイダンスにて教育課程の説明および履修科目の確認 履修ガイダンスにて、希望調書を配付 教育課程の履修希望調査書を提出（看護福祉学課）
	10月	履修希望者との個別面談および選考
	11月	履修希望者へ可否の通知

(注1) 3・4年次において、スクールソーシャルワーク教育専門科目7単位の履修が必要である。詳細は、「看護福祉学部臨床福祉学科のコース制の履修方法等に関する細則」を参照すること。

# 看護福祉学部履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北海道医療大学学則（以下「学則」という。）第36条に定める看護福祉学部学生の履修方法等について、必要な事項を定める。

(履修)

第2条 授業科目の所定の授業時間数の70%以上に出席し、試験等を受験した者を当該授業科目を履修したものとする。

(修得)

第3条 前条に定める履修の要件を満たし、試験等の結果、当該授業科目の評価が可以上の成績に認定された者を当該授業科目を修得したものとする。

(失格)

第4条 この規程において失格とは、第2条に定める当該授業科目への出席が70%未満で、試験を受験する資格がないことをいう。

(授業科目)

第5条 各学年において履修する授業科目は、配当学年内に修得することを原則とする。

2 在籍する学年より下級学年に配当されている授業科目を履修することは、支障のない限り許可されるが、上級学年に配当されている授業科目を履修することはできない。

(コース制)

第6条 看護学科および臨床福祉学科には次に掲げる履修コースを置くものとする。

(1) 看護学科

保健師養成コース（定員15名）

(2) 臨床福祉学科

保健福祉臨床コース

精神保健福祉コース（定員30名）

※選抜を行う学年に編入する学生を含む

介護福祉コース（定員20名）

2 この規程に定めるもののほか、当該コース制における登録および履修方法等について、必要な事項は別に定める。

(履修手続)

第7条 授業科目を履修するには、学期の始めに、当該学期に履修しようとする授業科目について、指定された期間内に、所定の手続きを行い、履修登録をしなければならない。

2 前項に定める手続きを行わない者は、当該学期に当該授業科目を履修することはできない。

3 履修登録した授業科目の変更、追加、取り消しは認めない。

4 第1項により、卒業の要件として修得すべき単位数について、1年間に履修登録することができる単位数の上限は、原則として55単位とする。ただし、編入学生についてはこの限りではない。

5 第4項の規定にかかわらず、看護学科保健師養成課程および臨床福祉学科における教職課程、スクールソーシャルワーク教育課程に係る科目は、当該履修登録単位数の上限の対象としない。

(試験)

第8条 履修登録した授業科目の単位修得のために試験を行う。

2 試験には、定期試験、追試験、再試験及び仮進級者試験がある。ただし、授業科目により、その他随時諸種の試験等を行うことがある。

3 次の各号のいずれかに該当する者は試験を受験することができない。

(1) 前条に定める履修登録をしていない者

(2) 失格となった者

(3) 試験開始時間に20分を超えて遅参した者

- (4) 学生証を所持しない者
- (5) 授業料、その他納入金を所定の期日までに完納していない者

4 試験日程及び時間割等は、別に定める。

(定期試験)

第9条 定期試験は各学期末に行う。

(試験欠席届)

第10条 前条に定める定期試験を欠席した者は、当該授業科目の試験終了後、1週間以内に試験欠席届を看護福祉学課に提出しなければならない。この場合、当該試験欠席届には、欠席の事由により、次の各号に定める書類を添付しなければならない。

(1) 疾病による場合

医師の診断書(受験できなかった事由、期間が記載されているもの)

(2) 交通事故の場合

警察署の事故証明書又は交通機関の管理者の事故・遅延等の証明書(ただし、証明書が発行されない交通機関等の場合は、速やかに申し出ること。)

(3) 忌引の場合

保証人の証明書

(4) その他緊急やむを得ない場合

理由書

2 前項に定める届出のない者は、受験放棄とみなし、当該授業科目を履修無効とする。

3 第1項の届出における欠席の事由が正当と認められない者は、当該授業科目の評点を0点とみなす。

(追試験)

第11条 追試験とは、前条の届け出における欠席の事由が正当と認められた者に対して行う試験をいう。

2 追試験を受験する者は「追試験申込書」を指定の期限までに看護福祉学課に提出し、手続きを完了しなければならない。

3 前項に定める受験手続きを完了していない者及び追試験を欠席した者は、原則として、当該授業科目の評点を0点とみなし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

(再試験)

第12条 再試験とは、定期試験の結果が60点未満の者に対して行う試験をいう。

2 再試験を受験する者は、「再試験申込書」に受験料(1科目2,000円)を添えて、指定の期限までに看護福祉学課に提出し、手続きを完了しなければならない。

3 再試験における成績の評価は、可(60点)以下とする。

4 第2項に定める受験手続きを完了していない者及び再試験を欠席した者は、原則として、当該授業科目の成績は定期試験時の評点とし、当該年度における当該授業科目の以後の受験を認めない。

(試験中の不正行為)

第13条 試験中に不正行為をした者及び試験監督者の指示に従わなかった者には、即時試験場から退場を命じ、以後の受験を停止し、学則第47条に基づき懲戒する。

2 前項の不正行為をした者は当該授業科目並びに当該試験期間中の受験該当授業科目全科目の評点を0点とみなす。

(受験心得)

第14条 受験心得については、別に定める。

(進級判定)

第15条 進級の判定は、学年末に教授会において行う。

(進級・仮進級)

第16条 当該学年に配当されている必修科目をすべて修得した者は、進級とする。

2 第1学年から当該学年末までの必修科目の不合格単位数の合計が、当該学年に配当されている必修科目の総単位数の20%を超えない者は、仮進級とすることができる。ただし、必修である実習の科目が不合格の者、または必修科目が失格・履修無効となった者は、原則として仮進級できない。

3 編入学生については、第1項および第2項の規定にかかわらず、教授会で適当と認められた者は進級することができる。

(仮進級者試験)

第17条 仮進級者試験とは、仮進級者に対して当該不合格必修科目について行う試験をいう。

2 仮進級者試験での不合格単位数は、その年度の不合格単位に加算する。

3 仮進級者試験については、第12条の「再試験」を「仮進級者試験」と読み替えて準用する。

(留年)

第18条 第16条に定める進級または仮進級の条件を満たさない者は、留年とする。

2 留年した者は、当該学年の不合格科目及び失格・履修無効となった科目を再履修しなければならない。

(自由選択科目)

第19条 各学科専門教育科目の中に自由選択科目をおくことがある。

2 自由選択科目の単位は、学則に定める卒業必要単位数には含まない。

(英語検定試験による単位認定)

第20条 本学部が教育上有益と認めるときは、大学以外の教育施設等における学修のうち、文部科学大臣が定める学修に相当する英語検定等の学修を本学部の授業科目の履修とみなし、所定の科目の単位として認定することができる。

2 前項の単位の認定に係る必要事項については、別に定める。

(補則)

第21条 この規程に定めなき事項は、教授会で決定する。

(改廃)

第22条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学部長が決定する。

附 則

この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月1日から施行し、平成9年度に1年次に入学した学生から適用する。ただし、平成8年度以前に入学した学生が平成9年度に1年次に入学した学生と同一学年となった場合は、この規程を適用する。

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成14年4月1日から施行する。ただし、改正後の第6条及び第19条の規定は、平成14年度に1年次に入学した学生から適用する。

2 前項の規定により、改正後の第6条及び第19条の規定が適用されるまでの履修学生数を制限する科目及び自由選択科目については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。ただし、改正後の第19条の規定は、平成21年4月1日現在で2年以上に在学する学生にも適用する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。ただし、改正後の第6条第2項に規定する別表は、平成21年4月以降に入学した学生にも適用する。



附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。ただし、平成24年3月31日以前に入学し、引き続き在学する者については、従前の規定による。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。ただし、第16条第2項については、平成24年度入学生から適用する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年12月10日から施行する。ただし、改正後の第6条の規定は、平成25年度入学生および平成27年度に第3学年に編入した学生から適用する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行し、平成31年4月1日現在で看護福祉学部 に在籍するすべての学生に適用する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

---

# 看護福祉学部看護学科の コース制の履修方法等に関する細則

---

(目的)

第1条 この細則は、看護福祉学部履修規程（以下、「履修規程」という。）第6条に定める看護学科の履修コースについて、必要な事項を定める。

(コース制)

第2条 看護学科に、次に掲げる履修コース（以下「コース」という。）を置くものとする。

保健師養成コース

(国家試験受験資格の取得)

第3条 看護学科において取得可能な国家試験受験資格は、次に掲げるとおりである。

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格

2 保健師国家試験受験資格を取得するためには、保健師養成コースに登録し、当該コースで開設する科目の履修および単位修得が必要である。

(コース登録要件)

第4条 保健師養成コースへの登録を希望する者は、次の各号に掲げる要件をすべて満たしていなければならない。

(1) 当該コースで学ぶ意思が明確であること。

(2) 第3学年前期までの既修得科目の成績の平均が「良」以上であること。

(3) 第3学年前期までの学科必修科目および保健師養成コース必修科目の単位をすべて修得していること。ただし、編入学生についてはこの限りではない。

(コース登録手続)

第5条 第2条に定める履修コースに所属するには、所定の手続きをしなければならない。

2 前項に定める登録手続については、所定の用紙を第3学年後期の指定する期限までに提出しなければならない。

3 所定の用紙にて登録希望を申し出た学生を対象として、学科より選出した選考委員によって、原則、第3学年12月に選考を行う。

4 選考結果は、教務委員会において承認し、教務委員会は最終結果を教授会に報告する。

5 コースの登録後の取止めについては、コース担当教員と相談の上、所定の辞退届を提出することとする。

(コース登録学生数の制限)

第6条 当該コースに登録できる学生数は、原則として15名を上限とし、第4学年授業開始後に欠員が生じた場合の補充は行わない。

(編入学生の取扱)

第7条 編入学生についても、当該コースに登録することができる。

(その他)

第8条 コースの履修に関する事項については、この規程に定めるもののほか、北海道医療大学学則、看護福祉学部履修規程の定めるところによる。

(改廃)

第9条 この細則の改廃は、教授会の議を経て学部長が決定する。

附 則

この細則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、別表については、平成26年3月31日以前に在

学している学生にも適用する。

附 則

この細則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、平成27年3月31日以前に看護福祉学部看護学科に入学し、引き続き在学する者については、従前の規定による。

附 則

この細則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年4月1日現在で第2～4学年に在学する者については、別表のみ従前の規定による。

附 則

この細則は、令和2年4月1日から施行する。ただし、別表の「卒業研究」については、令和2年4月1日現在で第2～4学年に在学する学生にも適用する。

別表

看護学科 コース別履修科目（令和3年度第1・2学年適用）

【専門科目】

●：学科必修 ○：保健師養成コース必修 ◎：保健師養成コース限定必修

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								卒業認定に必要な科目と単位					
				1年		2年		3年		4年		計	保健師養成コース				
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		履修	単位	履修	単位	
I	看護学原論	2		30									30	●	2	●	2
	人間発達論	2		30									30	●	2	●	2
	看護福祉学入門	2			30								30	●	2	●	2
	臨床心理学	2			30								30	●	2	●	2
	看護倫理	2						30					30	●	2	●	2
	看護管理論	2									30		30	●	2	●	2
	コミュニケーション論		2			30							30				
福祉と当事者のリアル I		2	30									30					
II	社会福祉概論	2		30									30	●	2	●	2
	家族関係論	2			30								30	●	2	●	2
	公衆衛生学	1				30							30	●	1	●	1
	疫学	1					30						30	●	1	●	1
	保健統計	1						30					30	●	1	●	1
	保健医療福祉行政論 I	1					15						15	●	1	●	1
III	医学原論	1		30									30	●	1	●	1
	人体構造機能学 I	1		30									30	●	1	●	1
	人体構造機能学 II	1		30									30	●	1	●	1
	人体構造機能学 III	1			30								30	●	1	●	1
	人体構造機能学 IV	1			30								30	●	1	●	1
	人体構造機能学演習	1				30							30	●	1	●	1
	生化学	1				30							30	●	1	●	1
	微生物学	1			30								30	●	1	●	1
	薬理学	1				30							30	●	1	●	1
	病理学 I	1			30								30	●	1	●	1
	病理学 II	1				30							30	●	1	●	1
	食物学	1				30							30	●	1	●	1
	成人病態論 I	1				30							30	●	1	●	1
	成人病態論 II	1					30						30	●	1	●	1
	成人病態論 III	1						30					30	●	1	●	1
	小児病態論	1					30						30	●	1	●	1
	母性病態論	1					30						30	●	1	●	1
	精神病態論	1					30						30	●	1	●	1
老年病態論	1					30						30	●	1	●	1	
リハビリテーション法	1					30						30	●	1	●	1	
IV	看護技術論	1			30								30	●	1	●	1
	看護技術基礎演習	1			30								30	●	1	●	1
	看護技術各論 I	1				30							30	●	1	●	1
	看護技術各論 II	1					30						30	●	1	●	1
	看護技術演習 I	1				30							30	●	1	●	1
	看護技術演習 II	1					30						30	●	1	●	1
	母性看護学	2				30							30	●	2	●	2
	母性看護学演習	1						30					30	●	1	●	1
	小児看護学	2						30					30	●	2	●	2
	小児看護学演習	1							30				30	●	1	●	1

別表

看護学科 コース別履修科目（令和3年度第1・2学年適用）

【専門科目】

●：学科必修 ○：保健師養成コース必修 ◎：保健師養成コース限定必修

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								卒業認定に必要な科目と単位				
		必修	選択	1年		2年		3年		4年		計	保健師養成コース			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		履修	単位	履修	単位
IV	成人看護学	2			30							30	●	2	●	2
	成人看護各論Ⅰ	1				30						30	●	1	●	1
	成人看護各論Ⅱ	1					30					30	●	1	●	1
	成人看護各論Ⅲ	1						30				30	●	1	●	1
	成人看護学演習	1						30				30	●	1	●	1
	がん看護学	2						30				30	●	2	●	2
	老年看護学	2				30						30	●	2	●	2
	老年看護学演習	1						30				30	●	1	●	1
	精神看護学	2					30					30	●	2	●	2
	精神看護学演習	1						30				30	●	1	●	1
	在宅看護学	2					30					30	●	2	●	2
	在宅看護学各論	1					30					30	●	1	●	1
	在宅看護学演習	1						30				30	●	1	●	1
	公衆衛生看護学概論	2				30						30	●	2	●	2
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	1					15					15	●	1	●	1
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ		2						30			30			○	2
	公衆衛生看護活動展開論Ⅲ		2						30			30			○	2
	公衆衛生看護管理論		1								15	15			○	1
	クリティカルケア		1						15			15				
	皮膚・排泄ケア		1								15	15				
	感染管理		1									15	15			
	看護実践演習		1						30			30	●	1	●	1
	基礎看護学実習		3					135				135	●	3	●	3
	母性看護学実習		2							90		90	●	2	●	2
	小児看護学実習		2							90		90	●	2	●	2
	成人看護学実習Ⅰ		4							180		180	●	4	●	4
	成人看護学実習Ⅱ		4								180	180	●	4	●	4
老年看護学実習		4							180		180	●	4	●	4	
精神看護学実習		2							90		90	●	2	●	2	
在宅看護学実習		2							90		90	●	2	●	2	
卒業研究		3								90	90	●	3	●	3	
保健師教育課程	公衆衛生看護活動展開論Ⅳ		2							60	60			◎	2	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅴ		2							60	60			◎	2	
	健康教育論		2							60	60			◎	2	
	保健医療福祉行政論Ⅱ		2							30	30			◎	2	
	公衆衛生看護学実習		5							225	225			◎	5	
自由選択科目	看護総合講義		2							30	30					
卒業認定単位 全学教育科目32単位以上+専門教育科目100単位以上=合計132単位以上													100		118	
*看護師のみ 専門教育科目100単位以上（看護師国家試験受験資格取得） *保健師養成コース 専門教育科目118単位以上（看護師・保健師国家試験受験資格取得） （専門教育科目105単位以上+保健師教育課程限定科目13単位=118単位）																

別表

看護学科 コース別履修科目（令和3年度第3・4学年適用）

【専門科目】

●：学科必修 ○：保健師養成コース必修 ◎：保健師養成コース限定必修

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								卒業認定に必要な科目と単位					
				1年		2年		3年		4年		計	保健師養成コース				
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		履修	単位	履修	単位	
I	看護学原論	2		30									30	●	2	●	2
	人間発達論	2		30									30	●	2	●	2
	看護福祉学入門	2			30								30	●	2	●	2
	臨床心理学	2			30								30	●	2	●	2
	看護倫理	2						30					30	●	2	●	2
	看護管理論	2									30		30	●	2	●	2
	コミュニケーション論		2			30							30				
II	社会福祉概論	2		30									30	●	2	●	2
	家族関係論	2			30								30	●	2	●	2
	公衆衛生学	1				30							30	●	1	●	1
	疫学	1					30						30	●	1	●	1
	保健統計	1						30					30	●	1	●	1
	保健医療福祉行政論 I	1					15						15	●	1	●	1
III	医学原論	1		30									30	●	1	●	1
	人体構造機能学 I	1		30									30	●	1	●	1
	人体構造機能学 II	1		30									30	●	1	●	1
	人体構造機能学 III	1			30								30	●	1	●	1
	人体構造機能学 IV	1			30								30	●	1	●	1
	人体構造機能学演習	1				30							30	●	1	●	1
	生化学	1			30								30	●	1	●	1
	微生物学	1			30								30	●	1	●	1
	薬理学	1				30							30	●	1	●	1
	病理学 I	1			30								30	●	1	●	1
	病理学 II	1				30							30	●	1	●	1
	食物学	1				30							30	●	1	●	1
	成人病態論 I	1				30							30	●	1	●	1
	成人病態論 II	1					30						30	●	1	●	1
	成人病態論 III	1						30					30	●	1	●	1
	小児病態論	1					30						30	●	1	●	1
	母性病態論	1					30						30	●	1	●	1
	精神病態論	1					30						30	●	1	●	1
老年病態論	1					30						30	●	1	●	1	
リハビリテーション法	1					30						30	●	1	●	1	
IV	看護技術論	1			30								30	●	1	●	1
	看護技術基礎演習	1			30								30	●	1	●	1
	看護技術各論 I	1				30							30	●	1	●	1
	看護技術各論 II	1					30						30	●	1	●	1
	看護技術演習 I	1				30							30	●	1	●	1
	看護技術演習 II	1					30						30	●	1	●	1
	母性看護学	2				30							30	●	2	●	2
	母性看護学演習	1					30						30	●	1	●	1
	小児看護学	2					30						30	●	2	●	2
	小児看護学演習	1						30					30	●	1	●	1

別表

看護学科 コース別履修科目（令和3年度第3・4学年適用）

【専門科目】

●：学科必修 ○：保健師養成コース必修 ◎：保健師養成コース限定必修

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								卒業認定に必要な科目と単位						
				1年		2年		3年		4年		計	保健師養成コース					
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		履修	単位	履修	単位		
IV	成人看護学	2			30								30	●	2	●	2	
	成人看護各論Ⅰ	1				30							30	●	1	●	1	
	成人看護各論Ⅱ	1					30						30	●	1	●	1	
	成人看護各論Ⅲ	1						30					30	●	1	●	1	
	成人看護学演習	1							30				30	●	1	●	1	
	がん看護学	2							30				30	●	2	●	2	
	老年看護学	2					30						30	●	2	●	2	
	老年看護学演習	1							30				30	●	1	●	1	
	精神看護学	2						30					30	●	2	●	2	
	精神看護学演習	1							30				30	●	1	●	1	
	在宅看護学	2							30				30	●	2	●	2	
	在宅看護学各論	1							30				30	●	1	●	1	
	在宅看護学演習	1								30			30	●	1	●	1	
	公衆衛生看護学概論	2					30						30	●	2	●	2	
	公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ	1						15					15	●	1	●	1	
	公衆衛生看護学活動展開論Ⅱ		2							30			30			○	2	
	公衆衛生看護学活動展開論Ⅲ		2							30			30			○	2	
	公衆衛生看護学管理論		1									15	15			○	1	
	クリティカルケア		1							15			15					
	皮膚・排泄ケア		1									15	15					
	感染管理			1									15	15				
	看護実践演習		1							30			30	●	1	●	1	
	基礎看護学実習		3					135					135	●	3	●	3	
	母性看護学実習		2								90		90	●	2	●	2	
	小児看護学実習		2								90		90	●	2	●	2	
	成人看護学実習Ⅰ		4								180		180	●	4	●	4	
成人看護学実習Ⅱ		4									180	180	●	4	●	4		
老年看護学実習		4								180		180	●	4	●	4		
精神看護学実習		2								90		90	●	2	●	2		
在宅看護学実習		2								90		90	●	2	●	2		
卒業研究		3									90	90	●	3	●	3		
保健師教育課程	公衆衛生看護学活動展開論Ⅳ		2									60	60			◎	2	
	公衆衛生看護学活動展開論Ⅴ		2										60	60			◎	2
	健康教育論		2										60	60			◎	2
	保健医療福祉行政論Ⅱ		2										30	30			◎	2
	公衆衛生看護学実習		5										225	225			◎	5
自由選択科目	看護総合講義		2									30	30					
卒業認定単位 全学教育科目32単位以上+専門教育科目100単位以上=合計132単位以上														100		118		
*看護師のみ 専門教育科目100単位以上（看護師国家試験受験資格取得） *保健師養成コース 専門教育科目118単位以上（看護師・保健師国家試験受験資格取得） （専門教育科目105単位以上+保健師教育課程限定科目13単位=118単位）																		

---

# 看護福祉学部臨床福祉学科の コース制の履修方法等に関する細則

---

(目的)

第1条 この細則は、看護福祉学部履修規程（以下、「履修規程」という。）第6条に定める臨床福祉学科の履修コースについて、必要な事項を定める。

(コース制)

第2条 臨床福祉学科には、次に掲げる履修コース（以下「コース」という。）を置くものとする。

保健福祉臨床コース

精神保健福祉コース

介護福祉コース

(国家試験受験資格の取得)

第3条 臨床福祉学科において取得可能な国家試験受験資格は、次に掲げるとおりである。

社会福祉士国家試験受験資格

精神保健福祉士国家試験受験資格

介護福祉士国家試験受験資格

2 社会福祉士国家試験受験資格は、コースにかかわらず、学科内で卒業要件を満たし且つ社会福祉士国家試験の指定科目を履修および単位修得することにより取得できる。

(コース登録)

第4条 精神保健福祉士国家試験受験資格を取得するためには、精神保健福祉コースに登録し、当該コースで開設する指定科目の履修および単位修得が必要である。

2 介護福祉士国家試験受験資格を取得するためには、介護福祉コースに登録し、当該コースで開設する指定科目の履修および単位修得が必要である。

3 精神保健福祉コースおよび介護福祉コースのいずれにも登録しない者で、社会福祉士国家試験受験資格を取得するために当該指定科目をすべて履修する場合の履修モデルを保健福祉臨床コースと称する。

(コース登録手続)

第5条 精神保健福祉コースおよび介護福祉コースに所属するには、所定の登録手続をしなければならない。

2 前項に定める登録手続については、所定の用紙を次に掲げる期限までに提出しなければならない。

精神保健福祉コース（第2学年後期の指定する日）

介護福祉コース（第1学年前期履修登録締切日）

3 前項各号のコースを志願する学生については、当該コースにおいて選考を行うことがある。

4 選考結果は、教務委員会において承認し、教務委員会は最終結果を教授会に報告する。

5 コースの登録後の取止めについては、当該コース担当教員と相談の上、所定の辞退届を学科長に提出することとし、学科長はその旨を教務部長に報告する。

(コース登録学生数の制限)

第6条 精神保健福祉コースおよび介護福祉コースに登録できる学生数の上限は、原則として次のとおりとする。

精神保健福祉コース 第3・4学年各30名（編入学生等5名を含む）

介護福祉コース 各学年20名

(編入学生の取扱)

第7条 編入学生は、精神保健福祉コースおよび介護福祉コースに登録することができない。

ただし、本学に編入学する以前に社会福祉士国家資格または社会福祉士国家試験受験資格を有する者は、教務委員会の承認を得た場合、精神保健福祉コースに登録することができる。なお、本学に編入学する以前に介護福祉士国家資格を有する者は、教務委員会の承認を得た場合、コースに関わらず「実



地研修Ⅰ～Ⅴ」を履修することができるものとする。

(その他)

第8条 コースの履修に関する事項については、この細則に定めるもののほか、北海道医療大学学則、看護福祉学部履修規程、看護福祉学部臨床福祉学科介護福祉士養成コース履修等に関する細則の定めるところによる。

(改廃)

第9条 この細則の改廃は、教授会の議を経て学部長が決定する。

附 則

この細則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

1 この細則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、改正後の第5条の規定は、平成21年度に1年次に入学した学生から適用する。

2 平成21年3月31日以前に看護福祉学部臨床福祉学科に入学し、引き続き在学する者については、従前の規定による。

附 則

1 この細則は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成24年3月31日に看護福祉学部臨床福祉学科に入学し、引き続き在学する者については、従前の規定による。

附 則

この細則は、平成25年4月1日から施行する。ただし、平成25年3月31日以前に看護福祉学部臨床福祉学科に入学し、引き続き在学する者については、従前の規定による。

附 則

この細則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、平成26年3月31日以前に看護福祉学部臨床福祉学科に入学し、引き続き在学する者については、従前の規定による。

附 則

この細則は、平成27年4月1日から施行する。

1 「精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ」および「精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ」「精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅲ」については、平成27年4月1日現在で第2学年に在学する学生にも適用する。

2 「スクールソーシャルワーク論」の履修については、平成27年4月1日現在で第2学年に在学する学生にも適用する。

附 則

この細則は、平成27年12月10日から施行する。ただし、改正後の第6条の規定は、平成25年度入学生および平成27年度に第3学年に編入した学生から適用する。

附 則

この細則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、改正後の第5条の規定は、平成26年度入学生についても適用する。

附 則

この細則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年4月1日現在で第2～4学年に在学する者については、別表のみ従前の規定による。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、「地域共生社会演習Ⅰ」は、平成30年4月の第3学年より、「地域共生社会演習Ⅱ」は、平成31年4月の第4学年より適用する。

附 則

この細則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和2年1月14日から施行する。

附 則

この細則は、令和3年4月1日から施行する。ただし、令和3年3月31日以前に看護福祉学部臨床福祉学科に入学し、引き続き在学する者については、別表のみ従前の規定による。

別表

国家試験受験資格等を取得するために履修が必要な科目（指定科目）

（令和3年度第1学年適用）

- ●は各国家試験受験資格を取得するために履修が必要な科目
- (●)は、各コースの限定科目（コース登録者のみが履修できる）
- 介護福祉コースにおける○はコース登録者のみの選択科目

本学授業科目（題目）		必修科目 単位数	選択科目 単位数	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目 【精神保健福祉コース】	介護福祉士 指定科目 【介護福祉コース】	スクールソーシャル ワーク教育課程
全 科 学 目 教 育	社会学（社会学）		2	●	●	●	
	心理学（心理学）		2	●	●	●	
I	社会福祉原論	4		●	●	●	
	看護福祉学入門	2					
	社会心理学		2				
	ソーシャルワーク入門	2					
	福祉哲学と倫理		2				
	介護コミュニケーション論		4			(●)	
	福祉と当事者のリアルⅠ		2				
	福祉と当事者のリアルⅡ		1				
	臨床福祉学導入演習	1					
	精神保健福祉の原理Ⅰ		2		●		
	精神保健福祉の原理Ⅱ		2		●		
II	社会保障論	4		●	●	●	
	公的扶助論	2		●			
	地域福祉論	4		●	●		
	児童福祉論		2	●			
	障害者福祉論		2	●	●	●	
	家族福祉論		2				
	高齢者福祉論		2	●		●	
	認知症と生活支援		2			●	
	保健医療福祉論		2	●		●	
	医療ソーシャルワーク実践論		2				
	スクールソーシャルワーク論		2				●
	精神保健福祉制度論		2		●		
	民法		2				
行政法		2					
III	医学一般	2		●	●	●	
	医学原論		1				
	精神医学		4		●		
	精神保健学Ⅰ		2		●	●	●
	精神保健学Ⅱ		2		●		
	薬理学		2				
	リハビリテーション論		2			●	
	アダプテッド・スポーツ演習		1				
	コーチング論		2				
	障害基礎医学		2			●	
	心身機能構造論		2			●	
認知症ケア論		2			●		

別表

国家試験受験資格等を取得するために履修が必要な科目（指定科目）

（令和3年度第1学年適用）

- ●は各国家試験受験資格を取得するために履修が必要な科目
- (●)は、各コースの限定科目（コース登録者のみが履修できる）
- 介護福祉コースにおける○はコース登録者のみの選択科目

本学授業科目（題目）	必修科目 単位数	選択科目 単位数	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士	介護福祉士	スクールソーシャル ワーク教育課程
				指定科目 【精神保健福祉コース】	指定科目 【介護福祉コース】	
ソーシャルワーク論		4	●	●	●	
ソーシャルワーク方法論Ⅰ		2	●	●		
ソーシャルワーク方法論Ⅱ		2	●	●		
ソーシャルワーク方法論Ⅲ		2	●			
ソーシャルワーク方法論Ⅳ		2	●			
精神障害リハビリテーション論		2		●		
社会福祉調査法		2	●	●	●	
マーケティング論		2				
マネジメント論		2				
レクリエーションスポーツマネジメント		2				
社会福祉運営管理論		2	●			
介護管理論		2			●	
権利擁護・成年後見制度論	2		●	●		
司法福祉論		2	●	●		
ソーシャルワーク演習Ⅰ	1		●	●	●	
ソーシャルワーク演習Ⅱ	1		●			
ソーシャルワーク演習Ⅲ	1		●			
ソーシャルワーク演習Ⅳ		2	●			
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1		●			
ソーシャルワーク実習Ⅰ	1.5		●			
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		2	●			
ソーシャルワーク実習Ⅱ		4	●			
介護概論Ⅰ		4			(●)	
介護概論Ⅱ		4			(●)	
介護概論Ⅲ		4			(●)	
生活支援技術論Ⅰ		4			(●)	
生活支援技術論Ⅱ		4			(●)	
生活支援技術論Ⅲ		4			(●)	
生活支援技術論Ⅳ		2			(●)	
生活支援技術論Ⅴ		4			(●)	
生活支援技術論Ⅵ		2			(●)	
医療的ケア		7			(●)	
実地研修Ⅰ		0.5			○	
実地研修Ⅱ		0.5			○	
実地研修Ⅲ		0.5			○	
実地研修Ⅳ		0.5			○	
実地研修Ⅴ		0.5			○	
介護過程論Ⅰ		2			(●)	
介護過程論Ⅱ		4			(●)	
介護過程論Ⅲ		4			(●)	

別表

国家試験受験資格等を取得するために履修が必要な科目（指定科目）

（令和3年度第1学年適用）

- ●は各国家試験受験資格を取得するために履修が必要な科目
- (●)は、各コースの限定科目（コース登録者のみが履修できる）
- 介護福祉コースにおける○はコース登録者のみの選択科目

本学授業科目（題目）	必修科目 単位数	選択科目 単位数	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士	介護福祉士	スクールソーシャル ワーク教育課程	
				指定科目 【精神保健福祉コース】	指定科目 【介護福祉コース】		
IV	介護総合演習Ⅰ		1		(●)		
	介護総合演習Ⅱ		1		(●)		
	介護総合演習Ⅲ		1		(●)		
	介護総合演習Ⅳ		1		(●)		
	介護実習Ⅰ		1		(●)		
	介護実習Ⅱ		3		(●)		
	介護実習Ⅲ		4		(●)		
	介護実習Ⅳ		2		(●)		
	精神保健福祉の理論と方法Ⅰ		2		●		
	精神保健福祉の理論と方法Ⅱ		2		●		
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ		1.5		(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ		1.5		(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習		5		(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1		(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		1		(●)		
	ソーシャルワーク応用実習		4				
	ソーシャルワーク応用実習指導		1				
	地域共生社会演習Ⅰ		2				
	地域共生社会演習Ⅱ		1				
	プロジェクト演習Ⅰ	1					
	プロジェクト演習Ⅱ	2					
	プロジェクト研究	4					
	社会福祉研究法	1					
臨床福祉総合講義		4					
現代社会論		2					
シ ス ク ー ル ソ ー シ ャ ー ル ワ ー ク 教 育 課 程	スクール（学校）ソーシャルワーク演習		1			(●)	
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導		2			(●)	
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習		2			(●)	
教 職 課 程	教育社会学		2			●	
	生徒指導・進路指導論		2			(いずれか1科目 以上)	
	教育相談の理論と方法		2				

【スクールソーシャルワーク教育課程について】

- スクールソーシャルワーク教育課程を希望する者は、社会福祉士国家試験指定科目を履修する必要がある。

別表

国家試験受験資格等を取得するために履修が必要な科目（指定科目）

（令和3年度第2学年適用）

- ●は各国家試験受験資格を取得するために履修が必要な科目
- (●)は、各コースの限定科目（コース登録者のみが履修できる）
- 介護福祉コースにおける○はコース登録者のみの選択科目

本学授業科目（題目）		必修科目 単位数	選択科目 単位数	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目 【精神保健福祉コース】	介護福祉士 指定科目 【介護福祉コース】	スクールソーシャル ワーク教育課程
全 科 目 教 育	社会学（社会学）		2	●	●	●	
	心理学（心理学）		2	●	●	●	
I	社会福祉原論	4		●	●	●	
	看護福祉学入門	2					
	社会心理学		2				
	ソーシャルワーク入門	2					
	福祉哲学と倫理		2				
	介護コミュニケーション論		4			(●)	
	コミュニケーション論		2				
	福祉と当事者のリアルⅠ		2				
	福祉と当事者のリアルⅡ		1				
	臨床福祉学導入演習	1					
II	社会保障論	4		●	●	●	
	公的扶助論	2		●	●		
	地域福祉論	4		●	●		
	児童福祉論		2	●			
	障害者福祉論		2	●	●	●	
	家族福祉論		2				
	高齢者福祉論Ⅰ		2	●		●	
	高齢者福祉論Ⅱ		2	●		●	
	医療福祉論		2	●	●	●	
	医療ソーシャルワーク実践論		2				
	スクールソーシャルワーク論		2				●
	精神保健福祉論Ⅰ		2		●		
	精神保健福祉論Ⅱ		2		●		
	精神保健福祉論Ⅲ		2		●		
	福祉行財政・福祉計画論	2		●	●		
民法		2					
行政法		2					
III	医学一般	2		●	●	●	
	医学原論		1				
	精神医学Ⅰ		2		●		
	精神医学Ⅱ		2		●		
	精神保健学Ⅰ		2		●		●
	精神保健学Ⅱ		2		●	●	
	公衆衛生学		2				
	薬理学		2				
	リハビリテーション論		2			●	
	アダプテッド・スポーツ演習		1				
	保健医療福祉情報論		2				
	障害基礎医学		2			●	

別表

国家試験受験資格等を取得するために履修が必要な科目（指定科目）

（令和3年度第2学年適用）

- ●は各国家試験受験資格を取得するために履修が必要な科目
- (●)は、各コースの限定科目（コース登録者のみが履修できる）
- 介護福祉コースにおける○はコース登録者のみの選択科目

	本学授業科目（題目）	必修科目 単位数	選択科目 単位数	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目	介護福祉士 指定科目	スクールソーシャル ワーク教育課程
					【精神保健福祉コース】	【介護福祉コース】	
Ⅲ	心身機能構造論		2			●	
	認知症ケア論		2			●	
Ⅳ	ソーシャルワーク論Ⅰ		4	●	●	●	
	ソーシャルワーク論Ⅱ		4	●	●		
	ソーシャルワーク論Ⅲ		4	●	●		
	精神保健福祉ソーシャルワーク論		2		●		
	社会福祉調査法		2	●		●	
	社会福祉運営管理論		2	●			
	介護管理論		2			●	
	就労支援論		1	●			
	権利擁護・成年後見制度論	2		●	●		
	更生保護制度論		1	●			
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1		●	●	●	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2		●	●		
	ソーシャルワーク演習Ⅲ		2	●	●		
	ソーシャルワーク基礎実習指導	1					
	ソーシャルワーク基礎実習	1					
	ソーシャルワーク実習指導		2	●			
	ソーシャルワーク実習		4	●			
	介護概論Ⅰ		4			(●)	
	介護概論Ⅱ		4			(●)	
	介護概論Ⅲ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅰ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅱ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅲ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅳ		2			(●)	
	生活支援技術論Ⅴ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅵ		2			(●)	
医療的ケア		7			(●)		
実地研修Ⅰ		0.5			○		
実地研修Ⅱ		0.5			○		
実地研修Ⅲ		0.5			○		
実地研修Ⅳ		0.5			○		
実地研修Ⅴ		0.5			○		
介護過程論Ⅰ		2			(●)		
介護過程論Ⅱ		4			(●)		
介護過程論Ⅲ		4			(●)		
介護総合演習Ⅰ		1			(●)		
介護総合演習Ⅱ		1			(●)		
介護総合演習Ⅲ		1			(●)		
介護総合演習Ⅳ		1			(●)		

別表

国家試験受験資格等を取得するために履修が必要な科目（指定科目）

（令和3年度第2学年適用）

- ●は各国家試験受験資格を取得するために履修が必要な科目
- (●)は、各コースの限定科目（コース登録者のみが履修できる）
- 介護福祉コースにおける○はコース登録者のみの選択科目

本学授業科目（題目）	必修科目 単位数	選択科目 単位数	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目	介護福祉士 指定科目	スクールソーシャル ワーク教育課程
				【精神保健福祉コース】	【介護福祉コース】	
IV	介護実習Ⅰ		1		(●)	
	介護実習Ⅱ		3		(●)	
	介護実習Ⅲ		2		(●)	
	介護実習Ⅳ		4		(●)	
	精神保健福祉の理論と方法Ⅰ		4	●		
	精神保健福祉の理論と方法Ⅱ		4	●		
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ		1	(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ		1	(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習		5	(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1	(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		1	(●)		
	ソーシャルワーク応用実習		4			
	ソーシャルワーク応用実習指導Ⅰ		0.5			
	ソーシャルワーク応用実習指導Ⅱ		1			
	地域共生社会演習Ⅰ		2			
	地域共生社会演習Ⅱ		1			
	臨床福祉専門演習Ⅰ	1				
	臨床福祉専門演習Ⅱ	2				
	卒業論文	4				
	社会福祉研究法	1				
臨床福祉総合講義		4				
現代社会論		2				
シ ャ ク ル ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 教 育 課 程	スクール（学校）ソーシャルワーク演習		1			(●)
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導		2			(●)
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習		2			(●)
教 職 課 程	教育社会学		2			●
	生徒指導・進路指導論		2			● (いずれか1科目 以上)
	教育相談の理論と方法		2			

【スクールソーシャルワーク教育課程について】

- スクールソーシャルワーク教育課程を希望する者は、社会福祉士国家試験指定科目を履修する必要がある。



別表

国家試験受験資格等を取得するために履修が必要な科目（指定科目）

（令和3年度第3学年適用）

- ●は各国家試験受験資格を取得するために履修が必要な科目
- (●)は、各コースの限定科目（コース登録者のみが履修できる）
- 介護福祉コースにおける○はコース登録者のみの選択科目

本学授業科目（題目）		必修科目 単位数	選択科目 単位数	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目 【精神保健福祉コース】	介護福祉士 指定科目 【介護福祉コース】	スクールソーシャル ワーク教育課程
全 科 学 目 教 育	社会学（社会学）		2	●	●	●	
	心理学（心理学）		2	●	●	●	
I	社会福祉原論	4		●	●	●	
	看護福祉学入門	2					
	社会心理学		2				
	ソーシャルワーク入門	2					
	福祉哲学と倫理		2				
	介護コミュニケーション論		4			(●)	
	コミュニケーション論		2				
	福祉と当事者のリアルⅡ		1				
	臨床福祉学導入演習	1					
II	社会保障論	4		●	●	●	
	公的扶助論	2		●	●		
	地域福祉論	4		●	●		
	児童福祉論		2	●			
	障害者福祉論		2	●	●	●	
	家族福祉論		2				
	高齢者福祉論Ⅰ		2	●		●	
	高齢者福祉論Ⅱ		2	●		●	
	医療福祉論		2	●	●	●	
	医療ソーシャルワーク実践論		2				
	スクールソーシャルワーク論		2				●
	精神保健福祉論Ⅰ		2		●		
	精神保健福祉論Ⅱ		2		●		
	精神保健福祉論Ⅲ		2		●		
	福祉行政財・福祉計画論	2		●	●		
民法		2					
行政法		2					
III	医学一般	2		●	●	●	
	医学原論		1				
	精神医学Ⅰ		2		●		
	精神医学Ⅱ		2		●		
	精神保健学Ⅰ		2		●		●
	精神保健学Ⅱ		2		●	●	
	公衆衛生学		2				
	薬理学		2				
	リハビリテーション論		2			●	
	アダプテッド・スポーツ演習		1				
	保健医療福祉情報論		2				
障害基礎医学		2			●		

別表

国家試験受験資格等を取得するために履修が必要な科目（指定科目）

（令和3年度第3学年適用）

- ●は各国家試験受験資格を取得するために履修が必要な科目
- (●)は、各コースの限定科目（コース登録者のみが履修できる）
- 介護福祉コースにおける○はコース登録者のみの選択科目

	本学授業科目（題目）	必修科目 単位数	選択科目 単位数	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目	介護福祉士 指定科目	スクールソーシャル ワーク教育課程
					【精神保健福祉コース】	【介護福祉コース】	
Ⅲ	心身機能構造論		2			●	
	認知症ケア論		2			●	
Ⅳ	ソーシャルワーク論Ⅰ		4	●	●	●	
	ソーシャルワーク論Ⅱ		4	●	●		
	ソーシャルワーク論Ⅲ		4	●	●		
	精神保健福祉ソーシャルワーク論		2		●		
	社会福祉調査法		2	●		●	
	社会福祉運営管理論		2	●			
	介護管理論		2			●	
	就労支援論		1	●			
	権利擁護・成年後見制度論	2		●	●		
	更生保護制度論		1	●			
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1		●	●	●	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2		●	●		
	ソーシャルワーク演習Ⅲ		2	●	●		
	ソーシャルワーク基礎実習指導	1					
	ソーシャルワーク基礎実習	1					
	ソーシャルワーク実習指導		2	●			
	ソーシャルワーク実習		4	●			
	介護概論Ⅰ		4			(●)	
	介護概論Ⅱ		4			(●)	
	介護概論Ⅲ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅰ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅱ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅲ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅳ		2			(●)	
	生活支援技術論Ⅴ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅵ		2			(●)	
	医療的ケア		7			(●)	
実地研修Ⅰ		0.5			○		
実地研修Ⅱ		0.5			○		
実地研修Ⅲ		0.5			○		
実地研修Ⅳ		0.5			○		
実地研修Ⅴ		0.5			○		
介護過程論Ⅰ		2			(●)		
介護過程論Ⅱ		4			(●)		
介護過程論Ⅲ		4			(●)		
介護総合演習Ⅰ		1			(●)		
介護総合演習Ⅱ		1			(●)		
介護総合演習Ⅲ		1			(●)		
介護総合演習Ⅳ		1			(●)		

別表

国家試験受験資格等を取得するために履修が必要な科目（指定科目）

（令和3年度第3学年適用）

- ●は各国家試験受験資格を取得するために履修が必要な科目
- (●)は、各コースの限定科目（コース登録者のみが履修できる）
- 介護福祉コースにおける○はコース登録者のみの選択科目

本学授業科目（題目）	必修科目 単位数	選択科目 単位数	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目	介護福祉士 指定科目	スクールソーシャル ワーク教育課程
				【精神保健福祉コース】	【介護福祉コース】	
IV	介護実習 I		1		(●)	
	介護実習 II		3		(●)	
	介護実習 III		2		(●)	
	介護実習 IV		4		(●)	
	精神保健福祉の理論と方法 I		4	●		
	精神保健福祉の理論と方法 II		4	●		
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習 I		1	(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習 II		1	(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習		5	(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導 I		1	(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導 II		1	(●)		
	ソーシャルワーク応用実習		4			
	ソーシャルワーク応用実習指導 I		0.5			
	ソーシャルワーク応用実習指導 II		1			
	地域共生社会演習 I		2			
	地域共生社会演習 II		1			
	臨床福祉専門演習 I	1				
	臨床福祉専門演習 II	2				
	卒業論文	4				
	社会福祉研究法	1				
臨床福祉総合講義		4				
現代社会論		2				
シ ャ ク ル ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 教 育 課 程	スクール（学校）ソーシャルワーク演習		1			(●)
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導		2			(●)
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習		2			(●)
教 職 課 程	教育社会学		2			●
	生徒指導・進路指導論		2			● (いずれか1科目 以上)
	教育相談の理論と方法		2			

【スクールソーシャルワーク教育課程について】

- スクールソーシャルワーク教育課程を希望する者は、社会福祉士国家試験指定科目を履修する必要がある。

別表

国家試験受験資格等を取得するために履修が必要な科目（指定科目）

（令和3年度第4学年適用）

- ●は各国家試験受験資格を取得するために履修が必要な科目
- (●)は、各コースの限定科目（コース登録者のみが履修できる）
- 介護福祉コースにおける○はコース登録者のみの選択科目

本学授業科目（題目）		必修科目 単位数	選択科目 単位数	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目 【精神保健福祉コース】	介護福祉士 指定科目 【介護福祉コース】	スクールソーシャル ワーク教育課程
全 科 目 教 育	社会学（社会学）		2	●	●	●	
	心理学（心理学）		2	●	●	●	
I	社会福祉原論	4		●	●	●	
	看護福祉学入門	2					
	社会心理学		2				
	ソーシャルワーク入門	2					
	福祉哲学と倫理		2				
	介護コミュニケーション論		4			(●)	
	コミュニケーション論		2				
	臨床福祉学導入演習	1					
II	社会保障論	4		●	●	●	
	公的扶助論	2		●	●		
	地域福祉論	4		●	●		
	児童福祉論		2	●			
	障害者福祉論		2	●	●	●	
	家族福祉論		2				
	高齢者福祉論 I		2	●		●	
	高齢者福祉論 II		2	●		●	
	医療福祉論		2	●	●	●	
	医療ソーシャルワーク実践論		2				
	スクールソーシャルワーク論		2				●
	精神保健福祉論 I		2		●		
	精神保健福祉論 II		2		●		
	精神保健福祉論 III		2		●		
	福祉行財政・福祉計画論	2		●	●		
	民法		2				
行政法		2					
III	医学一般	2		●	●	●	
	医学原論		1				
	精神医学 I		2		●		
	精神医学 II		2		●		
	精神保健学 I		2		●		●
	精神保健学 II		2		●	●	
	公衆衛生学		2				
	薬理学		2				
	リハビリテーション論		2			●	
	保健医療福祉情報論		2				
	障害基礎医学		2			●	

別表

国家試験受験資格等を取得するために履修が必要な科目（指定科目）

（令和3年度第4学年適用）

- ●は各国家試験受験資格を取得するために履修が必要な科目
- (●)は、各コースの限定科目（コース登録者のみが履修できる）
- 介護福祉コースにおける○はコース登録者のみの選択科目

	本学授業科目（題目）	必修科目 単位数	選択科目 単位数	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目	介護福祉士 指定科目	スクールソーシャル ワーク教育課程
					【精神保健福祉コース】	【介護福祉コース】	
Ⅲ	心身機能構造論		2			●	
	認知症ケア論		2			●	
Ⅳ	ソーシャルワーク論Ⅰ		4	●	●	●	
	ソーシャルワーク論Ⅱ		4	●	●		
	ソーシャルワーク論Ⅲ		4	●	●		
	精神保健福祉ソーシャルワーク論		2		●		
	社会福祉調査法		2	●		●	
	社会福祉運営管理論		2	●			
	就労支援論		1	●			
	権利擁護・成年後見制度論	2		●	●		
	更生保護制度論		1	●			
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1		●	●	●	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2		●	●		
	ソーシャルワーク演習Ⅲ		2	●	●		
	ソーシャルワーク基礎実習指導	1					
	ソーシャルワーク基礎実習	1					
	ソーシャルワーク実習指導		2	●			
	ソーシャルワーク実習		4	●			
	介護概論Ⅰ		4			(●)	
	介護概論Ⅱ		4			(●)	
	介護概論Ⅲ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅰ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅱ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅲ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅳ		2			(●)	
	生活支援技術論Ⅴ		4			(●)	
	生活支援技術論Ⅵ		2			(●)	
	医療的ケア		7			(●)	
	実地研修Ⅰ		0.5			○	
	実地研修Ⅱ		0.5			○	
	実地研修Ⅲ		0.5			○	
	実地研修Ⅳ		0.5			○	
	実地研修Ⅴ		0.5			○	
	介護過程論Ⅰ		2			(●)	
介護過程論Ⅱ		4			(●)		
介護過程論Ⅲ		4			(●)		
介護総合演習Ⅰ		1			(●)		
介護総合演習Ⅱ		1			(●)		
介護総合演習Ⅲ		1			(●)		
介護総合演習Ⅳ		1			(●)		

別表

国家試験受験資格等を取得するために履修が必要な科目（指定科目）  
（令和3年度第4学年適用）

- ●は各国家試験受験資格を取得するために履修が必要な科目
- (●)は、各コースの限定科目（コース登録者のみが履修できる）
- 介護福祉コースにおける○はコース登録者のみの選択科目

本学授業科目（題目）	必修科目 単位数	選択科目 単位数	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目	介護福祉士 指定科目	スクールソーシャル ワーク教育課程
				【精神保健福祉コース】	【介護福祉コース】	
IV	介護実習Ⅰ		1		(●)	
	介護実習Ⅱ		3		(●)	
	介護実習Ⅲ		2		(●)	
	介護実習Ⅳ		4		(●)	
	精神保健福祉の理論と方法Ⅰ		4	●		
	精神保健福祉の理論と方法Ⅱ		4	●		
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ		1	(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ		1	(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習		5	(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1	(●)		
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		1	(●)		
	ソーシャルワーク応用実習		4			
	ソーシャルワーク応用実習指導Ⅰ		0.5			
	ソーシャルワーク応用実習指導Ⅱ		1			
	地域共生社会演習Ⅰ		2			
	地域共生社会演習Ⅱ		1			
	臨床福祉専門演習Ⅰ	1				
	臨床福祉専門演習Ⅱ	2				
	卒業論文	4				
	社会福祉研究法	1				
	臨床福祉総合講義		4			
現代社会論		2				
シ ャ ク ル ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 教 育 課 程	スクール（学校）ソーシャルワーク演習		1			(●)
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導		2			(●)
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習		2			(●)
教 職 課 程	教育社会学		2			●
	生徒指導・進路指導論		2			● (いずれか1科目以上)
	教育相談の理論と方法		2			

【スクールソーシャルワーク教育課程について】

- スクールソーシャルワーク教育課程を希望する者は、社会福祉士国家試験指定科目を履修する必要がある。

---

# 看護福祉学部臨床福祉学科

## 介護福祉士養成コース履修等に関する細則

---

(目的)

第1条 この細則は北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科に「社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）」に定める介護福祉士の養成課程をおくにあたり、当該課程学生の履修等に関して必要な事項を定めることを目的とする。

(名称)

第2条 この養成課程の名称は北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科介護福祉士養成コース（以下介護福祉コースという。）という。

(位置)

第3条 介護福祉コースは次の所在地に置く。  
北海道石狩郡当別町字金沢1757番地

(定員)

第4条 介護福祉コースの定員は20名とする。

(教育課程及び履修方法等)

第5条 介護福祉コースの学生は学則並びに看護福祉学部履修規程に基づき所定の科目を履修しなければならない。

2 前項の科目のうち「介護実習」については看護福祉学部履修規程の定めにかかわらず総授業時間数の80%以上出席しなければ受験資格を得ることができない。

(転入学、編入学)

第6条 介護福祉コースへの転入学、編入学は行うことができない。

(既修得単位の認定)

第7条 介護福祉コース（以下本コースという。）の学生が他の大学・学校あるいは他の学部・学科等において、本コースに配当されている授業科目の一部または全部をすでに修得している場合であっても、当該授業科目は本コースにおける修得単位として認定しない。

(その他)

第8条 上記に定める事項以外については、北海道医療大学学則、その他本学諸規程の定めるところによる。

(改廃)

第9条 この細則の改廃は教授会の議を経て学部長が決定する。

附 則

この細則は、平成14年4月1日から施行する。

(令和3年度入学生適用)

## 看護福祉学部＜全学教育科目＞カリキュラム・マップ

### ＜建学の理念＞

知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成

### ＜本学の教育理念＞

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を養成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

### ＜看護福祉学部看護学科の教育理念＞

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う看護専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の健康の向上に貢献することを看護福祉学部看護学科の教育理念とする。

### ＜看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念＞

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う福祉専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の福祉の向上に貢献することを看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念とする。

### ＜看護福祉学部看護学科のディプロマ・ポリシー（DP）＞

本学看護福祉学部看護学科卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
- DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
- DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
- DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
- DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

### ＜看護福祉学部臨床福祉学科のディプロマ・ポリシー（DP）＞

本学看護福祉学部臨床福祉学科卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
- DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
- DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
- DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
- DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

### 看護福祉学部（全学教育科目）

種 類	科目区分	授業科目	授業題目	開講年次	単位数		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
					必修	選択						
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	7割ディプロマ・リテラシー入門	1年前期		2		◎				
		教養科目	人間と思想	科学の哲学	1年前期		2					◎
			人間と文化	生命倫理学入門	1年後期		2	◎			○	
				国際文化比較論	1年前期		2	○				◎
			人間と社会	日本の小説	1年後期		2	○				◎
国際社会福祉論	1年後期			2					◎			
基礎教育	外国語科目	英語 I	英語コミュニケーションA	2年前期	1					○	◎	
			英語コミュニケーションB	2年後期		1				○	◎	
		英語 II	英語A	1年前期	1						○	◎
			英語B	1年後期	1						○	◎
			英語C	2年前期	1						○	◎
			英語D	2年後期	1						○	◎
		初修外国語	初級フランス語	1年前期	1						○	◎
			中級フランス語	1年後期	1						○	◎
			初級ドイツ語	1年前期	1						○	◎
			中級ドイツ語	1年後期	1						○	◎
	初級中国語		1年前期	1						○	◎	
	中級中国語		1年後期	1						○	◎	
	健康・運動科学科目	健康・運動科学	運動科学論	1年前期	2	○	○			◎		
			運動科学演習	1年後期	1	○	○			◎		
		情報科学科目	情報科学	1年後期	2			◎	○			
			情報処理演習	1年前期	1			◎	○			
		自然科学科目	統計学	基礎統計学	1年前期	2			○	◎		
			物理学	基礎物理学	1年前期	2			◎			
			化学	基礎化学	1年後期	2			◎	○		
			生物学	基礎生物学	1年前期	2	○	◎				
人文社会科目		社会学	社会学	1年前期	2					◎	○	
			経済学	1年前期	2	○			◎			
	経済学	医療福祉経済学	2年前期	2				◎		○		
		法学	法学概論	1年前期	2	○	◎					
	心理学	日本国憲法	1年後期	2	○	◎						
		人類学	文化人類学	1年後期	2	○				◎		
		医療人類学	2年前期	2					◎	○		
		心理学	心理学	1年前期	2		◎					
医療基盤教育	医療基盤科目	地域連携	地域連携イテ論	1年前期	2	○					◎	
		多職種連携	多職種連携入門	1年前期	2	○				◎		
			多職種連携論（看護学科）	3年前期	1		○			◎		
			多職種連携論（臨床福祉学科）	3年前期	1			○		◎		
			全学連携地域包括実践演習	4年前期	2	○	○	○		◎		



(令和3年度入学生適用)

## 看護福祉学部看護学科 カリキュラム・マップ

### <建学の理念>

知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成

### <本学の教育理念>

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間豊かな専門職業人を養成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

### <看護福祉学部看護学科の教育理念>

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う看護専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の健康の向上に貢献することを看護福祉学部看護学科の教育理念とする。

### <看護福祉学部看護学科のディプロマ・ポリシー (DP) >

本学看護福祉学部看護学科卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。  
 DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。  
 DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。  
 DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。  
 DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

領域	授業科目	開講年次	単位数		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			必修	選択					
I 人間 (人間存在のあり方)	看護学原論	1年前期	2		◎	○	○		
	人間発達論	1年前期	2		○	◎			
	看護福祉学入門	1年後期	2		○		◎	○	
	臨床心理学	1年後期	2		○	◎		○	
	看護倫理	3年前期	2		◎				○
	看護管理論	4年後期	2				○	◎	○
	コミュニケーション論	2年前期		2	◎			○	
II 環境 (看護・福祉を取りまく環境)	福祉と当事者のリアル I	1年前期		2				○	◎
	社会福祉概論	1年前期	2		○		○	◎	
	家族関係論	1年後期	2		◎		○		○
	公衆衛生学	2年前期	1			◎	○		
	疫学	2年後期	1			◎	○		
	保健統計	3年前期	1			◎	○		
III 健康 (健康と人間の相互作用)	保健医療福祉行政論 I	2年後期	1			◎	○	○	
	医学原論	1年前期	1		◎	○		○	
	人体構造機能学 I	1年前期	1			◎			
	人体構造機能学 II	1年前期	1			◎			
	人体構造機能学 III	1年後期	1			◎			
	人体構造機能学 IV	1年後期	1			◎			
	人体構造機能学演習	2年前期	1			◎		○	
	生化学	2年前期	1			◎			
	微生物学	1年後期	1			◎		○	
	薬理学	2年前期	1			◎			
	病理学 I	1年後期	1			◎		○	
	病理学 II	2年前期	1			◎			
	食物学	2年前期	1			◎		○	○
	成人病態論 I	2年前期	1			◎	○	○	
	成人病態論 II	2年後期	1			◎	○	○	
	成人病態論 III	3年前期	1			◎	○		
	小児病態論	2年後期	1			◎	○		
	母性病態論	2年後期	1			◎		○	
	精神病態論	2年後期	1			◎		○	
	老年病態論	2年後期	1			◎			
リハビリテーション法	2年後期	1			◎		○	○	
IV 実践 (ケア提供者と受け手との相互作用)	看護技術論	1年後期	1		○	◎	○		
	看護技術基礎演習	1年後期	1		○	◎			
	看護技術各論 I	2年前期	1		○	◎			
	看護技術各論 II	2年後期	1		○	◎			
	看護技術演習 I	2年前期	1			◎	○		
	看護技術演習 II	2年後期	1			◎	○		
	母性看護学	2年前期	2		○	◎	○		
	母性看護学演習	3年前期	1			◎	○		
	小児看護学	2年後期	2		○	◎			
	小児看護学演習	3年前期	1		○	◎	○		
	成人看護学	1年後期	2		○	◎		○	
	成人看護各論 I	2年前期	1			◎	○	○	
	成人看護各論 II	2年後期	1			◎	○	○	
	成人看護各論 III	3年前期	1		○	◎		○	
	成人看護学演習	3年前期	1			◎	○	○	
	がん看護学	3年前期	2			○	◎	○	
	老年看護学	2年前期	2		○	◎		○	

領域	授業科目	開講年次	単位数		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
			必修	選択						
IV 実践 (ケア提供者と受け手との相互作用)	老年看護学演習	3年前期	1			◎	○	○		
	精神看護学	2年後期	2		○	◎		○		
	精神看護学演習	3年前期	1			◎	○	○		
	在宅看護学	2年後期	2		◎			○		
	在宅看護学各論	2年後期	1			◎		○		
	在宅看護学演習	3年前期	1			◎	○			
	公衆衛生看護学概論	2年前期	2		○	○			◎	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	2年後期	1			◎	○			
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	3年前期		2		◎	○			
	公衆衛生看護活動展開論Ⅲ	3年前期		2	○	◎	○			
	公衆衛生看護管理論	4年後期		1		◎		○	○	
	クリティカルケア	3年前期		1		◎	○			
	皮膚・排泄ケア	4年前期		1	○	◎				
	感染管理	4年後期		1		◎	○			
	看護実践演習	3年前期		1	○	◎	○			
	基礎看護学実習	2年後期		3	○	◎	○	○		
	母性看護学実習	3年後期		2	○	◎	○	○		
	小児看護学実習	3年後期		2	○	◎	○	○		
	成人看護学実習Ⅰ	3年後期		4	○	◎	○	○		
	成人看護学実習Ⅱ	4年前期		4	○	○	○	◎		
	老年看護学実習	3年後期		4	○	◎	○	○		
	精神看護学実習	3後～4前		2	○	◎	○	○		
	在宅看護学実習	3後～4前		2	○	◎	○	○		
	卒業研究	4年通年		3	○	○	◎	○	○	
	保健師教育課程	公衆衛生看護活動展開論Ⅳ	4年前期		2		○		◎	
		公衆衛生看護活動展開論Ⅴ	4年後期		2		◎			○
健康教育論		4年後期		2			○	◎		
保健医療福祉行政論Ⅱ		4年後期		2			○	◎		
公衆衛生看護学実習		4年後期		5		◎	○			
自由選択科目	看護総合講義	4年後期		2		○	◎			
専門教育科目 合計 100 単位以上履修										
看護学科 合計 132 単位以上履修										

(令和3年度入学生適用)

## 看護福祉学部臨床福祉学科 カリキュラム・マップ

### <建学の理念>

知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成

### <本学の教育理念>

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を養成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

### <看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念>

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う福祉専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の福祉の向上に貢献することを看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念とする。

### <看護福祉学部臨床福祉学科のディプロマ・ポリシー（DP）>

本学看護福祉学部臨床福祉学科卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。  
 DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。  
 DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。  
 DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。  
 DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

領域	授業科目	開校年次	単位数		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
			必修	選択						
I 人間（人間存在のあり方）	社会福祉原論	2年通年	4		◎		○		○	
	看護福祉学入門	1年後期	2			◎				
	社会心理学	2年前期		2			◎			
	ソーシャルワーク入門	1年通年	2			◎				
	福祉哲学と倫理	4年前期		2	○	◎				
	介護コミュニケーション論	2年通年		4	◎			○		
	福祉と当事者のリアルⅠ	1年前期		2				○	◎	
	福祉と当事者のリアルⅡ	2年後期		1				○	◎	
	臨床福祉学導入演習	1年前期		1		◎			○	
	精神保健福祉の原理Ⅰ	2年後期		2			◎		○	
	精神保健福祉の原理Ⅱ	3年前期		2			◎		○	
	II 環境（看護・福祉を取りまく環境）	社会保障論	2年通年	4			◎			
		公的扶助論	2年前期	2			◎			
地域福祉論		2年通年	4			○		◎		
児童福祉論		2年後期	2			◎		○		
障害者福祉論		2年後期	2			◎				
家族福祉論		3年前期	2			◎				
高齢者福祉論		2年前期	2			◎		○		
認知症と生活支援		2年後期	2	○	◎			○		
保健医療福祉論		3年前期	2			◎		○		
医療ソーシャルワーク実践論		4年前期	2			◎		○		
スクールソーシャルワーク論		3年前期	2	○	◎			○		
精神保健福祉制度論		3年後期	2	○	◎	○				
民法		3年前期	2			◎				
行政法		4年前期	2			◎				
III 健康（健康と人間の相互作用）	医学一般	2年前期	2					○		
	医学原論	1年前期		1	◎	○		○		
	精神医学	2年通年		4	○	◎	○			
	精神保健学Ⅰ	2年前期		2		◎		○		
	精神保健学Ⅱ	2年後期		2		◎		○	○	
	薬理学	2年後期		2		◎				
	リハビリテーション論	3年前期		2		◎		○		
	アダプテッド・スポーツ演習	2年前期		1			◎		○	
	コーチング論	2年後期		2				○	◎	
	障害基礎医学	2年後期		2		◎				
	心身機能構造論	3年前期		2	○	◎		○		
	認知症ケア論	2年前期		2	○	◎		○		

領域	授業科目	開校年次	単位数		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
			必修	選択					
IV 実践 (ケア提供者と受け手との相互作用)	ソーシャルワーク論	1年通年		4	○	◎			○
	ソーシャルワーク方法論 I	2年前期		2	○	◎	○		
	ソーシャルワーク方法論 II	2年後期		2	○	◎	○		
	ソーシャルワーク方法論 III	3年前期		2	○	◎		○	
	ソーシャルワーク方法論 IV	3年後期		2	○	◎		○	
	精神障害リハビリテーション論	2年前期		2		◎	○	○	
	社会福祉調査法	3年前期		2	○	◎	○		
	マーケティング論	3年前期		2				◎	○
	マネジメント論	3年後期		2				◎	○
	レクリエーションスポーツマネジメント	4年前期		2				○	◎
	社会福祉運営管理論	3年前期		2			○	◎	○
	介護管理論	4年前期		2	○	○	○	◎	
	権利擁護・成年後見制度論	4年前期	2		○	◎	○		
	司法福祉論	4年前期		2	○	◎	○		
	ソーシャルワーク演習 I	1年後期	1			◎	○		
	ソーシャルワーク演習 II	2年前期	1			◎	○		
	ソーシャルワーク演習 III	2年後期	1			◎	○		
	ソーシャルワーク演習 IV	3年通年	2			◎	○		
	ソーシャルワーク実習指導 I	2年後期	1			◎	○		
	ソーシャルワーク実習 I	2年後期	1.5			◎	○		
	ソーシャルワーク実習指導 II	3年通年	2			◎	○		
	ソーシャルワーク実習 II	3年後期	4			◎	○		
	介護概論 I	1年通年	4	○	◎			○	
	介護概論 II	2年通年	4	○	◎			○	
	介護概論 III	3年通年	4	○	◎			○	
	生活支援技術論 I	1年通年	4	○	◎	○	○		
	生活支援技術論 II	2年前期	4	○	◎	○	○		
	生活支援技術論 III	2年後期	4	○	◎	○	○		
	生活支援技術論 IV	3年前期	2	○	◎	○	○		
	生活支援技術論 V	3年前期	4	○	◎	○	○		
	生活支援技術論 VI	4年前期	2	○	◎	○	○		
	医療的ケア	3年通年	7	○	◎			○	
	実地研修 I	4年通年	0.5	○	◎			○	
	実地研修 II	4年通年	0.5	○	◎			○	
	実地研修 III	4年通年	0.5	○	◎			○	
	実地研修 IV	4年通年	0.5	○	◎			○	
	実地研修 V	4年通年	0.5	○	◎			○	
	介護過程論 I	1年後期	2	○	◎	○			
	介護過程論 II	2年通年	4	○	◎	○			
	介護過程論 III	3年通年	4	○	◎	○			
	介護総合演習 I	1年通年	1	○	◎	○	○		
	介護総合演習 II	2年後期	1	○	◎	○	○		
	介護総合演習 III	3年通年	1	○	◎	○	○		
	介護総合演習 IV	4年前期	1	○	◎	○	○		
	介護実習 I	1年前期	1	○	◎	○	○		
	介護実習 II	2年後期	3	○	◎	○	○		
	介護実習 III	3年通年	4	○	◎	○	○		
	介護実習 IV	4年前期	2	○	◎	○	○		
	精神保健福祉の理論と方法 I	3年前期	2	○	◎			○	
	精神保健福祉の理論と方法 II	3年後期	2	○	◎			○	
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習 I	3年通年	1.5	○	◎	○	○	○	○
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習 II	4年前期	1.5	○	◎	○	○	○	○
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習	3後～4前	5	○	◎	○	○	○	○
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導 I	3年後期	1	○	◎	○	○	○	○
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導 II	4年前期	1	○	◎	○	○	○	○
	ソーシャルワーク応用実習	4年前期	4	○	◎	○	○	○	○
	ソーシャルワーク応用実習指導	4年前期	1	○	◎	○	○	○	○
	地域共生社会演習 I	3年通年	2			○	○	◎	
	地域共生社会演習 II	4年前期	1			○	○	◎	
	プロジェクト演習 I	3年後期	1				◎	○	○
プロジェクト演習 II	4年通年	2				◎	○	○	
プロジェクト研究	4年通年	4		○	○	◎	○	○	
社会福祉研究法	3年後期	1			◎	○			
臨床福祉総合講義	4年通年	4			◎	○			
現代社会論	4年後期	2			◎	○		○	
スクール (学校) ソーシャルワーク演習	3年通年	1	○	◎	○	○	○	○	
スクール (学校) ソーシャルワーク実習指導	4年通年	2	○	◎	○	○	○	○	
スクール (学校) ソーシャルワーク実習	4年通年	2	○	◎	○	○	○	○	
卒業認定単位 全学教育科目 3 3 単位以上+専門教育科目 9 8 単位以上=合計 1 3 1 単位以上									

(令和3年度入学生適用)

## 看護福祉学部<全学教育科目>カリキュラム・ツリー

### <建学の理念>

知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成

### <本学の教育理念>

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を養成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

### <看護福祉学部看護学科の教育理念>

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う看護専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の健康の向上に貢献することを看護福祉学部看護学科の教育理念とする。

### <看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念>

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う福祉専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の福祉の向上に貢献することを看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念とする。

### <看護福祉学部看護学科のディプロマ・ポリシー (DP)>

本学看護福祉学部看護学科卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1: 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
- DP2: 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
- DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
- DP4: 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
- DP5: 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

### <看護福祉学部臨床福祉学科のディプロマ・ポリシー (DP)>

本学看護福祉学部臨床福祉学科卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1: 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
- DP2: 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
- DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
- DP4: 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
- DP5: 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

1年次	2年次	3年次	4年次	
人間と思想(生命倫理学入門) [4]				DP1
基礎ゼミナール(アカデミック・リテラシー入門)				DP2
情報科学(情報科学) [3] 情報処理演習(情報処理演習) [3] 物理学(基礎物理学) 化学(基礎化学) [3] 生物学(基礎生物学) [1] 法学(法学概論) [1] 法学(日本国憲法) [1] 心理学(心理学)				
人間と社会(言語社会学入門) [4] 統計学(基礎統計学) [2] 社会学(社会学) [4] 経済学(経済学) [1]	経済学(医療福祉経済学) [5] 人類学(医療人類学) [5]			DP3
健康・運動科学(運動科学論) [1][2] 健康・運動科学演習(運動科学演習) [1][2] 多職種連携(多職種連携入門) [1]		多職種連携(多職種連携論) [2]	多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習) [1][2][3]	DP4
人間と思想(科学の哲学) 人間と文化(国際文化比較論) [1] 人間と文化(日本の小説) [1][4] 人間と社会(国際社会福祉論) 英語II(英語A) [4] 英語II(英語B) [4] 初修外国語(初級フランス語) [4] 初修外国語(中級フランス語) [4] 初修外国語(初級ドイツ語) [4] 初修外国語(中級ドイツ語) [4] 初修外国語(初級中国語) [4] 初修外国語(中級中国語) [4] 初修外国語(初級韓国語) [4] 初修外国語(中級韓国語) [4] 人類学(文化人類学) [1] 地域連携(地域ボランティア論) [1]	英語I(英語コミュニケーションA) [4] 英語I(英語コミュニケーションB) [4] 英語II(英語C) [4] 英語II(英語D) [4]			DP5

### <ツリー表記について>

学生が科目修了時に達成できるDP1～DP5のうち、最も当てはまるDPの箇所に科目を記載し、次に当てはまるDPについてその番号(①～⑤)を科目名の後ろに[ ]で表記している。各授業科目の配色は次の分類を示している。

教養教育

基礎教育

医療基盤教育

(令和3年度入学生適用)

## 看護福祉学部看護学科 カリキュラム・ツリー

### <建学の理念>

知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成

### <本学の教育理念>

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を養成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

### <看護福祉学部看護学科の教育理念>

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う看護専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の健康の向上に貢献することを看護福祉学部看護学科の教育理念とする。

### <看護福祉学部看護学科のディプロマ・ポリシー (DP) >

本学看護福祉学部看護学科卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
- DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
- DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
- DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
- DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

1年次	2年次	3年次	4年次	
看護学原論〔2③〕 家族関係論〔3⑤〕 医学原論〔2④〕	コミュニケーション論〔4〕 在宅看護学〔4〕	看護倫理〔5〕		DP1
人間発達論〔1〕 臨床心理学〔1④〕 人体構造機能学Ⅰ 人体構造機能学Ⅱ 人体構造機能学Ⅲ 人体構造機能学Ⅳ 微生物学〔4〕 病理学Ⅰ〔4〕 看護技術論〔1③〕 看護技術基礎演習〔1〕 成人看護学〔1④〕	公衆衛生学〔3〕 疫学〔3〕 保健医療福祉行政論Ⅰ〔3④〕 人体構造機能学演習〔4〕 生化学 薬理学 病理学Ⅱ 食物学〔4⑤〕 成人病態論Ⅰ〔3④〕 成人病態論Ⅱ〔3④〕 小児病態論〔3〕 母性病態論〔4〕 精神病態論〔4〕 老年病態論 リハビリテーション法〔4⑤〕 看護技術各論Ⅰ〔1〕 看護技術各論Ⅱ〔1〕 看護技術演習Ⅰ〔3〕 看護技術演習Ⅱ〔3〕 母性看護学〔1③〕 小児看護学〔1〕 成人看護各論Ⅰ〔3④〕 成人看護各論Ⅱ〔3④〕 老年看護学〔1④〕 精神看護学〔1④〕 在宅看護学各論〔4〕 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ〔3〕 基礎看護学実習〔1③④〕	保健統計〔3〕 成人病態論Ⅲ〔3〕 母性看護学演習〔3〕 小児看護学演習〔1③〕 成人看護各論Ⅲ〔1④〕 成人看護学演習〔3④〕 老年看護学演習〔3④〕 精神看護学演習〔3④〕 在宅看護学演習〔3〕 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ〔3〕 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ〔1③〕 クリティカルケア〔3〕 看護実践演習〔1③〕 母性看護学実習〔1③④〕 小児看護学実習〔1③④〕 成人看護学実習Ⅰ〔1③④〕 老年看護学実習〔1③④〕	公衆衛生看護管理論〔4⑤〕 皮膚・排泄ケア〔1〕 感染管理〔3〕 公衆衛生看護活動展開論Ⅴ〔5〕 公衆衛生看護学実習〔3〕	DP2
看護福祉学入門〔1④〕		がん看護学〔2④〕	卒業研究〔1②④⑤〕 看護総合講義〔2〕	DP3
社会福祉概論〔1③〕			看護管理論〔3⑤〕 成人看護学実習Ⅱ〔1②③〕 公衆衛生看護活動展開論Ⅳ〔2〕 健康教育論〔3〕 保健医療福祉行政論Ⅱ〔3〕	DP4
福祉と当事者のリアルⅠ〔4〕	公衆衛生看護学概論〔1②〕		精神看護学実習〔1③④〕 在宅看護学実習〔1③④〕	DP5

### <ツリー表記について>

学生が科目修了時に達成できるDP1～DP5のうち、最も当てはまるDPの箇所に科目を記載し、次に当てはまるDPIについてその番号(①～⑤)を科目名の後ろに〔〕で表記している。各授業科目の配色は次の分類を示している。

- 領域Ⅰ
- 領域Ⅱ
- 領域Ⅲ
- 領域Ⅳ
- 保健師教育課程
- 自由選択

(令和3年度入学生適用)

## 看護福祉学部臨床福祉学科 カリキュラム・ツリー

### <建学の理念>

知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成

### <本学の教育理念>

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を養成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

### <看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念>

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う福祉専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の福祉の向上に貢献することを看護福祉学部臨床福祉学科の教育理念とする。

### <看護福祉学部臨床福祉学科のディプロマ・ポリシー (DP)>

本学看護福祉学部臨床福祉学科卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1: 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
- DP2: 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
- DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
- DP4: 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
- DP5: 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

1年次	2年次	3年次	4年次	
医学原論〔2,4〕	社会福祉原論〔3,5〕 介護コミュニケーション論〔4〕			DP1
看護福祉学入門 ソーシャルワーク入門	社会保障論 公的扶助論 児童福祉論〔4〕 障害者福祉論 高齢者福祉論〔4〕 認知症と生活支援〔1,4〕 医学一般〔4〕 精神医学〔1,3〕 精神保健学Ⅰ〔4〕 精神保健学Ⅱ〔4,5〕 薬理学 障害基礎医学 認知症ケア論〔1,4〕 ソーシャルワーク方法論Ⅰ〔1,3〕 ソーシャルワーク方法論Ⅱ〔1,3〕 精神障害リハビリテーション論〔3,4〕 ソーシャルワーク演習Ⅱ〔3〕 ソーシャルワーク演習Ⅲ〔3〕 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ〔3〕 ソーシャルワーク実習Ⅰ〔3〕 介護概論Ⅱ〔1,4〕 生活支援技術論Ⅱ〔1,3,4〕 生活支援技術論Ⅲ〔1,3,4〕 介護過程論Ⅱ〔1,3〕 介護総合演習Ⅱ〔1,3,4〕 介護実習Ⅱ〔1,3,4〕	家族福祉論 保健医療福祉論〔4〕 スクールソーシャルワーク〔1,4〕 精神保健福祉制度論〔1,3〕 民法 リハビリテーション論〔4〕 心身機能構造論〔1,4〕 ソーシャルワーク方法論Ⅲ〔1,4〕 ソーシャルワーク方法論Ⅳ〔1,4〕 社会福祉調査法〔1,3〕 ソーシャルワーク演習Ⅲ〔3〕 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ〔3〕 ソーシャルワーク実習Ⅱ〔3〕 介護概論Ⅲ〔1,4〕 生活支援技術論Ⅳ〔1,3,4〕 生活支援技術論Ⅴ〔1,3,4〕 医療的ケア〔1,4〕 介護過程論Ⅲ〔1,3〕 介護総合演習Ⅲ〔1,3,4〕 介護実習Ⅲ〔1,3,4〕 精神保健福祉の理論と方法Ⅰ〔1,4〕 精神保健福祉の理論と方法Ⅱ〔1,4〕 精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ〔1,3,4,5〕 精神保健福祉ソーシャルワーク実習〔1,3,4,5〕 精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅰ〔1,3,4,5〕 社会福祉研究法〔3〕	福祉哲学と倫理〔1〕 行政法 医療ソーシャルワーク実践論〔4〕 権利擁護・成年後見制度論〔1,3〕 司法福祉論〔1,3〕 生活支援技術論Ⅵ〔1,3,4〕 実地研修Ⅰ〔1,4〕 実地研修Ⅱ〔1,4〕 実地研修Ⅲ〔1,4〕 実地研修Ⅳ〔1,4〕 実地研修Ⅴ〔1,4〕 介護総合演習Ⅳ〔1,3,4〕 介護実習Ⅳ〔1,3,4〕 精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ〔1,3,4,5〕 精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅱ〔1,3,4,5〕 ソーシャルワーク応用実習〔1,3,4,5〕 ソーシャルワーク応用実習指導〔1,3,4,5〕 臨床福祉総合講義〔3〕 現代社会論〔3,5〕 スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導〔1,3,4,5〕 スクール(学校)ソーシャルワーク実習〔1,3,4,5〕	DP2
臨床福祉学導入演習〔5〕 ソーシャルワーク論〔1,5〕 ソーシャルワーク演習Ⅰ〔3〕 介護概論Ⅰ〔1,4〕 生活支援技術論Ⅰ〔1,3,4〕 介護過程論Ⅰ〔1,3〕 介護総合演習Ⅰ〔1,3,4〕 介護実習Ⅰ〔1,3,4〕	社会心理学 精神保健福祉の原理Ⅰ〔5〕 アダプテッド・スポーツ演習〔5〕 地域福祉論〔2〕	精神保健福祉の原理Ⅱ〔5〕 プロジェクト演習Ⅰ〔4,5〕	福祉と当事者のリアルⅠ〔4〕	DP3
		精神保健福祉の理論と方法Ⅲ〔1,4〕 介護総合演習Ⅳ〔1,3,4〕 介護実習Ⅳ〔1,3,4〕 精神保健福祉の理論と方法Ⅳ〔1,4〕 プロジェクト演習Ⅱ〔4,5〕 プロジェクト研究〔1,2,4,5〕	福祉と当事者のリアルⅡ〔4〕 コーティング論〔4〕	DP4
		社会福祉運営管理論〔3,5〕 マーケティング論〔5〕 マネジメント論〔5〕 地域共生社会演習Ⅰ〔3〕	地域共生社会演習Ⅱ〔3〕 介護管理論〔1,2,3〕 レクリエーションスポーツマネジメント〔4〕	DP5

### <ツリー表記について>

学生が科目修了時に達成できるDP1～DP5のうち、最も当てはまるDPの箇所に科目を記載し、次に当てはまるDPについてその番号〔①～⑤〕を科目名の後ろに〔 〕で表記している。各授業科目の配色は次の分類を示している。

- 領域Ⅰ
- 領域Ⅱ
- 領域Ⅲ
- 領域Ⅳ
- スクールソーシャルワーク教育課程

# 開 講 科 目 (カリキュラム)

## 【全学教育科目】 (令和3年度臨床福祉学科第1学年適用)

種類	科目区分	授業科目	授業題目	開講年次・時間数								備 考				
				単位数		1年		2年		3年			4年			
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期		
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	アカデミック・リテラー入門	2		30									2単位以上修得	
	教養科目	人間と思想	科学の哲学	2		30									3授業科目6単位以上修得 ※「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」から1授業科目ずつ修得すること	
			生命倫理学入門	2		30										
		人間と文化	国際文化比較論	2		30										
			日本の小説	2		30										
		人間と社会	国際社会福祉論	2		30										
言語社会学入門	2		30													
基礎教育	外国語科目	英語 I	英語コミュニケーションA	1				30						必修科目を含め6単位以上修得		
			英語コミュニケーションB	1				30								
		英語 II	英語 A	1		30										
			英語 B	1		30										
			英語 C	1				30								
			英語 D	1					30							
		初修外国語	初級フランス語	1		30										
			中級フランス語	1			30									
			初級ドイツ語	1		30										
			中級ドイツ語	1			30									
	初級中国語		1		30											
	中級中国語		1			30										
	健康・運動科学科目	健康・運動科学	健康・運動科学論	2		30									臨床福祉学科は必修科目を含め6単位以上修得	
		健康・運動科学演習	運動科学演習	1		30										
	情報科学科目	情報科学	情報科学	2		30									臨床福祉学科は10単位以上修得	
		情報処理演習	情報処理演習	1		30										
		統計学	基礎統計学	2		30										
	自然科学科目	物理学	基礎物理学	2		30									臨床福祉学科は10単位以上修得	
		化学	基礎化学	2		30										
		生物学	基礎生物学	2		30										
	人文社会科目	社会学	社会学	2		30									臨床福祉学科は10単位以上修得	
		経済学	経済学	2		30										
			医療福祉経済学	2			30									
法学		法学概論	2		30											
		日本国憲法	2			30										
人類学		文化人類学	2		30											
		医療人類学	2			30										
心理学	心理学	2		30												
医療基盤教育	医療基盤科目	地域連携	地域ボランティア論	2		30										
		多職種連携	多職種連携入門	2		30										
			多職種連携論	1						30						
			全学連携地域包括ケア実践演習	2								30				

全学教育科目 合計33単位以上修得(うち必修9単位)



【全学教育科目】（令和3年度看護学科第1・2学年、臨床福祉学科第2学年適用）

種類	科目区分	授業科目	授業題目	開講年次・時間数										備 考		
				単位数		1年		2年		3年		4年				
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	アカデミック・リテラー入門	2		30									2単位以上修得	
	教養科目	人間と思想	科学の哲学	2		30									3授業科目6単位以上修得 ※「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」から1授業科目ずつ修得すること	
			生命倫理学入門	2		30										
		人間と文化	国際文化比較論	2		30										
			日本の小説	2		30										
		人間と社会	国際社会福祉論	2		30										
言語社会学入門	2			30												
基礎教育	外国語科目	英語 I	英語コミュニケーションA	1				30						必修科目を含め6単位以上修得		
			英語コミュニケーションB	1				30								
		英語 II	英語 A	1		30										
			英語 B	1		30										
			英語 C	1				30								
			英語 D	1					30							
		初修外国語	初級フランス語	1	30											
			中級フランス語	1		30										
			初級ドイツ語	1	30											
			中級ドイツ語	1		30										
	初級中国語		1	30												
	中級中国語		1		30											
	初級韓国語		1	30												
	中級韓国語		1		30											
	健康・運動科学科目	健康・運動科学	健康・運動科学論	2	30											看護学科は必修科目を含め8単位以上修得
		健康・運動科学演習	運動科学演習	1		30										
	情報科学科目	情報科学	情報科学	2		30										臨床福祉学科は必修科目を含め6単位以上修得
		情報処理演習	情報処理演習	1		30										
		統計学	基礎統計学	2		30										
	自然科学科目	物理学	基礎物理学	2	30											
		化学	基礎化学	2		30										
		生物学	基礎生物学	2	30											
	人文社会科目	社会学	社会学	2	30											看護学科は8単位以上修得 臨床福祉学科は10単位以上修得
		経済学	経済学	2	30											
医療福祉経済学			2			30										
法学		法学概論	2	30												
		日本国憲法	2		30											
人類学		文化人類学	2		30											
		医療人類学	2			30										
心理学	心理学	2	30													
医療基盤教育	医療基盤科目	地域連携	地域ボランティア論	2	30											
		多職種連携	多職種連携入門	2		30										
			多職種連携論	1					30							
			全学連携地域包括ケア実践演習	2								30				

全学教育科目 合計32単位以上修得（うち必修、看護学科8単位、臨床福祉学科8単位）

【全学教育科目】（令和3年度第3学年適用）

種類	科目区分	授業科目	授業題目	開講年次・時間数								備 考				
				単位数		1年		2年		3年			4年			
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期		
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	基礎ゼミナール	2	30									2単位以上修得		
		文章指導	日本語の表現	2	30											
	教養科目	人間と思想	科学の哲学	2	30										3授業科目6単位以上修得 ※「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」から1授業科目ずつ修得すること	
			生命倫理学入門	2	30											
		人間と文化	国際文化比較論	2	30											
			医療社会史	2	30											
			日本の小説	2	30											
		人間と社会	国際社会福祉論	2	30											
	言語社会学入門		2	30												
	基礎教育	外国語科目	英語 I	英語コミュニケーションA	1			30							必修科目を含め6単位以上修得	
英語コミュニケーションB				1			30									
英語 II			英語 A	1	30											
			英語 B	1	30											
			英語 C	1	30											
			英語 D	1	30											
			初修外国語	初級フランス語	1	30										
			中級フランス語	1	30											
			初級ドイツ語	1	30											
			中級ドイツ語	1	30											
		初級中国語	1	30												
		中級中国語	1	30												
		初級韓国語	1	30												
		中級韓国語	1	30												
健康・運動科学科目		健康・運動科学	運動科学論	2	30											看護学科は必修科目を含め8単位以上修得
		健康・運動科学演習	運動科学演習	1	30											
		情報科学科目	情報科学	情報科学	2	30										
情報処理演習			情報処理演習	1	30											
統計学			基礎統計学	2	30											
自然科学科目		物理学	基礎物理学	2	30											
		化学	基礎化学	2	30											
		生物学	基礎生物学	2	30											
人文社会科目	社会学	社会学	2	30										看護学科は8単位以上修得 臨床福祉学科は10単位以上修得		
	経済学	経済学	2	30												
		医療福祉経済学	2	30												
	法学	法学概論	2	30												
		日本国憲法	2	30												
	人類学	文化人類学	2	30												
		医療人類学	2	30												
心理学	心理学	2	30													
医療基盤教育	医療基盤科目	地域連携	地域ボランティア論	2	30											
		多職種連携	多職種連携入門	2	30											
			多職種連携論	1					30							
			全学連携地域包括ケア実践演習	2								30				

全学教育科目 合計32単位以上修得(うち必修、看護学科8単位、臨床福祉学科8単位)

【全学教育科目】（令和3年度第4学年適用）

種類	科目区分	授業科目	授業題目	開講年次・時間数								備 考					
				単位数		1年		2年		3年			4年				
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期			
教養教育	導入科目	基礎ゼミナール	基礎ゼミナール		2	30									2単位以上修得		
		文章指導	日本語の表現		2	30											
	教養科目	人間と思想	科学の哲学		2	30										3授業科目6単位以上修得 ※「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」から1授業科目ずつ修得すること	
			生命倫理学入門		2	30											
		人間と文化	国際文化比較論		2	30											
			医療社会史		2	30											
			日本の小説		2	30											
		人間と社会	国際社会福祉論		2	30											
言語社会学入門			2	30													
基礎教育	外国語科目	英語Ⅰ	オーラル・イングリッシュA	1				30							必修科目を含め6単位以上修得		
			オーラル・イングリッシュB		1				30								
		英語Ⅱ	英語A	1		30											
			英語B	1		30											
			英語C		1		30										
			英語D		1		30										
		フランス語	初級フランス語		1	30											
			中級フランス語		1	30											
		ドイツ語	初級ドイツ語		1	30											
			中級ドイツ語		1	30											
		中国語	初級中国語		1	30											
			中級中国語		1	30											
	韓国語	初級韓国語		1	30												
		中級韓国語		1	30												
	健康・運動科学科目	健康・運動科学	運動科学論		2	30											看護学科は必修科目を含め8単位以上修得
		健康・運動科学演習	運動科学演習		1	30											
	情報科学科目	情報科学	情報科学		2	30											臨床福祉学科は必修科目を含め6単位以上修得
		情報処理演習	情報処理演習	1		30											
		統計学	基礎統計学	2		30											
	自然科学科目	物理学	基礎物理学		2	30											
		化学	基礎化学		2	30											
		生物学	基礎生物学		2	30											
	人文社会科目	社会学	社会学		2	30											看護学科は8単位以上修得 臨床福祉学科は10単位以上修得
		経済学	経済学		2	30											
			医療経済学		2		30										
		法学	法学概論		2	30											
			日本国憲法		2	30											
		人類学	文化人類学		2	30											
医療人類学				2		30											
心理学	心理学		2	30													
医療基盤教育	医療基盤科目	個体差健康科学	個体差健康科学・多職種連携入門	2		30											
		地域連携	地域ボランティア論		2	30											
			メディカルカフェをつくる		2	30											
		多職種連携	多職種連携論		1					30							
			全学連携地域包括ケア実践演習		2								30				

全学教育科目 合計32単位以上修得（うち必修、看護学科8単位、臨床福祉学科8単位）

【看護学科 専門教育科目】（令和3年度第1・2学年適用）

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考	
				1年		2年		3年		4年			計
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
I	看護学原論	2		30								30	必修科目12単位以上修得
	人間発達論	2		30								30	
	看護福祉学入門	2			30							30	
	臨床心理学	2			30							30	
	看護倫理	2						30				30	
	看護管理論	2								30		30	
	コミュニケーション論		2			30						30	
	福祉と当事者のリアル I		2	30								30	
II	社会福祉概論	2		30								30	必修科目8単位以上修得
	家族関係論	2			30							30	
	公衆衛生学	1				30						30	
	疫学	1					30					30	
	保健統計	1						30				30	
	保健医療福祉行政論 I	1					15					15	
III	医学原論	1		30								30	必修科目20単位以上修得
	人体構造機能学 I	1		30								30	
	人体構造機能学 II	1		30								30	
	人体構造機能学 III	1			30							30	
	人体構造機能学 IV	1			30							30	
	人体構造機能学演習	1				30						30	
	生化学	1				30						30	
	微生物学	1			30							30	
	薬理学	1				30						30	
	病理学 I	1			30							30	
	病理学 II	1				30						30	
	食物学	1				30						30	
	成人病態論 I	1				30						30	
	成人病態論 II	1					30					30	
	成人病態論 III	1						30				30	
	小児病態論	1					30					30	
	母性病態論	1					30					30	
	精神病態論	1					30					30	
	老年病態論	1					30					30	
	リハビリテーション法	1					30					30	
IV	看護技術論	1			30							30	必修科目60単位以上修得
	看護技術基礎演習	1			30							30	
	看護技術各論 I	1				30						30	
	看護技術各論 II	1					30					30	
	看護技術演習 I	1				30						30	
	看護技術演習 II	1					30					30	
	母性看護学	2				30						30	
	母性看護学演習	1						30				30	

【看護学科 専門教育科目】（令和3年度第1・2学年適用）

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考		
				1年		2年		3年		4年			計	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
IV	小児看護学	2					30						30	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ・Ⅲ、公衆衛生看護管理論は、保健師養成コース必修
	小児看護学演習	1						30					30	
	成人看護学	2			30								30	
	成人看護各論Ⅰ	1				30							30	
	成人看護各論Ⅱ	1					30						30	
	成人看護各論Ⅲ	1						30					30	
	成人看護学演習	1							30				30	
	がん看護学	2							30				30	
	老年看護学	2				30							30	
	老年看護学演習	1								30			30	
	精神看護学	2					30						30	
	精神看護学演習	1									30		30	
	在宅看護学	2						30					30	
	在宅看護学各論	1							30				30	
	在宅看護学演習	1								30			30	
	公衆衛生看護学概論	2					30						30	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	1						15					15	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ		2								30		30	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅲ		2									30	30	
	公衆衛生看護管理論		1									15	15	
	クリティカルケア		1							15			15	
	皮膚・排泄ケア		1								15		15	
	感染管理		1									15	15	
	看護実践演習	1									30		30	
	基礎看護学実習	3						135					135	
	母性看護学実習	2								90			90	
小児看護学実習	2									90		90		
成人看護学実習Ⅰ	4									180		180		
成人看護学実習Ⅱ	4										180	180		
老年看護学実習	4									180		180		
精神看護学実習	2									90		90		
在宅看護学実習	2									90		90		
卒業研究	3										90	90		
保健師教育課程	公衆衛生看護活動展開論Ⅳ		2								60		60	保健師養成コースは13単位すべて必修
	公衆衛生看護活動展開論Ⅴ		2									60	60	
	健康教育論		2									60	60	
	保健医療福祉行政論Ⅱ		2									30	30	
	公衆衛生看護学実習		5									225	225	
自由選択科目	看護総合講義		2									30	30	自由選択科目※卒業単位に含まない
専門教育科目 合計100単位以上修得														
看護学科 合計132単位以上修得														

【看護学科 専門教育科目】（令和3年度第3・4学年適用）

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考	
				1年		2年		3年		4年			計
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
I	看護学原論	2		30								30	必修科目12単位以上修得
	人間発達論	2		30								30	
	看護福祉学入門	2			30							30	
	臨床心理学	2			30							30	
	看護倫理	2						30				30	
	看護管理論	2								30		30	
	コミュニケーション論		2			30						30	
II	社会福祉概論	2		30								30	必修科目8単位以上修得
	家族関係論	2			30							30	
	公衆衛生学	1				30						30	
	疫学	1					30					30	
	保健統計	1						30				30	
	保健医療福祉行政論 I	1					15					15	
III	医学原論	1		30								30	必修科目20単位以上修得
	人体構造機能学 I	1		30								30	
	人体構造機能学 II	1		30								30	
	人体構造機能学 III	1			30							30	
	人体構造機能学 IV	1			30							30	
	人体構造機能学演習	1				30						30	
	生化学	1			30							30	
	微生物学	1			30							30	
	薬理学	1				30						30	
	病理学 I	1			30							30	
	病理学 II	1				30						30	
	食物学	1				30						30	
	成人病態論 I	1				30						30	
	成人病態論 II	1					30					30	
	成人病態論 III	1						30				30	
	小児病態論	1					30					30	
	母性病態論	1					30					30	
	精神病態論	1					30					30	
	老年病態論	1					30					30	
	リハビリテーション法	1					30					30	
IV	看護技術論	1			30							30	必修科目60単位以上修得
	看護技術基礎演習	1			30							30	
	看護技術各論 I	1				30						30	
	看護技術各論 II	1					30					30	
	看護技術演習 I	1				30						30	
	看護技術演習 II	1					30					30	
	母性看護学	2				30						30	
	母性看護学演習	1						30				30	
	小児看護学	2					30					30	
	小児看護学演習	1						30				30	

【看護学科 専門教育科目】（令和3年度第3・4学年適用）

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考		
				1年		2年		3年		4年			計	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
IV	成人看護学	2			30								30	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ・Ⅲ、公衆衛生看護管理論は、保健師養成コース必修
	成人看護各論Ⅰ	1				30							30	
	成人看護各論Ⅱ	1					30						30	
	成人看護各論Ⅲ	1						30					30	
	成人看護学演習	1						30					30	
	がん看護学	2						30					30	
	老年看護学	2				30							30	
	老年看護学演習	1						30					30	
	精神看護学	2					30						30	
	精神看護学演習	1						30					30	
	在宅看護学	2					30						30	
	在宅看護学各論	1					30						30	
	在宅看護学演習	1							30				30	
	公衆衛生看護学概論	2				30							30	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	1					15						15	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ		2						30				30	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅲ		2						30				30	
	公衆衛生看護管理論		1									15	15	
	クリティカルケア		1						15				15	
	皮膚・排泄ケア		1								15		15	
	感染管理		1									15	15	
	看護実践演習	1							30				30	
	基礎看護学実習	3						135					135	
	母性看護学実習	2								90			90	
	小児看護学実習	2								90			90	
	成人看護学実習Ⅰ	4								180			180	
	成人看護学実習Ⅱ	4									180		180	
	老年看護学実習	4								180			180	
精神看護学実習	2								90			90		
在宅看護学実習	2								90			90		
卒業研究	3									90		90		
保健師教育課程	公衆衛生看護活動展開論Ⅳ		2							60		60	保健師養成コースは13単位すべて必修	
	公衆衛生看護活動展開論Ⅴ		2								60	60		
	健康教育論		2								60	60		
	保健医療福祉行政論Ⅱ		2								30	30		
	公衆衛生看護学実習		5								225	225		
自由選択科目	看護総合講義		2								30	30	自由選択科目※卒業単位に含まない	
専門教育科目 合計100単位以上修得														
看護学科 合計132単位以上修得														

【臨床福祉学科 専門教育科目】（令和3年度第1学年適用）

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考			
				1年		2年		3年		4年			計		
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
I	社会福祉原論	4				30	30							60	
	看護福祉学入門	2			30									30	
	社会心理学		2			30								30	
	ソーシャルワーク入門	2			30									30	
	福祉哲学と倫理		2									30		30	
	介護コミュニケーション論	4				30	30							60	
	福祉と当事者のリアルⅠ	2		30										30	
	福祉と当事者のリアルⅡ		1					15						15	
	臨床福祉学導入演習	1		30										30	
	精神保健福祉の原理Ⅰ		2					30						30	
	精神保健福祉の原理Ⅱ		2						30					30	
II	社会保障論	4				30	30							60	
	公的扶助論	2				30								30	
	地域福祉論	4				30	30							60	
	児童福祉論		2				30							30	
	障害者福祉論		2				30							30	
	家族福祉論		2						30					30	
	高齢者福祉論		2			30								30	
	認知症と生活支援		2				30							30	
	保健医療福祉論		2						30					30	
	医療ソーシャルワーク実践論		2							30				30	
	スクールソーシャルワーク論		2							30				30	
	精神保健福祉制度論		2								30			30	
	民法		2								30			30	
	行政法		2									30		30	
III	医学一般	2				30								30	
	医学原論		1	30										30	
	精神医学	4				30	30							60	
	精神保健学Ⅰ	2				30								30	
	精神保健学Ⅱ	2					30							30	
	薬理学	2					30							30	
	リハビリテーション論	2							30					30	
	アダプテッド・スポーツ演習	1				30								30	
	コーチング論	2						30						30	
	障害基礎医学	2						30						30	
	心身機能構造論	2							30					30	
認知症ケア論	2				30								30		
IV	ソーシャルワーク論	4		30	30									60	
	ソーシャルワーク方法論Ⅰ	2				30								30	
	ソーシャルワーク方法論Ⅱ	2					30							30	
	ソーシャルワーク方法論Ⅲ	2						30						30	
	ソーシャルワーク方法論Ⅳ	2							30					30	
	精神障害リハビリテーション論	2				30								30	
	社会福祉調査法	2							30					30	
	マーケティング論	2							30					30	
	マネジメント論	2								30				30	
	レクリエーションスポーツマネジメント	2									30			30	
	社会福祉運営管理論	2								30				30	
	介護管理論	2									30			30	
	権利擁護・成年後見制度論	2									30			30	
	司法福祉論	2									30			30	
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1			30									30	
ソーシャルワーク演習Ⅱ	1				30								30		



【臨床福祉学科 専門教育科目】（令和3年度第1学年適用）

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考			
				1年		2年		3年		4年			計		
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
IV	ソーシャルワーク演習Ⅲ	1					30						30		
	ソーシャルワーク演習Ⅳ		2							30	30			60	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1					45							45	
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	1.5					60							60	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		2							45	45			90	
	ソーシャルワーク実習Ⅱ		4								180			180	
	介護概論Ⅰ	4		30	30									60	
	介護概論Ⅱ	4				30	30							60	
	介護概論Ⅲ	4							30	30				60	
	生活支援技術論Ⅰ	4		30	30									60	
	生活支援技術論Ⅱ	4				60								60	
	生活支援技術論Ⅲ	4					60							60	
	生活支援技術論Ⅳ	2							30					30	
	生活支援技術論Ⅴ	4							60					60	
	生活支援技術論Ⅵ	2									30			30	
	医療的ケア	7							75	30				105	
	実地研修Ⅰ	0.5										15		15	
	実地研修Ⅱ	0.5										15		15	
	実地研修Ⅲ	0.5										15		15	
	実地研修Ⅳ	0.5										15		15	
	実地研修Ⅴ	0.5										15		15	
	介護過程論Ⅰ	2			30									30	
	介護過程論Ⅱ	4				30	30							60	
	介護過程論Ⅲ	4							30	30				60	
	介護総合演習Ⅰ	1		15	15									30	
	介護総合演習Ⅱ	1					30							30	
	介護総合演習Ⅲ	1							15	15				30	
	介護総合演習Ⅳ	1									30			30	
	介護実習Ⅰ	1		45										45	
	介護実習Ⅱ	3					135							135	
	介護実習Ⅲ	4							180					180	
	介護実習Ⅳ	2									90			90	
	精神保健福祉の理論と方法Ⅰ	2							30					30	
	精神保健福祉の理論と方法Ⅱ	2								30				30	
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ	1.5							15	30				45	
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ	1.5									45			45	
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習	5									210			210	
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1								45				45	
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1									45			45	
	ソーシャルワーク応用実習	4									180			180	
	ソーシャルワーク応用実習指導	1									45			45	
	地域共生社会演習Ⅰ	2							60					60	
	地域共生社会演習Ⅱ	1									30			30	
プロジェクト演習Ⅰ	1									30			30		
プロジェクト演習Ⅱ	2									30	30		60		
プロジェクト研究	4									30	30		60		
社会福祉研究法	1									15			15		
臨床福祉総合講義	4									30	30		60		
現代社会論	2										30		30		
スクール ソーシャル ワーク 教育課程	スクール（学校）ソーシャルワーク演習	1						30					30	※卒業単位に含む	
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導	2								30			30		
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習	2								80			80		
専門教育科目 合計98単位以上修得															
臨床福祉学科 合計131単位以上修得															

【臨床福祉学科 専門教育科目】（令和3年度第2学年適用）

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考		
				1年		2年		3年		4年			計	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
I	社会福祉原論	4				30	30						60	
	看護福祉学入門	2			30								30	
	社会心理学		2			30							30	
	ソーシャルワーク入門	2			30								30	
	福祉哲学と倫理		2							30			30	
	介護コミュニケーション論		4			30	30						60	
	コミュニケーション論		2			30							30	
	福祉と当事者のリアルⅠ		2	30									30	
	福祉と当事者のリアルⅡ		1				15						15	
	臨床福祉学導入演習	1		30									30	
II	社会保障論	4				30	30						60	
	公的扶助論	2				30							30	
	地域福祉論	4				30	30						60	
	児童福祉論		2				30						30	
	障害者福祉論		2				30						30	
	家族福祉論		2					30					30	
	高齢者福祉論Ⅰ		2			30							30	
	高齢者福祉論Ⅱ		2				30						30	
	医療福祉論		2					30					30	
	医療ソーシャルワーク実践論		2						30				30	
	スクールソーシャルワーク論		2					30					30	
	精神保健福祉論Ⅰ		2				30						30	
	精神保健福祉論Ⅱ		2					30					30	
	精神保健福祉論Ⅲ		2						30				30	
	福祉行財政・福祉計画論	2					30						30	
民法		2					30					30		
行政法		2							30			30		
III	医学一般	2				30							30	
	医学原論		1	30									30	
	精神医学Ⅰ		2			30							30	
	精神医学Ⅱ		2				30						30	
	精神保健学Ⅰ		2				30						30	
	精神保健学Ⅱ		2					30					30	
	公衆衛生学		2		30								30	
	薬理学		2				30						30	
	リハビリテーション論		2					30					30	
	アダプテッド・スポーツ演習		1			30							30	
	保健医療福祉情報論		2					30					30	
	障害基礎医学		2					30					30	
	心身機能構造論		2						30				30	
認知症ケア論		2				30						30		
IV	ソーシャルワーク論Ⅰ		4	30	30								60	
	ソーシャルワーク論Ⅱ		4			30	30						60	
	ソーシャルワーク論Ⅲ		4					30	30				60	
	精神保健福祉ソーシャルワーク論		2			30							30	
	社会福祉調査法		2					30					30	
	社会福祉運営管理論		2					30					30	
	介護管理論		2							30			30	
	就労支援論		1						15				15	
	権利擁護・成年後見制度論		2							30			30	
	更生保護制度論		1							15			15	
	ソーシャルワーク演習Ⅰ		1		30								30	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ		2			30	30						60	

【臨床福祉学科 専門教育科目】（令和3年度第2学年適用）

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考		
				1年		2年		3年		4年			計	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
IV	ソーシャルワーク演習Ⅲ		2					30	30			60		
	ソーシャルワーク基礎実習指導	1				30						30		
	ソーシャルワーク基礎実習	1				40						40		
	ソーシャルワーク実習指導		2					45	45			90		
	ソーシャルワーク実習		4						180			180		
	介護概論Ⅰ		4	30	30							60		
	介護概論Ⅱ		4			30	30					60		
	介護概論Ⅲ		4					30	30			60		
	生活支援技術論Ⅰ		4	30	30							60		
	生活支援技術論Ⅱ		4			60						60		
	生活支援技術論Ⅲ		4				60					60		
	生活支援技術論Ⅳ		2					30				30		
	生活支援技術論Ⅴ		4					60				60		
	生活支援技術論Ⅵ		2							30		30		
	医療的ケア		7						75	30			105	
	実地研修Ⅰ		0.5								15		15	
	実地研修Ⅱ		0.5								15		15	
	実地研修Ⅲ		0.5								15		15	
	実地研修Ⅳ		0.5								15		15	
	実地研修Ⅴ		0.5								15		15	
	介護過程論Ⅰ		2		30								30	
	介護過程論Ⅱ		4			30	30						60	
	介護過程論Ⅲ		4					30	30				60	
	介護総合演習Ⅰ		1	15	15								30	
	介護総合演習Ⅱ		1				30						30	
	介護総合演習Ⅲ		1					15	15				30	
	介護総合演習Ⅳ		1							30			30	
	介護実習Ⅰ		1	45									45	
	介護実習Ⅱ		3				135						135	
	介護実習Ⅲ		2						90				90	
	介護実習Ⅳ		4							180			180	
	精神保健福祉の理論と方法Ⅰ		4						30	30			60	
	精神保健福祉の理論と方法Ⅱ		4							30	30		60	
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ		1						30				30	
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ		1							30			30	
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習		5							210			210	
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1						45				45	
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		1							45			45	
	ソーシャルワーク応用実習		4								180		180	
	ソーシャルワーク応用実習指導Ⅰ		0.5						15				15	
ソーシャルワーク応用実習指導Ⅱ		1							45			45		
地域共生社会演習Ⅰ		2						60				60		
地域共生社会演習Ⅱ		1							30			30		
臨床福祉専門演習Ⅰ		1							30			30		
臨床福祉専門演習Ⅱ		2							30	30		60		
卒業論文		4							30	30		60		
社会福祉研究法		1							15			15		
臨床福祉総合講義		4							30	30		60		
現代社会論		2								30		30		
スクール ソーシャル ワーク 教育課程	スクール（学校）ソーシャルワーク演習		1					30				30		
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導		2							30		30	※卒業単位に含まない	
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習		2							80		80		
専門教育科目 合計 98 単位以上修得														
臨床福祉学科 合計 130 単位以上修得														

【臨床福祉学科 専門教育科目】（令和3年度第3学年適用）

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考			
				1年		2年		3年		4年			計		
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
I	社会福祉原論	4				30	30							60	
	看護福祉学入門	2			30									30	
	社会心理学		2			30								30	
	ソーシャルワーク入門	2			30									30	
	福祉哲学と倫理		2									30		30	
	介護コミュニケーション論		4			30	30							60	
	コミュニケーション論		2			30								30	
	福祉と当事者のリアルⅡ		1				15							15	
	臨床福祉学導入演習	1		30										30	
II	社会保障論	4				30	30							60	
	公的扶助論	2				30								30	
	地域福祉論	4				30	30							60	
	児童福祉論		2				30							30	
	障害者福祉論		2				30							30	
	家族福祉論		2						30					30	
	高齢者福祉論Ⅰ		2			30								30	
	高齢者福祉論Ⅱ		2				30							30	
	医療福祉論		2						30					30	
	医療ソーシャルワーク実践論		2							30				30	
	スクールソーシャルワーク論		2						30					30	
	精神保健福祉論Ⅰ		2				30							30	
	精神保健福祉論Ⅱ		2						30					30	
	精神保健福祉論Ⅲ		2							30				30	
	福祉行財政・福祉計画論	2					30							30	
	民法		2						30					30	
	行政法		2								30			30	
III	医学一般	2				30								30	
	医学原論		1	30										30	
	精神医学Ⅰ		2			30								30	
	精神医学Ⅱ		2				30							30	
	精神保健学Ⅰ		2				30							30	
	精神保健学Ⅱ		2					30						30	
	公衆衛生学		2		30									30	
	薬理学		2				30							30	
	リハビリテーション論		2						30					30	
	アダプテッド・スポーツ演習		1			30								30	
	保健医療福祉情報論		2						30					30	
	障害基礎医学		2					30						30	
	心身機能構造論		2						30					30	
	認知症ケア論		2				30							30	
IV	ソーシャルワーク論Ⅰ		4	30	30									60	
	ソーシャルワーク論Ⅱ		4			30	30							60	
	ソーシャルワーク論Ⅲ		4					30	30					60	
	精神保健福祉ソーシャルワーク論		2			30								30	
	社会福祉調査法		2					30						30	
	社会福祉運営管理論		2					30						30	
	介護管理論		2							30				30	
	就労支援論		1							15				15	
	権利擁護・成年後見制度論		2								30			30	
	更生保護制度論		1								15			15	
	ソーシャルワーク演習Ⅰ		1		30									30	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ		2			30	30							60	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ		2					30	30					60	
	ソーシャルワーク基礎実習指導		1				30							30	
	ソーシャルワーク基礎実習		1				40							40	
	ソーシャルワーク実習指導		2						45	45				90	

【臨床福祉学科 専門教育科目】（令和3年度第3学年適用）

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考		
				1年		2年		3年		4年			計	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
IV	ソーシャルワーク実習		4							180			180	
	介護概論Ⅰ		4	30	30								60	
	介護概論Ⅱ		4			30	30						60	
	介護概論Ⅲ		4					30	30				60	
	生活支援技術論Ⅰ		4	30	30								60	
	生活支援技術論Ⅱ		4			60							60	
	生活支援技術論Ⅲ		4				60						60	
	生活支援技術論Ⅳ		2					30					30	
	生活支援技術論Ⅴ		4					60					60	
	生活支援技術論Ⅵ		2							30			30	
	医療的ケア		7					75	30				105	
	実地研修Ⅰ		0.5								15		15	
	実地研修Ⅱ		0.5								15		15	
	実地研修Ⅲ		0.5								15		15	
	実地研修Ⅳ		0.5								15		15	
	実地研修Ⅴ		0.5								15		15	
	介護過程論Ⅰ		2			30							30	
	介護過程論Ⅱ		4				30	30					60	
	介護過程論Ⅲ		4						30	30			60	
	介護総合演習Ⅰ		1	15	15								30	
	介護総合演習Ⅱ		1				30						30	
	介護総合演習Ⅲ		1						15	15			30	
	介護総合演習Ⅳ		1								30		30	
	介護実習Ⅰ		1	45									45	
	介護実習Ⅱ		3				135						135	
	介護実習Ⅲ		2							90			90	
	介護実習Ⅳ		4								180		180	
	精神保健福祉の理論と方法Ⅰ		4						30	30			60	
	精神保健福祉の理論と方法Ⅱ		4								30	30	60	
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ		1							30			30	
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ		1								30		30	
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習		5								210		210	
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1								45		45	
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		1									45	45	
	ソーシャルワーク応用実習		4									180	180	
	ソーシャルワーク応用実習指導Ⅰ		0.5							15			15	
	ソーシャルワーク応用実習指導Ⅱ		1								45		45	
	地域共生社会演習Ⅰ		2						60				60	
	地域共生社会演習Ⅱ		1								30		30	
	臨床福祉専門演習Ⅰ		1							30			30	
臨床福祉専門演習Ⅱ		2								30	30	60		
卒業論文		4								30	30	60		
社会福祉研究法		1							15			15		
臨床福祉総合講義		4								30	30	60		
現代社会論		2									30	30		
スクール ソーシャル ワーク 教育課程	スクール（学校）ソーシャルワーク演習		1						30			30		
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導		2								30	30	※卒業単位に含まない	
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習		2								80	80		
専門教育科目 合計 98 単位以上修得														
臨床福祉学科 合計 130 単位以上修得														

【臨床福祉学科 専門教育科目】（令和3年度第4学年適用）

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備考		
		必修	選択	1年		2年		3年		4年			計	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
I	社会福祉原論	4				30	30						60	
	看護福祉学入門	2			30								30	
	社会心理学		2			30							30	
	ソーシャルワーク入門	2			30								30	
	福祉哲学と倫理		2								30		30	
	介護コミュニケーション論		4			30	30						60	
	コミュニケーション論		2			30							30	
	臨床福祉学導入演習	1		30									30	
II	社会保障論	4				30	30						60	
	公的扶助論	2				30							30	
	地域福祉論	4				30	30						60	
	児童福祉論		2				30						30	
	障害者福祉論		2				30						30	
	家族福祉論		2						30				30	
	高齢者福祉論Ⅰ		2			30							30	
	高齢者福祉論Ⅱ		2				30						30	
	医療福祉論		2						30				30	
	医療ソーシャルワーク実践論		2							30			30	
	スクールソーシャルワーク論		2						30				30	
	精神保健福祉論Ⅰ		2				30						30	
	精神保健福祉論Ⅱ		2						30				30	
	精神保健福祉論Ⅲ		2							30			30	
	福祉行財政・福祉計画論	2					30						30	
民法		2						30				30		
行政法		2								30		30		
III	医学一般	2				30							30	
	医学原論		1	30									30	
	精神医学Ⅰ		2			30							30	
	精神医学Ⅱ		2				30						30	
	精神保健学Ⅰ		2				30						30	
	精神保健学Ⅱ		2					30					30	
	公衆衛生学		2		30								30	
	薬理学		2				30						30	
	リハビリテーション論		2						30				30	
	保健医療福祉情報論		2						30				30	
	障害基礎医学		2					30					30	
	心身機能構造論		2						30				30	
認知症ケア論		2				30						30		
IV	ソーシャルワーク論Ⅰ		4	30	30								60	
	ソーシャルワーク論Ⅱ		4			30	30						60	
	ソーシャルワーク論Ⅲ		4					30	30				60	
	精神保健福祉ソーシャルワーク論		2			30							30	
	社会福祉調査法		2					30					30	
	社会福祉運営管理論		2					30					30	
	就労支援論		1						15				15	
	権利擁護・成年後見制度論		2							30			30	
	更生保護制度論		1							15			15	
	ソーシャルワーク演習Ⅰ		1		30								30	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ		2			30	30						60	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ		2					30	30				60	
	ソーシャルワーク基礎実習指導		1				30						30	
	ソーシャルワーク基礎実習		1				40						40	
ソーシャルワーク実習指導		2					45	45				90		

【臨床福祉学科 専門教育科目】（令和3年度第4学年適用）

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								備 考		
				1年		2年		3年		4年			計	
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期			前期
IV	ソーシャルワーク実習		4							180			180	
	介護概論Ⅰ		4	30	30								60	
	介護概論Ⅱ		4			30	30						60	
	介護概論Ⅲ		4					30	30				60	
	生活支援技術論Ⅰ		4	30	30								60	
	生活支援技術論Ⅱ		4			60							60	
	生活支援技術論Ⅲ		4				60						60	
	生活支援技術論Ⅳ		2					30					30	
	生活支援技術論Ⅴ		4					60					60	
	生活支援技術論Ⅵ		2							30			30	
	医療的ケア		7						75	30			105	
	実地研修Ⅰ		0.5									15	15	
	実地研修Ⅱ		0.5									15	15	
	実地研修Ⅲ		0.5									15	15	
	実地研修Ⅳ		0.5									15	15	
	実地研修Ⅴ		0.5									15	15	
	介護過程論Ⅰ		2		30								30	
	介護過程論Ⅱ		4			30	30						60	
	介護過程論Ⅲ		4					30	30				60	
	介護総合演習Ⅰ		1	15	15								30	
	介護総合演習Ⅱ		1				30						30	
	介護総合演習Ⅲ		1					15	15				30	
	介護総合演習Ⅳ		1							30			30	
	介護実習Ⅰ		1	45									45	
	介護実習Ⅱ		3				135						135	
	介護実習Ⅲ		2						90				90	
	介護実習Ⅳ		4							180			180	
	精神保健福祉の理論と方法Ⅰ		4						30	30			60	
	精神保健福祉の理論と方法Ⅱ		4							30	30		60	
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ		1						30				30	
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ		1							30			30	
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習		5							210			210	
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1						45				45	
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		1							45			45	
	ソーシャルワーク応用実習		4								180		180	
	ソーシャルワーク応用実習指導Ⅰ		0.5							15			15	
	ソーシャルワーク応用実習指導Ⅱ		1								45		45	
	地域共生社会演習Ⅰ		2						60				60	
	地域共生社会演習Ⅱ		1								30		30	
	臨床福祉専門演習Ⅰ		1							30			30	
臨床福祉専門演習Ⅱ		2								30	30	60		
卒業論文		4								30	30	60		
社会福祉研究法		1							15			15		
臨床福祉総合講義		4								30	30	60		
現代社会論		2									30	30		
スクール ソーシャル ワーク 教育課程	スクール（学校）ソーシャルワーク演習		1						30			30	※卒業単位に含まない	
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導		2							30		30		
	スクール（学校）ソーシャルワーク実習		2							80		80		
専門教育科目 合計 98 単位以上修得														
臨床福祉学科 合計 130 単位以上修得														

## 【臨床福祉学科 教職課程履修科目】（令和3年度第1学年適用）

「※」の科目は教職課程の履修者のみ履修できます。また卒業単位に含まれません。

●:学科必修 ○:教職必修 ◎:特別支援必修

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								高等学校		特別支援	備考	
				1年		2年		3年		4年		計	公民			福祉
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教科及び科目の指導法に関する科目（公民）	法学（法学概論）	2	30									30				
	民法	2						30				30	○			
	法学（日本国憲法）	2	30									30	○			
	行政法	2									30	30	○			
	人間と社会（国際社会福祉論）	2	30									30	○			
	地域福祉論	4			30	30						60	●			
	家族福祉論	2					30					30				
	現代社会論	2									30	30	○			
	権利擁護・成年後見制度論	2									30	30	●			
	社会保障論	4			30	30						60	●			
	福祉哲学と倫理	2									30	30	○			
社会心理学	2			30							30	○				
※ 公民総合	2									30	30					
※ 公民科教育法	4							60			60	○				
教科及び科目の指導法に関する科目（福祉）	社会福祉原論	4			30	30						60			●	
	ソーシャルワーク入門	2		30								30			●	
	公的扶助論	2			30							30			●	
	高齢者福祉論	2			30							30			○	
	児童福祉論	2				30						30			○	
	障害者福祉論	2				30						30			○	
	ソーシャルワーク論	4	30	30								60			○	
	ソーシャルワーク方法論Ⅰ	2			30							30			○	
	ソーシャルワーク方法論Ⅱ	2				30						30			○	
	保健医療福祉論	2					30					30				
	医療ソーシャルワーク実践論	2								30		30				
	介護総合演習Ⅰ	1		30								30			○	
	リハビリテーション論	2					30					30			○	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1				45						45			●	
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	1.5				60						60			●	
	医学一般	2			30							30			●	
	心身機能構造論	2					30					30			○	
認知症ケア論	2			30							30			○		
障害基礎医学	2				30						30			○		
※ 福祉科教育法	4							60			60			○		
教育の基礎的理解に関する科目	※ 教育原理	2	30								30	○	○			
	※ 教職入門	2	30								30	○	○			
	※ 教育社会学	2	30								30	○	○			SSW希望者履修可
	※ 教育心理学	2	30								30	○	○			
	※ 特別ニーズ教育論	2								30	30	○	○			
	※ 教育課程論	2	30								30	○	○			
	※ 総合的な学習の時間の指導法	1						15			15	○	○			
	※ 特別活動の指導法	2			30						30	○	○			
	※ 教育の方法と技術	2				30					30	○	○			
	※ 生徒指導・進路指導論	2				30					30	○	○			SSW希望者履修可
	※ 教育相談の理論と方法	2				30					30	○	○			SSW希望者履修可
	※ 教育実習指導	2							30		30	○	○			
	※ 教育実習	2								90	90	○	○			
※ 教職実践演習（高）	2									60	60	○	○			
設大が定める独自に	※ スクールソーシャルワーク論	2						30			30					
	※ スクール（学校）ソーシャルワーク演習	1							30		30					
	※ 学校教育の課題	2									30	30				
	※ 精神保健学Ⅰ	2			30						30					
	※ 地域連携（地域ボランティア論）	2	30								30					
	※ 精神医学	4			30	30						60				
	※ スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導	2									30	30				
※ スクール（学校）ソーシャルワーク実習	2									80	80					
第6次教育関係者6名に	※ 法学（日本国憲法）	2	30								30	○	○			
	※ 健康・運動科学（運動科学論）	2	30								30					2科目のうち1科目2単位以上選択必修
	※ 健康・運動科学演習（運動科学演習）	1	30								30					
	※ 英語Ⅰ（英語コミュニケーション）	1			30						30	●	●			
	※ 英語Ⅱ（英語B）	1			30						30	●	●			
	※ 情報処理演習（情報処理演習）	1	30								30	●	●			
※ 情報科学（情報科学）	2	30								30	○	○				



## 【臨床福祉学科 教職課程履修科目】（令和3年度第1学年適用）

「※」の科目は教職課程の履修者のみ履修できます。また卒業単位に含まれません。

●:学科必修 ○:教職必修 ◎:特別支援必修

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								高等学校		特別支援	備考	
		必修	選択	1年		2年		3年		4年		計	公民			福祉
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
特別支援教育に関する科目	※ 特別支援教育論		2				30					30			◎	
	※ 知的障害者の心理・生理・病理		2				30					30			◎	
	※ 肢体不自由者の心理・生理・病理		2				30					30			◎	
	※ 病弱者の心理・生理・病理		2				30					30			◎	
	※ 障害児教育の指導法		2						30			30			◎	
	※ 統合教育		2						30			30			◎	
	※ 知的・発達障害教育		2						30			30			◎	
	※ 肢体不自由教育		2							30		30			◎	
	※ 病弱教育		2							30		30			◎	
	※ 視覚障害児教育論		2							30		30			◎	
	※ 発達障害児教育論		2								30	30			◎	
	※ 言語障害児教育論		2								30	30			◎	
	※ 自立活動支援法		2								30	30				
	※ 重複障害児の指導法		2				30					30				
	※ 特別支援教育実習指導		2									30	30		◎	
※ 特別支援教育実習		2									90	90		◎		

## 【臨床福祉学科 教職課程履修科目】（令和3年度第2・3学年適用）

「※」の科目は教職課程の履修者のみ履修できます。また卒業単位に含まれません。

●:学科必修 ○:教職必修 ◎:特別支援必修

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								高等学校		特別支援	備考	
		必修	選択	1年		2年		3年		4年		計	公民			福祉
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教科及び科目の指導法に関する科目（公民）	法学（法学概論）		2	30								30				
	民法		2					30				30	○			
	法学（日本国憲法）		2	30								30	○			
	行政法		2								30	30	○			
	人間と社会（国際社会福祉論）		2	30								30	○			
	地域福祉論	4			30	30						60	●			
	家族福祉論		2				30					30				
	現代社会論		2								30	30	○			
	権利擁護・成年後見制度論	2									30	30	●			
	社会保障論	4			30	30						60	●			
	福祉哲学と倫理		2								30	30	○			
社会心理学		2		30							30	○				
※ 公民総合		2								30	30					
※ 公民科教育法		4						60			60	○				
教科及び科目の指導法に関する科目（福祉）	社会福祉原論		4			30	30					60			●	
	ソーシャルワーク入門		2		30							30			●	
	公的扶助論		2			30						30			●	
	高齢者福祉論Ⅰ		2			30						30			○	
	高齢者福祉論Ⅱ		2				30					30			○	
	児童福祉論		2				30					30			○	
	障害者福祉論		2				30					30			○	
	ソーシャルワーク論Ⅰ		4	30	30							60			○	
	ソーシャルワーク論Ⅱ		4			30	30					60			○	
	医療福祉論		2					30				30				
	医療ソーシャルワーク実践論		2						30			30				
	介護総合演習Ⅰ		1		30							30			○	
	リハビリテーション論		2					30				30			○	
	ソーシャルワーク基礎実習指導		1				30					30			●	
	ソーシャルワーク基礎実習		1				40					40			●	
	医学一般		2			30						30			●	
	心身機能構造論		2					30				30			○	
	認知症ケア論		2			30						30			○	
障害基礎医学		2				30					30			○		
※ 福祉科教育法		4						60			60			○		
教育の基礎的理解に関する科目	※ 教育原理		2	30								30	○	○		
	※ 教職入門		2	30								30	○	○		
	※ 教育社会学		2	30								30	○	○		SSW希望者履修可
	※ 教育心理学		2	30								30	○	○		
	※ 特別ニーズ教育論		2								30	30	○	○		
	※ 教育課程論		2	30								30	○	○		
	※ 総合的な学習の時間の指導法		1							15		15	○	○		
	※ 特別活動の指導法		2			30						30	○	○		
	※ 教育の方法と技術		2				30					30	○	○		
	※ 生徒指導・進路指導論		2				30					30	○	○		SSW希望者履修可
	※ 教育相談の理論と方法		2				30					30	○	○		SSW希望者履修可
	※ 教育実習指導		2							30		30	○	○		
	※ 教育実習		2								90	90	○	○		
※ 教職実践演習（高）		2									60	○	○			
設大定学する独自科目	※ スクールソーシャルワーク論		2					30				30				
	※ スクール（学校）ソーシャルワーク演習		1						30			30				
	※ 就労支援論		1							15		15				
	※ 学校教育の課題		2								30	30				
	※ 精神保健学Ⅰ		2					30				30				
	※ 地域連携（地域ボランティア論）		2	30								30				
	※ コミュニケーション論		2				30					30				
	※ 精神医学Ⅰ		2				30					30				
	※ スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導		2									30				
※ スクール（学校）ソーシャルワーク実習		2									80					
第6育める6職員の6科目に法	法学（日本国憲法）		2	30								30	○	○		
	健康・運動科学（運動科学論）		2	30								30				2科目のうち1科目2単位以上選択必修
	健康・運動科学演習（運動科学演習）		1		30							30				
	英語Ⅰ（英語コミュニケーション）		1			30						30	●	●		
	英語Ⅱ（英語B）		1		30							30	●	●		
	情報処理演習（情報処理演習）		1		30							30	●	●		
	情報科学（情報科学）		2		30							30				2科目のうち1科目以上選択必修
保健医療福祉情報論		2					30				30					

## 【臨床福祉学科 教職課程履修科目】（令和3年度第2・3学年適用）

「※」の科目は教職課程の履修者のみ履修できます。また卒業単位に含まれません。

●:学科必修 ○:教職必修 ◎:特別支援必修

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								高等学校		特別支援	備考	
		必修	選択	1年		2年		3年		4年		計	公民			福祉
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
特別支援教育に関する科目	※ 特別支援教育論		2				30					30			◎	
	※ 知的障害者の心理・生理・病理		2				30					30			◎	
	※ 肢体不自由者の心理・生理・病理		2				30					30			◎	
	※ 病弱者の心理・生理・病理		2				30					30			◎	
	※ 障害児教育の指導法		2						30			30			◎	
	※ 統合教育		2						30			30			◎	
	※ 知的・発達障害教育		2						30			30			◎	
	※ 肢体不自由教育		2							30		30			◎	
	※ 病弱教育		2							30		30			◎	
	※ 視覚障害児教育論		2							30		30			◎	
	※ 発達障害児教育論		2								30	30			◎	
	※ 言語障害児教育論		2								30	30			◎	
	※ 自立活動支援法		2								30	30				
	※ 重複障害児の指導法		2				30					30				
	※ 特別支援教育実習指導		2									30	30		◎	
※ 特別支援教育実習		2									90	90		◎		

## 【臨床福祉学科 教職課程履修科目】（令和3年度第4学年適用）

「※」の科目は教職課程の履修者のみ履修できます。また卒業単位に含まれません。

●:学科必修 ○:教職必修 ◎:特別支援必修

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								高等学校		特別支援	備考	
				1年		2年		3年		4年		計	公民			福祉
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
教科に関する科目（公民）	法学（法学概論）	2	30													
	法学（日本国憲法）	2	30									○				
	民法	2						30				○				
	行政法	2								30		○				
	人間と社会（国際社会福祉論）	2	30									○				
	地域福祉論	4			30	30						●				
	家族福祉論	2					30									
	現代社会論	2								30		○				
	権利擁護・成年後見制度論	2								30		●				
	社会保障論	4			30	30						●				
	福祉行財政・福祉計画論	2				30						●				
	福祉哲学と倫理	2								30		○				
社会心理学	2			30							○					
教科に関する科目（福祉）	社会福祉原論	4			30	30							●			
	ソーシャルワーク入門	2		30									●			
	公的扶助論	2			30								●			
	高齢者福祉論Ⅰ	2			30								○			
	高齢者福祉論Ⅱ	2				30							○			
	児童福祉論	2				30							○			
	障害者福祉論	2				30							○			
	ソーシャルワーク論Ⅰ	4	30	30									○			
	ソーシャルワーク論Ⅱ	4			30	30							○			
	医療福祉論	2					30									
	医療ソーシャルワーク実践論	2						30								
	介護総合演習Ⅰ	1		30									○			
	リハビリテーション論	2					30						○			
	ソーシャルワーク基礎実習指導	1				30							●			
	ソーシャルワーク基礎実習	1				40							●			
医学一般	2			30								●				
心身機能構造論	2					30						○				
認知症ケア論	2			30								○				
障害基礎医学	2				30							○				
教職に関する科目	※ 教職入門	2	30									○	○			
	※ 教育原理	2	30									○	○			
	※ 教育心理学	2	30									○	○			
	※ 教育社会学	2	30									○	○			SSW希望者履修可
	※ 教育課程論	2	30									○	○			
	※ 公民科教育法	4						60				○				該当教科の指導法について必修
	※ 福祉科教育法	4						60				○				
	※ 特別活動の指導法	2			30							○	○			
	※ 教育の方法と技術	2				30						○	○			
	※ 生徒指導・進路指導論	2				30						○	○			SSW希望者履修可
	※ 教育相談の理論と方法	2				30						○	○			SSW希望者履修可
	※ 教育実習指導	2							30			○	○			
※ 教育実習	2								90		○	○				
※ 教職実践演習（高）	2								60		○	○				
教科又は教職に関する科目	※ 個体差健康科学	2	30									●	●			
	※ 地域ボランティア論	2	30													
	※ コミュニケーション論	2			30											
	※ 精神医学Ⅰ	2			30											
	※ 精神保健学Ⅰ	2				30										
	※ 就労支援論	1							15							
	※ 学校教育の課題	2								30						
	※ スクールソーシャルワーク論	2					30									
	※ スクール（学校）ソーシャルワーク演習	1						30								
	※ スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導	2								30						
※ スクール（学校）ソーシャルワーク実習	2								80							
第6条の6に定める科目	※ 法学（日本国憲法）	2	30									○	○			
	※ 健康・運動科学（運動科学論）	2	30													2科目のうち1科目2単位以上選択必修
	※ 健康・運動科学演習（運動科学演習）	1	30													
	※ 英語Ⅰ（オーラル・イングリッシュA）	1				30						●	●			
	※ 英語Ⅱ（英語B）	1			30							●	●			
	※ 情報処理演習（情報処理演習）	1	30									●	●			
	※ 情報科学（情報科学）	2	30													2科目のうち1科目以上選択必修
※ 保健医療福祉情報論	2					30										

## 【臨床福祉学科 教職課程履修科目】（令和3年度第4学年適用）

「※」の科目は教職課程の履修者のみ履修できます。また卒業単位に含まれません。

●:学科必修 ○:教職必修 ◎:特別支援必修

分類	授業科目	単位数		開講年次・時間数								高等学校		特別支援	備考	
		必修	選択	1年		2年		3年		4年		計	公民			福祉
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
特別支援教育に関する科目	※ 特別支援教育論		2				30					30			◎	
	※ 知的障害者の心理・生理・病理		2				30					30			◎	
	※ 肢体不自由者の心理・生理・病理		2				30					30			◎	
	※ 病弱者の心理・生理・病理		2				30					30			◎	
	※ 障害児教育の指導法		2					30				30			◎	
	※ 統合教育		2					30				30			◎	
	※ 知的・発達障害教育		2					30				30			◎	
	※ 肢体不自由教育		2						30			30			◎	
	※ 病弱教育		2						30			30			◎	
	※ 視覚障害児教育論		2						30			30			◎	
	※ 発達障害児教育論		2							30		30			◎	
	※ 言語障害児教育論		2							30		30			◎	
	※ 自立活動支援法		2							30		30				
	※ 重複障害児の指導法		2				30					30				
	※ 特別支援教育実習指導		2								30	30			◎	
※ 特別支援教育実習		2									90	90		◎		

■社会福祉士国家試験指定科目と本学授業科目との対応表（令和3年度第1学年）

No	科目名称		配当学年
	社会福祉士国家試験指定科目	本学授業科目	
1	医学概論（30時間）	医学一般（30時間）	2年前期
2	心理学と心理的支援（30時間）	心理学（30時間）	1年前期
3	社会学と社会システム（30時間）	社会学（30時間）	1年前期
4	社会福祉の原理と政策（60時間）	社会福祉原論（60時間）	2年通年
5	社会福祉調査の基礎（30時間）	社会福祉調査法（30時間）	3年前期
6	ソーシャルワークの基盤と専門職（30時間）	ソーシャルワーク論（60時間）	1年通年
7	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）（30時間）		
8	ソーシャルワークの理論と方法（60時間）	ソーシャルワーク方法論Ⅰ（30時間）	2年前期
		ソーシャルワーク方法論Ⅱ（30時間）	2年後期
9	ソーシャルワークの理論と方法（専門）（60時間）	ソーシャルワーク方法論Ⅲ（30時間）	3年前期
		ソーシャルワーク方法論Ⅳ（30時間）	3年後期
10	地域福祉と包括的支援体制（60時間）	地域福祉論（60時間）	2年通年
11	福祉サービスの組織と経営（30時間）	社会福祉運営管理論（30時間）	3年前期
12	社会保障（60時間）	社会保障論（60時間）	2年通年
13	高齢者福祉（30時間）	高齢者福祉論（30時間）	2年前期
14	障害者福祉（30時間）	障害者福祉論（30時間）	2年後期
15	児童・家庭福祉（30時間）	児童福祉論（30時間）	2年後期
16	貧困に対する支援（30時間）	公的扶助論（30時間）	2年前期
17	保健医療と福祉（30時間）	保健医療福祉論（30時間）	3年前期
18	権利擁護を支える法制度（30時間）	権利擁護・成年後見制度論（30時間）	4年前期
19	刑事司法と福祉（30時間）	司法福祉論（30時間）	4年前期
20	ソーシャルワーク演習（30時間）	ソーシャルワーク演習Ⅰ（30時間）	1年後期
21	ソーシャルワーク演習（専門）（120時間）	ソーシャルワーク演習Ⅱ（30時間）	2年前期
		ソーシャルワーク演習Ⅲ（30時間）	2年後期
		ソーシャルワーク演習Ⅳ（60時間）	3年通年
22	ソーシャルワーク実習指導（90時間）	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（45時間）	2年後期
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（90時間）	3年通年
23	ソーシャルワーク実習（240時間）	ソーシャルワーク実習Ⅰ（60時間）	2年後期
		ソーシャルワーク実習Ⅱ（180時間）	3年後期

■社会福祉士国家試験指定科目と本学授業科目との対応表（令和3年度第2～4学年）

No	科目名称		配当学年
	社会福祉士国家試験指定科目	本学授業科目	
1	人体の構造と機能及び疾病（30時間）	医学一般（30時間）	2年前期
2	心理学理論と心理的支援（30時間）	心理学（30時間）	1年前期
3	社会理論と社会システム（30時間）	社会学（30時間）	1年前期
4	現代社会と福祉（60時間）	社会福祉原論（60時間）	2年通年
5	社会調査の基礎（30時間）	社会福祉調査法（30時間）	3年前期
6	相談援助の基盤と専門職（60時間）	ソーシャルワーク論Ⅰ（60時間）	1年通年
7	相談援助の理論と方法（120時間）	ソーシャルワーク論Ⅱ（60時間）	2年通年
		ソーシャルワーク論Ⅲ（60時間）	3年通年
8	地域福祉の理論と方法（60時間）	地域福祉論（60時間）	2年通年
9	福祉行財政と福祉計画（30時間）	福祉行財政・福祉計画論（30時間）	2年後期
10	福祉サービスの組織と経営（30時間）	社会福祉運営管理論（30時間）	3年前期
11	社会保障（60時間）	社会保障論（60時間）	2年通年
12	高齢者に対する支援と介護保険制度（60時間）	高齢者福祉論Ⅰ（30時間）	2年前期
		高齢者福祉論Ⅱ（30時間）	2年後期
13	障害者に対する支援と障害者自立支援制度（30時間）	障害者福祉論（30時間）	2年後期
14	児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度（30時間）	児童福祉論（30時間）	2年後期
15	低所得者に対する支援と生活保護制度（30時間）	公的扶助論（30時間）	2年前期
16	保健医療サービス（30時間）	医療福祉論（30時間）	3年前期
17	就労支援サービス（15時間）	就労支援論（15時間）	3年後期
18	権利擁護と成年後見制度（30時間）	権利擁護・成年後見制度論（30時間）	4年前期
19	更生保護制度（15時間）	更生保護制度論（15時間）	4年前期
20	相談援助演習（150時間）	ソーシャルワーク演習Ⅰ（30時間）	1年後期
		ソーシャルワーク演習Ⅱ（60時間）	2年通年
		ソーシャルワーク演習Ⅲ（60時間）	3年通年
21	相談援助実習指導（90時間）	ソーシャルワーク実習指導（90時間）	3年通年
22	相談援助実習（180時間）	ソーシャルワーク実習（180時間）	3年後期

■精神保健福祉士国家試験指定科目と本学授業科目との対応表（令和3年度第1学年）

No	科目名称		配当学年
	精神保健福祉士国家試験指定科目	本学授業科目	
1	医学概論（30時間）	医学一般（30時間）	2年前期
2	心理学と心理的支援（30時間）	心理学（30時間）	1年前期
3	社会学と社会システム（30時間）	社会学（30時間）	1年前期
4	社会福祉の原理と政策（60時間）	社会福祉原論（60時間）	2年通年
5	地域福祉と包括的支援体制（60時間）	地域福祉論（60時間）	2年通年
6	社会保障（60時間）	社会保障論（60時間）	2年通年
7	障害者福祉（30時間）	障害者福祉論（30時間）	2年後期
8	権利擁護を支える法制度（30時間）	権利擁護・成年後見制度論（30時間）	4年前期
9	刑事司法と福祉（30時間）	司法福祉論（30時間）	4年前期
10	社会福祉調査の基礎（30時間）	社会福祉調査法（30時間）	3年前期
11	精神医学と精神医療（60時間）	精神医学（60時間）	2年通年
12	現代の精神保健の課題と支援（60時間）	精神保健学Ⅰ（30時間）	2年前期
		精神保健学Ⅱ（30時間）	2年後期
13	ソーシャルワークの基盤と専門職（30時間）	ソーシャルワーク論（60時間）	1年通年
14	精神保健福祉の原理（60時間）	精神保健福祉の原理Ⅰ（30時間）	2年後期
		精神保健福祉の原理Ⅱ（30時間）	3年前期
15	ソーシャルワークの理論と方法（60時間）	ソーシャルワーク方法論Ⅰ（30時間）	2年前期
		ソーシャルワーク方法論Ⅱ（30時間）	2年後期
16	ソーシャルワークの理論と方法（専門）（60時間）	精神保健福祉の理論と方法Ⅰ（30時間）	3年前期
		精神保健福祉の理論と方法Ⅱ（30時間）	3年後期
17	精神障害リハビリテーション論（30時間）	精神障害リハビリテーション論（30時間）	2年前期
18	精神保健福祉制度論（30時間）	精神保健福祉制度論（30時間）	3年後期
19	ソーシャルワーク演習（30時間）	ソーシャルワーク演習Ⅰ（30時間）	1年後期
20	ソーシャルワーク演習（専門）（90時間）	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ（45時間）	3年通年
		精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ（45時間）	4年前期
21	ソーシャルワーク実習指導（90時間）	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（45時間）	3年後期
		精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（45時間）	4年前期
22	ソーシャルワーク実習（210時間）	精神保健福祉ソーシャルワーク実習（210時間）	3年～4年



■精神保健福祉士国家試験指定科目と本学授業科目との対応表（令和3年度第2～4学年）

No	科目名称		配当学年
	精神保健福祉士国家試験指定科目	本学授業科目	
1	人体の構造と機能及び疾病（30時間）	医学一般（30時間）	2年前期
2	心理学理論と心理的支援（30時間）	心理学（30時間）	1年前期
3	社会理論と社会システム（30時間）	社会学（30時間）	1年前期
4	現代社会と福祉（60時間）	社会福祉原論（60時間）	2年通年
5	地域福祉の理論と方法（60時間）	地域福祉論（60時間）	2年通年
6	社会保障（60時間）	社会保障論（60時間）	2年通年
7	低所得者に対する支援と生活保護制度（30時間）	公的扶助論（30時間）	2年前期
8	福祉行財政と福祉計画（30時間）	福祉行財政・福祉計画論（30時間）	2年後期
9	保健医療サービス（30時間）	医療福祉論（30時間）	3年前期
10	権利擁護と成年後見制度（30時間）	権利擁護・成年後見制度論（30時間）	4年前期
11	障害者に対する支援と障害者自立支援制度（30時間）	障害者福祉論（30時間）	2年後期
12	精神疾患とその治療（60時間）	精神医学Ⅰ（30時間）	2年前期
		精神医学Ⅱ（30時間）	2年後期
13	精神保健の課題と支援（60時間）	精神保健学Ⅰ（30時間）	2年後期
		精神保健学Ⅱ（30時間）	3年前期
14	精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）（30時間）	ソーシャルワーク論Ⅰ（読替）（60時間）	1年通年
		ソーシャルワーク論Ⅱ（読替）（60時間）	2年通年
		ソーシャルワーク論Ⅲ（読替）（60時間）	3年通年
15	精神保健福祉相談援助の基盤（専門）（30時間）	精神保健福祉ソーシャルワーク論（30時間）	2年前期
16	精神保健福祉の理論と相談援助の展開（120時間）	精神保健福祉の理論と方法Ⅰ（60時間）	3年通年
		精神保健福祉の理論と方法Ⅱ（60時間）	4年通年
17	精神保健福祉に関する制度とサービス（60時間）	精神保健福祉論Ⅱ（30時間）	3年前期
		精神保健福祉論Ⅲ（30時間）	3年後期
18	精神障害者の生活支援システム（30時間）	精神保健福祉論Ⅰ（30時間）	2年後期
19	精神保健福祉援助演習（基礎）（30時間）	ソーシャルワーク演習Ⅰ（読替）（30時間）	1年後期
		ソーシャルワーク演習Ⅱ（読替）（60時間）	2年通年
		ソーシャルワーク演習Ⅲ（読替）（60時間）	3年通年
20	精神保健福祉援助演習（専門）（60時間）	精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ（30時間）	3年後期
		精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ（30時間）	4年前期
21	精神保健福祉援助実習指導（90時間）	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（45時間）	3年後期
		精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（45時間）	4年前期
22	精神保健福祉援助実習（210時間）	精神保健福祉ソーシャルワーク実習（210時間）	3年～4年

■介護福祉士国家試験指定科目と本学授業科目との対応表（令和3年度第1学年）

			科目名称		配当学年	備考
領域	教育内容					
	介護福祉士国家試験指定科目		本学授業科目			
人間と社会	人間の理解	必修	人間の尊厳と自立（30時間）	社会福祉原論（60時間）	2年通年	
			人間関係とコミュニケーション（60時間）	ソーシャルワーク演習Ⅰ（30時間）	1年後期	
				介護管理論（30時間）	4年前期	
	社会の理解	必修	社会の理解（60時間）	社会学（30時間）	1年前期	
				社会保障論（60時間）	2年通年	
		選択（120時間）	ソーシャルワーク論（60時間）	1年通年		
			社会福祉調査法（30時間）	3年前期		
			保健医療福祉論（30時間）	3年前期		
介護	介護の基本（180時間）		介護概論Ⅰ（60時間）	1年通年		
			介護概論Ⅱ（60時間）	2年通年		
			介護概論Ⅲ（60時間）	3年通年		
	コミュニケーション技術（60時間）		介護コミュニケーション論（60時間）	2年通年		
	生活支援技術（300時間）		生活支援技術論Ⅰ（60時間）	1年通年		
			生活支援技術論Ⅱ（60時間）	2年前期		
			生活支援技術論Ⅲ（60時間）	2年後期		
			生活支援技術論Ⅳ（30時間）	3年前期		
			生活支援技術論Ⅴ（60時間）	3年前期		
			生活支援技術論Ⅵ（30時間）	4年前期		
	介護過程（150時間）		介護過程論Ⅰ（30時間）	1年後期		
			介護過程論Ⅱ（60時間）	2年通年		
			介護過程論Ⅲ（60時間）	3年通年		
	介護総合演習（120時間）		介護総合演習Ⅰ（30時間）	1年通年		
			介護総合演習Ⅱ（30時間）	2年後期		
			介護総合演習Ⅲ（30時間）	3年通年		
			介護総合演習Ⅳ（30時間）	4年前期		
	介護実習（450時間）		介護実習Ⅰ（45時間）	1年前期		
			介護実習Ⅱ（135時間）	2年後期		
			介護実習Ⅲ（180時間）	3年通年		
		介護実習Ⅳ（90時間）	4年前期			
こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみ（120時間）		心理学（30時間）	1年前期		
			医学一般（30時間）	2年前期		
			リハビリテーション論（30時間）	3年前期		
			心身機能構造論（30時間）	3年前期		
	発達と老化の理解（60時間）		高齢者福祉論（30時間）	2年前期		
			精神保健学Ⅰ（30時間）	2年前期		
	認知症の理解（60時間）		認知症ケア論（30時間）	2年前期		
			認知症と生活支援（30時間）	2年後期		
	障害の理解（60時間）		障害者福祉論（30時間）	2年後期		
			障害基礎医学（30時間）	2年後期		
医療的ケア	医療的ケア（50時間）		医療的ケア（105時間）	3年通年		
	実地研修		実地研修Ⅰ（15時間）	4年通年	卒業要件および 国家試験受験資格 としては選択科目	
			実地研修Ⅱ（15時間）	4年通年		
			実地研修Ⅲ（15時間）	4年通年		
			実地研修Ⅳ（15時間）	4年通年		
			実地研修Ⅴ（15時間）	4年通年		

■介護福祉士国家試験指定科目と本学授業科目との対応表（令和3年度第2～3学年）

			科目名称		配当学年	備考
領域	教育内容					
	介護福祉士国家試験指定科目		本学授業科目			
人間と社会	人間の理解	必修	人間の尊厳と自立（30時間）	社会福祉原論（60時間）	2年通年	
			人間関係とコミュニケーション（60時間）	ソーシャルワーク演習Ⅰ（30時間）	1年後期	
				介護管理論（30時間）	4年前期	
	社会の理解	必修	社会の理解（60時間）	社会学（30時間）	1年前期	
				社会保障論（60時間）	2年通年	
		選択（120時間）	ソーシャルワーク論Ⅰ（60時間）	1年通年		
			社会福祉調査法（30時間）	3年前期		
			医療福祉論（30時間）	3年前期		
介護	介護の基本（180時間）		介護概論Ⅰ（60時間）	1年通年		
			介護概論Ⅱ（60時間）	2年通年		
			介護概論Ⅲ（60時間）	3年通年		
	コミュニケーション技術（60時間）		介護コミュニケーション論（60時間）	2年通年		
	生活支援技術（300時間）		生活支援技術論Ⅰ（60時間）	1年通年		
			生活支援技術論Ⅱ（60時間）	2年前期		
			生活支援技術論Ⅲ（60時間）	2年後期		
			生活支援技術論Ⅳ（30時間）	3年前期		
			生活支援技術論Ⅴ（60時間）	3年前期		
			生活支援技術論Ⅵ（30時間）	4年前期		
	介護過程（150時間）		介護過程論Ⅰ（30時間）	1年後期		
			介護過程論Ⅱ（60時間）	2年通年		
			介護過程論Ⅲ（60時間）	3年通年		
	介護総合演習（120時間）		介護総合演習Ⅰ（30時間）	1年通年		
			介護総合演習Ⅱ（30時間）	2年後期		
			介護総合演習Ⅲ（30時間）	3年通年		
			介護総合演習Ⅳ（30時間）	4年前期		
	介護実習（450時間）		介護実習Ⅰ（45時間）	1年前期		
			介護実習Ⅱ（135時間）	2年後期		
			介護実習Ⅲ（90時間）	3年後期		
			介護実習Ⅳ（180時間）	4年前期		
	こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみ（120時間）		心理学（30時間）	1年前期	
			医学一般（30時間）	2年前期		
			リハビリテーション論（30時間）	3年前期		
			心身機能構造論（30時間）	3年前期		
発達と老化の理解（60時間）			高齢者福祉論Ⅰ（30時間）	2年前期		
			精神保健学Ⅱ（30時間）	3年前期		
認知症の理解（60時間）			認知症ケア論（30時間）	2年前期		
			高齢者福祉論Ⅱ（30時間）	2年後期		
障害の理解（60時間）			障害者福祉論（30時間）	2年後期		
			障害基礎医学（30時間）	2年後期		
医療的ケア	医療的ケア（50時間）		医療的ケア（105時間）	3年通年		
	実地研修		実地研修Ⅰ（15時間）	4年通年	卒業要件および 国家試験受験資格 としては選択科目	
			実地研修Ⅱ（15時間）	4年通年		
			実地研修Ⅲ（15時間）	4年通年		
			実地研修Ⅳ（15時間）	4年通年		
			実地研修Ⅴ（15時間）	4年通年		

■介護福祉士国家試験指定科目と本学授業科目との対応表（令和3年度第4学年）

領域		科目名称		配当学年	備考	
		教育内容				
		介護福祉士国家試験指定科目	本学授業科目			
人間と社会	人間の理解	必修	人間の尊厳と自立（30時間）	社会福祉原論（60時間）	2年通年	
			人間関係とコミュニケーション（30時間）	ソーシャルワーク演習Ⅰ（30時間）	1年後期	
	社会の理解	必修	社会の理解（60時間）	社会学（30時間）	1年前期	
				社会保障論（60時間）	2年通年	
		選択（120時間）	ソーシャルワーク論Ⅰ（60時間）	1年通年		
	社会福祉調査法（30時間）		3年前期			
	医療福祉論（30時間）		3年前期			
介護	介護の基本（180時間）		介護概論Ⅰ（60時間）	1年通年		
			介護概論Ⅱ（60時間）	2年通年		
			介護概論Ⅲ（60時間）	3年通年		
	コミュニケーション技術（60時間）		介護コミュニケーション論（60時間）	2年通年		
	生活支援技術（300時間）			生活支援技術論Ⅰ（60時間）	1年通年	
				生活支援技術論Ⅱ（60時間）	2年前期	
				生活支援技術論Ⅲ（60時間）	2年後期	
				生活支援技術論Ⅳ（30時間）	3年前期	
				生活支援技術論Ⅴ（60時間）	3年前期	
				生活支援技術論Ⅵ（30時間）	4年前期	
	介護過程（150時間）		介護過程論Ⅰ（30時間）	1年後期		
			介護過程論Ⅱ（60時間）	2年通年		
			介護過程論Ⅲ（60時間）	3年通年		
	介護総合演習（120時間）		介護総合演習Ⅰ（30時間）	1年通年		
			介護総合演習Ⅱ（30時間）	2年後期		
			介護総合演習Ⅲ（30時間）	3年通年		
			介護総合演習Ⅳ（30時間）	4年前期		
	介護実習（450時間）		介護実習Ⅰ（45時間）	1年前期		
			介護実習Ⅱ（135時間）	2年後期		
			介護実習Ⅲ（90時間）	3年後期		
		介護実習Ⅳ（180時間）	4年前期			
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解（60時間）		高齢者福祉論Ⅰ（30時間）	2年前期		
			精神保健学Ⅱ（30時間）	3年前期		
	認知症の理解（60時間）		認知症ケア論（30時間）	2年前期		
			高齢者福祉論Ⅱ（30時間）	2年後期		
	障害の理解（60時間）		障害者福祉論（30時間）	2年後期		
			障害基礎医学（30時間）	2年後期		
	こころとからだのしくみ（120時間）		心理学（30時間）	1年前期		
			医学一般（30時間）	2年前期		
医療的ケア	医療的ケア（50時間）		医療的ケア（105時間）	3年通年		
	実地研修			実地研修Ⅰ（15時間）	4年通年	卒業要件および 国家試験受験資格 としては選択科目
				実地研修Ⅱ（15時間）	4年通年	
				実地研修Ⅲ（15時間）	4年通年	
				実地研修Ⅳ（15時間）	4年通年	
				実地研修Ⅴ（15時間）	4年通年	

# 科目 英文 名称 一 覧

## 【全学教育科目】（令和3年度第1学年適用）

種類	科目区分	授業科目	授業科目英文名称	授業題目	授業題目英文名称
教養教育 Liberal Arts	導入科目 Introductory Subjects	基礎ゼミナール	Basic Seminars	アカデミック・リテラシー入門	Introduction to Academic Literacy
	教養科目 Liberal Arts Subjects	人間と思想	Humans and Thought	科学の哲学	Philosophy of Science
		人間と文化	Humans and Culture	生命倫理学入門	Introduction to Bioethics
		人間と社会	Humans and Society	国際文化比較論	Comparative Culture
				国際社会福祉論	International Social Welfare
	言語社会学入門	Introduction to Sociology of Language and Speech			
基礎教育 Basic Education	外国語科目 Foreign Languages	英語 I	English I	英語コミュニケーションA	English Communication A
				英語コミュニケーションB	English Communication B
		英語 II	English II	英語A	English A
				英語B	English B
				英語C	English C
				英語D	English D
		初修外国語	Second Foreign Languages	初級フランス語	Elementary French
				中級フランス語	Intermediate French
				初級ドイツ語	Elementary Germany
				中級ドイツ語	Intermediate Germany
				初級中国語	Elementary Chinese
				中級中国語	Intermediate Chinese
	健康・運動科学科目 Health, Physical Fitness and Sports Sciences	健康・運動科学	Health, Physical Fitness and Sports Sciences	運動科学論	Physical Fitness and Sports Sciences
		健康・運動科学演習	Health, Physical Activity and Sports Sciences	運動科学演習	Physical Activity and Sports Sciences
	情報科学科目 Information Sciences Subjects	情報科学	Information Sciences	情報科学	Information Science
		情報処理演習	Information Management Exercises	情報処理演習	Information Processing Practice
	自然科学科目 Natural Sciences Subjects	統計学	Statistics	基礎統計学	Basic Statistics
		物理学	Physics	基礎物理学	Basic Physics
		化学	Chemistry	基礎化学	Basic Chemistry
	人文社会科目 Humanities and Social Science Subjects	生物学	Biology	基礎生物学	Basic Biology
		社会学	Sociology	社会学	Sociology
		経済学	Economics	経済学	Economics
				医療福祉経済学	Economics of Welfare and Medical Care
		法学	Law	法学概論	Introduction to Law
		人類学	Anthropology	日本国憲法	Constitution of Japan
				文化人類学	Cultural Anthropology
	医療人類学	Medical Anthropology			
心理学	Psychology	心理学	Psychology		
医療基盤教育 Basic Medical Education	地域連携	Regional Cooperation	地域ボランティア論	Theory of Local Volunteering	
			多職種連携	Interprofessional collaboration	
	多職種連携	Interprofessional collaboration	多職種連携入門	Introduction to Interprofessional Collaboration	
			多職種連携論	Interprofessional Collaboration Theory	
			全学連携地域包括ケア実践演習	Practical Exercises for Interprofessional Collaboration in Community-based Integrated Care	

## 【看護学科 専門教育科目】（令和3年度第1学年適用）

分類	授業科目	授業科目英文名称
I	看護学原論	Fundamentals of Nursing
	人間発達論	Human Growth and Development
	看護福祉学入門	An Introduction to Nursing and Social Services
	臨床心理学	Clinical Psychology
	看護倫理	Nursing Ethics
	看護管理論	Nursing Management
	コミュニケーション論	Communication Practice
	福祉と当事者のリアル I	Social work and people: the real world I
II	社会福祉概論	An Introduction to Social Work Practice
	家族関係論	Family Relations
	公衆衛生学	Public Health
	疫学	Epidemiology
	保健統計	Health Statistics
	保健医療福祉行政論 I	Health Care Policy I
III	医学原論	Fundamentals of Medical Science
	人体構造機能学 I	Human Anatomy and Physiology I
	人体構造機能学 II	Human Anatomy and Physiology II
	人体構造機能学 III	Human Anatomy and Physiology III
	人体構造機能学 IV	Human Anatomy and Physiology IV
	人体構造機能学演習	Seminar in Human Anatomy and Physiology
	生化学	Biochemistry
	微生物学	Microbiology
	薬理学	Pharmacology
	病理学 I	Pathophysiology I
	病理学 II	Pathophysiology II
	食物学	Nutrition and Dietetics
	成人病態論 I	Pathophysiology of Adulthood Diseases I
	成人病態論 II	Pathophysiology of Adulthood Diseases II
	成人病態論 III	Pathophysiology of Adulthood Diseases III
	小児病態論	Pathophysiology of Childhood Diseases
	母性病態論	Pathophysiology of Obstetric and Gynecologic Diseases
	精神病態論	Pathophysiology of Psychiatric Diseases
	老年病態論	Pathophysiology of Aging-associated Diseases
	リハビリテーション法	Rehabilitation Practice
IV	看護技術論	Basic Skills in Nursing Practice
	看護技術基礎演習	Seminar in Basic Nursing Skills
	看護技術各論 I	Clinical Nursing Skills I
	看護技術各論 II	Clinical Nursing Skills II
	看護技術演習 I	Seminar in Clinical Nursing Skills I
	看護技術演習 II	Seminar in Clinical Nursing Skills II
	母性看護学	Maternal Health Nursing
	母性看護学演習	Seminar in Maternal Health Nursing
	小児看護学	Child Health Nursing

## 【看護学科 専門教育科目】（令和3年度第1学年適用）

分類	授業科目	授業科目英文名称
IV	小児看護学演習	Seminar in Child Health Nursing
	成人看護学	Adult Health Nursing
	成人看護各論 I	Nursing Care of Adults I
	成人看護各論 II	Nursing Care of Adults II
	成人看護各論 III	Nursing Care of Adults III
	成人看護学演習	Seminar in Adult Health Nursing
	がん看護学	Oncology Nursing
	老年看護学	Gerontological Nursing
	老年看護学演習	Seminar in Gerontological Nursing
	精神看護学	Mental Health Nursing
	精神看護学演習	Seminar in Mental Health Nursing
	在宅看護学	Home Health Nursing (general)
	在宅看護学各論	Clinical Skills of Home Health Nursing
	在宅看護学演習	Seminar in Home Health Nursing
	公衆衛生看護学概論	An Introduction to Public Health Nursing
	公衆衛生看護活動展開論 I	Public Health Nursing: Assessment and Skills I
	公衆衛生看護活動展開論 II	Public Health Nursing: Assessment and Skills II
	公衆衛生看護活動展開論 III	Public Health Nursing: Assessment and Skills III
	公衆衛生看護管理論	Public Health Nursing: Management
	クリティカルケア	Critical Care
	皮膚・排泄ケア	Wound, Ostomy and Continence Nursing
	感染管理	Infection Control and Prevention
	看護実践演習	Seminar in Clinical Nursing Practice
	基礎看護学実習	Clinical Practice: Fundamental Nursing
	母性看護学実習	Clinical Practice: Maternal Health Nursing
	小児看護学実習	Clinical Practice: Child Health Nursing
	成人看護学実習 I	Clinical Practice: Adult Health Nursing I
	成人看護学実習 II	Clinical Practice: Adult Health Nursing II
	老年看護学実習	Clinical Practice: Gerontological Nursing
	精神看護学実習	Clinical Practice: Mental Health Nursing
在宅看護学実習	Clinical Practice: Home Health Nursing	
卒業研究	Graduation Research	
保健師 教育課程	公衆衛生看護活動展開論 IV	Public Health Nursing: Assessment and Skills IV
	公衆衛生看護活動展開論 V	Public Health Nursing: Assessment and Skills V
	健康教育論	Health Education
	保健医療福祉行政論 II	Health Care Policy II
	公衆衛生看護学実習	Clinical Practice: Public Health Nursing
自由選択科目	看護総合講義	Integrated Nursing Lecture

## 【臨床福祉学科 専門教育科目】（令和3年度第1学年適用）

分類	授業科目	授業科目英文名称
I	社会福祉原論	Principles of Social Welfare
	看護福祉学入門	An Introduction to Nursing and Social Services
	社会心理学	Social Psychology
	ソーシャルワーク入門	Introduction to Social Work
	福祉哲学と倫理	Philosophy and Ethics of Welfare
	介護コミュニケーション論	Communication Practice in Carework
	福祉と当事者のリアル I	Social work and people: the real world I
	福祉と当事者のリアル II	Social work and people: the real world II
	臨床福祉学導入演習	Introduction Seminar in Social Welfare
	精神保健福祉の原理 I	Principal of Mental Health Social Work I
	精神保健福祉の原理 II	Principal of Mental Health Social Work II
II	社会保障論	Social Security Theory
	公的扶助論	Social Support for Low Income Families and Public Assistance
	地域福祉論	Community Welfare
	児童福祉論	Child Welfare
	障害者福祉論	Welfare Theory of Persons with Disabilities
	家族福祉論	Social Work with Families and Children
	高齢者福祉論	Theory of Aged People's Welfare
	認知症と生活支援	Dementia and Life Support
	保健医療福祉論	Social Work in Health Care Service
	医療ソーシャルワーク実践論	Social Work Practice in Health Care
	スクールソーシャルワーク論	School Social Work Theory
	精神保健福祉制度論	Theory of Mental Health Social Service
	民法	Civil Code
	行政法	Administrative Law
III	医学一般	General Medicine
	医学原論	Principle of Medicine
	精神医学	Psychiatry
	精神保健学 I	Mental Health I
	精神保健学 II	Mental Health II
	薬理学	Pharmacology
	リハビリテーション論	Rehabilitation
	アダプテッド・スポーツ演習	Seminar of Adapted Sports
	コーチング論	Coaching
	障害基礎医学	Basic Medical Science of Disability
	心身機能構造論	Physical-Mental Structures and Functions
	認知症ケア論	Nursing and Caring for People with Dementia
IV	ソーシャルワーク論	Social Work
	ソーシャルワーク方法論 I	Social Work Method I
	ソーシャルワーク方法論 II	Social Work Method II
	ソーシャルワーク方法論 III	Social Work Method III
	ソーシャルワーク方法論 IV	Social Work Method IV
	精神障害リハビリテーション論	Mental Health Rehabilitation



## 【臨床福祉学科 専門教育科目】（令和3年度第1学年適用）

分類	授業科目	授業科目英文名称
IV	社会福祉調査法	Investigation Method of Social Welfare
	マーケティング論	Marketing
	マネジメント論	Management
	レクリエーションスポーツマネジメント	Recreation Sports Management
	社会福祉運営管理論	Theory of Social Administration
	介護管理論	Nursing Care Management
	権利擁護・成年後見制度論	Theory of Advocacy and Adult Guardianship
	司法福祉論	Judicial Social Service
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	Seminar for Social Work Practice I
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	Seminar for Social Work Practice II
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	Seminar for Social Work Practice III
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	Seminar for Social Work Practice IV
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	Field Instruction for Social Work I
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	Field Practicum for Social Work I
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	Field Instruction for Social Work II
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	Field Practicum for Social Work II
	介護概論Ⅰ	Theory of Nursing Care I
	介護概論Ⅱ	Theory of Nursing Care II
	介護概論Ⅲ	Theory of Nursing Care III
	生活支援技術論Ⅰ	Life Support Technique Theory I
	生活支援技術論Ⅱ	Life Support Technique Theory II
	生活支援技術論Ⅲ	Life Support Technique Theory III
	生活支援技術論Ⅳ	Life Support Technique Theory IV
	生活支援技術論Ⅴ	Life Support Technique Theory V
	生活支援技術論Ⅵ	Life Support Technique Theory VI
	医療のケア	Medical Care
	実地研修Ⅰ	Practical Training I
	実地研修Ⅱ	Practical Training II
	実地研修Ⅲ	Practical Training III
	実地研修Ⅳ	Practical Training IV
	実地研修Ⅴ	Practical Training V
	介護過程論Ⅰ	Nursing Care Process Theory I
	介護過程論Ⅱ	Nursing Care Process Theory II
	介護過程論Ⅲ	Nursing Care Process Theory III
	介護総合演習Ⅰ	Seminar for Comprehensive Nursing Care I
	介護総合演習Ⅱ	Seminar for Comprehensive Nursing Care II
	介護総合演習Ⅲ	Seminar for Comprehensive Nursing Care III
	介護総合演習Ⅳ	Seminar for Comprehensive Nursing Care IV
	介護実習Ⅰ	Nursing Care Practicum I
	介護実習Ⅱ	Nursing Care Practicum II
	介護実習Ⅲ	Nursing Care Practicum III
介護実習Ⅳ	Nursing Care Practicum IV	

## 【臨床福祉学科 専門教育科目】（令和3年度第1学年適用）

分類	授業科目	授業科目英文名称
IV	精神保健福祉の理論と方法 I	Theory and Method of Mental Health Welfare I
	精神保健福祉の理論と方法 II	Theory and Method of Mental Health Welfare II
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習 I	Seminar for Psychiatric Social Work Practice I
	精神保健福祉ソーシャルワーク演習 II	Seminar for Psychiatric Social Work Practice II
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習	Psychiatric Social Work Field Practicum
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導 I	Psychiatric Social Work Field Instruction I
	精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導 II	Psychiatric Social Work Field Instruction II
	ソーシャルワーク応用実習	Advance Field Practicum for Social Work
	ソーシャルワーク応用実習指導	Seminar for Advanced Field Instruction for Social Work
	地域共生社会演習 I	Seminar for Social Development I
	地域共生社会演習 II	Seminar for Social Development II
	プロジェクト演習 I	Project Seminar I
	プロジェクト演習 II	Project Seminar II
	プロジェクト研究	Research Project
	社会福祉研究法	Research Methods of Social Work
	臨床福祉総合講義	Social Work Review
	現代社会論	Modern Sociology
スクールソーシャルワーク教育課程	スクール(学校)ソーシャルワーク演習	Seminar for School Social Work Practice
	スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導	School Social Work Field Instruction
	スクール(学校)ソーシャルワーク実習	School Social Work Field Practicum